

337
129

き易り分もどつも

地理世界

著 三 顯 中 畑



2

0046110-000

特 2 3 2 - 2 1 8

もつとも分り易き世界地理

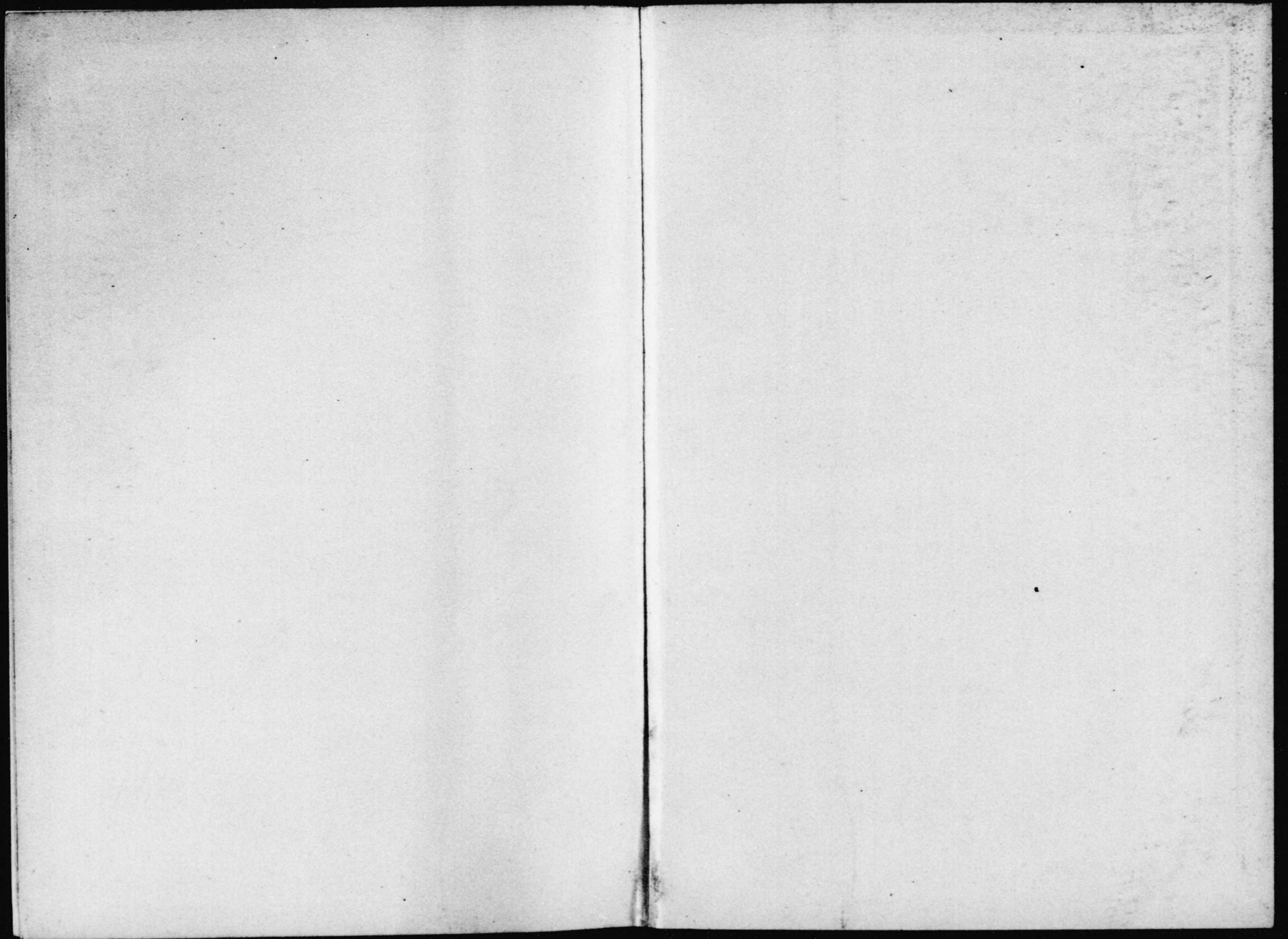
畑中顯三・著

日本出版社

昭和6

AHF

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法
第67条の規定に基づき、平成12年3月23日
付けで文化庁長官の裁定を受け使用するものです



特232
218



き易りかもどつも

世 界 地 理

著 三 顯 中 畑



社 版 出 本 日

緒言

一、本書は中學校・高等女學校・實業學校・師範學校等の學生諸君が世界地理を學習するに際し、自學自習の參考に供し、且つ最も容易に其の要点を把握するに資せんため、編纂せるものにして、現時中等諸學校に於て採用せられつゝある教科書所載の教材は悉く之を網羅せり。

一、本書は、先づ教材中の要點を、出来るだけ箇條書に列舉して記憶に便し、次に最も重要な項目については親切なる解説を加へて理解をたすけ、更に最近數年間の入學試験問題をかゝげ之が模範的解答も加へて、入學試験及び平素の考査に對する準備の上に、學生諸君が最も便利なるやう苦心して記載せり。故に本書は平素の豫習復習の良參考書たるのみならず、受験のための準備書としても理想的のものなることを確言す。

一、本書の卷頭には詳細なる目次を、又卷末には索引を附して、重要事項を速に檢出するに便ならしめたり。

乞ふ、親愛なる學生諸君が本書を座右に備へて最も能率高き學習に進まれんことを。

昭和六年三月

著

者

識

處 誌	三
○河北省	三
○山東省	三
○山西省	三
○河南省	三
○陝西省	三
○甘肅省	三
二、中部支那	三
處 誌	四〇
○江蘇省	四〇
○浙江省	四〇
○安徽省	四〇
○江西省	四〇
○湖北省	四〇
○湖南省	四〇
○四川省	四〇
○貴州省	四〇
○西康省	四〇
三、南部支那	四〇
處 誌	四六
○福建省	四六
○廣東省	四六
○廣西省	四六
○雲南省	四六
自習問題	四六
第四節 蒙古	四六
處 誌	四六
第五節 新疆及び青海	四六
新疆省	四六
青海省	四六
第六節 西藏	四六
總 說	四六
西藏の近況	四六
西藏の探検	四六
自習問題	四六
第七節 列國の領土租借地	四六
英吉利	四六
佛蘭西	四六
葡萄牙	四六
自習問題	四六
第三章 亞細亞露西亞	四六
第一節 西比利亞	四六
地 域	四六
地 勢	四六
地 候	四六
地 業	四六
地 産	四六
地 通	四六
地 民	四六
地 治	四六
地 誌	四六
地 自習問題	四六
地 中央亞細亞	四六
地 域	四六
地 勢	四六
地 候	四六
地 業	四六

住 民	三
政 治	三
交 通	三
處 誌	三
第三節 高加索	三
地 域	三
地 文	三
地 文	三
人 文	三
處 誌	三
自習問題	三
第四章 印度支那	三
第一節 總 說	三
地 域	三
地 勢	三
地 候	三
地 業	三
地 産	三
地 民	三
地 治	三
地 誌	三
地 佛領印度支那	三
地 説	三
地 究	三
處 誌	七〇
○東京	七〇
○安南	七〇
○老 撾	七〇
○東蒲塞	七〇
○交趾支那	七〇
第三節 暹羅王國	七〇
總 說	七〇
處 誌	七〇
第四節 英領印度支那	七〇
總 說	七〇
處 誌	七〇
○ピルマ	七〇
○海峽植民地	七〇
自習問題	七〇
第五章 馬來半島	七〇
第一節 總 說	七〇
地 域	七〇
地 文	七〇
人 文	七〇
第二節 和蘭領	七〇
ジャバ島	七〇
スマトラ島	七〇
ボルネオ島	七〇
セレベス島	七〇
モルッカ諸島	七〇
第三節 英吉利領	七〇
總 說	七〇
處 誌	七〇
第四節 米合衆國領	七〇
總説(フィリッピン島)	七〇
處 誌	七〇
日本との關係	七〇
自習問題	七〇
第六章 印度	七〇
地 域	七〇
地 勢	七〇
地 候	七〇
地 業	七〇

産業	六六
交通	六七
住民	六七
政治	八七
日本と印度との關係	八九
處誌	九〇
(附一)セイロン島	九二
總説	九二
處誌	九三
(附二)英領以外の地方	九三
獨立酋長國	九三
ネパール國	九三
ブータン國	九三
葡萄牙領	九三
ゴア	九三
佛蘭西領	九三
自習問題	九三
第七章 西部亞細亞	
第一節 イラン地方	

地文	九四
人文	九四
處誌	九五
アフガニスタン	九五
ベルチスタン	九五
波斯	九五
第二節 メソポタミア(イラク王國)	九五
總説	九六
處誌	九六
第三節 土耳其	九七
總説	九七
處誌	九七
第四節 シリヤ及び其の南附近	九七
シリヤ	九七
パレスチナ	九七
トランスヨルダニヤ	九七
第五節 亞刺比亞	九七
總説	九七
處誌	九七
(ヘチヤス王國)	九七

アデン	一〇一
オマーン酋長國	一〇一
自習問題	一〇一
第二編 歐羅巴洲	
第一章 總論	
境域	一〇三
地勢	一〇三
氣候	一〇九
生物	一〇九
住民	一一〇
政治	一一〇
産業	一一三
我が歐洲航路	一一七
第二章 露西亞(ソヴェエト聯邦)	一一八
境域	一二〇
地勢	一二〇
氣候	一二三
産業	一二三
交通	一二三

住民	一二四
政治	一二四
處誌	一二六
自習問題	一二六
第三章 バルチック海沿岸新興國	
第一節 フィンランド	
地文	一二九
氣候	一二九
産業	一二九
住民	一二九
政治	一二九
處誌	一三〇
第二節 バルチック諸國	
一、エストニア	一三〇
地文	一三〇
人文	一三〇
處誌	一三二
二、ラトヴィヤ	一三二
地文	一三二

人文	一三三
處誌	一三三
三、リニアニア	一三三
地文	一三三
人文	一三三
處誌	一三三
四、波蘭	一三三
地文	一三三
氣候	一三三
産業	一三三
住民	一三三
政治	一三三
處誌	一三三
五、ダンチツヒ自田市	一三三
地文	一三四
人文	一三四
處誌	一三四
産業	一三四
自習問題	一三四
第四章 スカンヂナヴィヤ	

境域	一三五
地勢	一三五
氣候	一三六
産業	一三六
住民	一三七
政治	一三七
處誌	一三七
瑞典の部	一三八
諸威の部	一三八
自習問題	一三九
第五章 丁抹アイスランド	
一、丁抹	一四〇
地文	一四〇
人文	一四〇
處誌	一四〇
二、アイスランド	一四〇
地文	一四〇
人文	一四〇
處誌	一四〇

第六章 獨逸

地 境	一四二
地 勢	一四二
地 候	一四二
地 業	一四二
地 通	一四二
地 民	一四二
地 治	一四二
地 誌	一四二
自習問題	一四二
處 誌	一四二
政 治	一四二
住 民	一四二
交 通	一四二
産 業	一四二
地 業	一四二
地 候	一四二
地 勢	一四二
地 境	一四二
地 文	一四二

第七章 チェッコスロバキヤ

地 境	一五五
地 勢	一五五
地 候	一五五
地 業	一五五
地 通	一五五
地 民	一五五
地 治	一五五
地 誌	一五五
自習問題	一五五
處 誌	一五五
政 治	一五五
住 民	一五五
交 通	一五五
産 業	一五五
地 業	一五五
地 候	一五五
地 勢	一五五
地 境	一五五
地 文	一五五

第八章 埃地利 (附)リーヒテンスタイン

地 境	一五七
地 勢	一五七
地 候	一五七
地 業	一五七
地 通	一五七
地 民	一五七
地 治	一五七
地 誌	一五七
自習問題	一五七
處 誌	一五七
政 治	一五七
住 民	一五七
交 通	一五七
産 業	一五七
地 業	一五七
地 候	一五七
地 勢	一五七
地 境	一五七
地 文	一五七

第九章 匈牙利

地 境	一六〇
地 勢	一六〇
地 候	一六〇
地 業	一六〇
地 通	一六〇
地 民	一六〇
地 治	一六〇
地 誌	一六〇
自習問題	一六〇
處 誌	一六〇
政 治	一六〇
住 民	一六〇
交 通	一六〇
産 業	一六〇
地 業	一六〇
地 候	一六〇
地 勢	一六〇
地 境	一六〇
地 文	一六〇

第十章 瑞 西

地 境	一六三
地 勢	一六三
地 候	一六三
地 業	一六三
地 通	一六三
地 民	一六三
地 治	一六三
地 誌	一六三
自習問題	一六三
處 誌	一六三
政 治	一六三
住 民	一六三
交 通	一六三
産 業	一六三
地 業	一六三
地 候	一六三
地 勢	一六三
地 境	一六三
地 文	一六三

第十三章 英吉利(附)愛蘭

地 境	一七二
地 勢	一七二
地 候	一七二
地 業	一七二
地 通	一七二
地 民	一七二
地 治	一七二
地 誌	一七二
自習問題	一七二
處 誌	一七二
政 治	一七二
住 民	一七二
交 通	一七二
産 業	一七二
地 業	一七二
地 候	一七二
地 勢	一七二
地 境	一七二
地 文	一七二

第十四章 佛蘭西(附)モナコ

地 境	一七二
地 勢	一七二
地 候	一七二
地 業	一七二
地 通	一七二
地 民	一七二
地 治	一七二
地 誌	一七二
自習問題	一七二
處 誌	一七二
政 治	一七二
住 民	一七二
交 通	一七二
産 業	一七二
地 業	一七二
地 候	一七二
地 勢	一七二
地 境	一七二
地 文	一七二

第十五章 イベリヤ半島

地 境	一七〇
地 勢	一七〇
地 候	一七〇
地 業	一七〇
地 通	一七〇
地 民	一七〇
地 治	一七〇
地 誌	一七〇
自習問題	一七〇
處 誌	一七〇
政 治	一七〇
住 民	一七〇
交 通	一七〇
産 業	一七〇
地 業	一七〇
地 候	一七〇
地 勢	一七〇
地 境	一七〇
地 文	一七〇

第十六章 伊 太 利

地 境	一七五
地 勢	一七五
地 候	一七五
地 業	一七五
地 通	一七五
地 民	一七五
地 治	一七五
地 誌	一七五
自習問題	一七五
處 誌	一七五
政 治	一七五
住 民	一七五
交 通	一七五
産 業	一七五
地 業	一七五
地 候	一七五
地 勢	一七五
地 境	一七五
地 文	一七五

第十七章 バルカン半島

自習問題……………二〇〇

マールタ……………二〇〇

サンマリノ……………一九九

日伊關係……………一九九

處誌……………一九七

領土……………一九七

政治……………一九七

住民……………一九六

交通……………一九六

第一節 ユーゴスラビヤ(セルブクロアースロヴェン)

地文……………二〇四

第二節 アルバニヤ

地文……………二〇四

人文……………二〇四

第三節 ルーマニヤ

地文……………二〇五

人文……………二〇五

第四節 ブルガリヤ

地文……………二〇六

人文……………二〇六

第五節 土耳其

地文……………二〇七

人文……………二〇七

第六節 希臘

地文……………二〇八

人文……………二〇八

第十八章 地中海

自習問題……………二〇九

總論……………二〇九

氣候……………二〇九

地勢……………二〇九

邦國……………二〇九

自習問題……………二〇九

第三章 亞弗利加洲

第一章 總說

地勢……………二一三

地物……………二一三

生產……………二一三

產業……………二一五

交通……………二一六

住民……………二一六

政治……………二一七

探檢の沿革……………二一八

邦國領土……………二一八

亞弗利加航路……………二一九

東岸南岸の開港場……………二二〇

自習問題……………二二〇

第二章 北部亞弗利加

第一節 埃及及

地勢……………二二三

氣候……………二二三

產業……………二二三

住民……………二二三

政治……………二二三

處誌……………二二三

第二節 バルバリ諸國

地勢……………二二三

氣候……………二二三

產業……………二二三

住民……………二二三

政治……………二二三

處誌……………二二三

○トリポリ……………二二三

○チュニス……………二二三

第三章 東部亞弗利加

總說……………二二六

處誌……………二二六

○アルゼリヤ……………二二六

○モロッコ……………二二六

第三節 サハラ

○アビシニヤ……………二二六

○ソマリランド……………二二七

○ケニア植民地……………二二七

○タンガニカ……………二二八

○葡領東亞弗利加……………二二八

○ニヤサランド……………二二八

○マダガスカル……………二二九

第四章 中部亞弗利加

第一節 スーダン

總說……………二二九

處誌……………二二九

○埃及スーダン……………二二九

○中部スーダン……………二二九

第五章 南亞弗利加

第一節 南亞弗利加聯邦

地文……………二三四

產業……………二三四

住民……………二三四

政治……………二三四

處誌……………二三四

○白耳義領コンゴ……………二三四

○葡領アンゴラ……………二三四

○佛領赤道アフリカ……………二三四

第二節 南亞弗利加及び其の他

南亞弗利加……………二三五

ローデシヤ……………二三五

ベチユアナランド……………二三五

第六章 アフリカの屬島

自習問題……………二三八

第四編 北亞米利加洲

第一章 總論

地勢 二四〇
氣候 二四〇
生物 二四三
交通 二四三
住民 二四四
政治 二四五

第二章 加奈陀

地勢 二四六
氣候 二四七
産業 二四七
交通 二四九
住民 二五〇
政治 二五一

第三章 ニューファンドランド
グリーンランド

地勢 二五五
氣候 二五五
産業 二五六
交通 二六一
住民 二六一
政治 二六二
軍備 二六三
領土 二六五
處誌 二六六

◎東部地方 二六六
◎五大湖地方 二六七

◎中部地方
◎西部地方

第五章 アラスカ

交通關係 二七〇
總說 二七一
自習問題 二七二

第六章 墨西哥

地勢 二七五
氣候 二七五
産業 二七六
交通 二七七
住民 二七七
政治 二七八
日本との關係 二八六
處誌 二八六
自習問題 二八九

第七章 中央亞米利加

地勢 二九〇

第八章 西印度諸島

地勢 二八〇
人文 二八一
パナマ運河 二八一

地勢 二八二
人文 二八三
獨立國及諸國領土 二八四
處誌 二八四

◎大アンチール諸島 二八四
◎小アンチール諸島 二八五
◎バハマ諸島 二八六
自習問題 二八六

第二章 北部諸國

産業 二九〇
交通 二九三
住民 二九四
政治 二九五
日本との關係 二九五
自習問題 二九七

◎ベネズエラ 二九八
◎ギヤナナ 二九八

第三章 伯刺西爾

地勢 三〇三
氣候 三〇三
産業 三〇四
住民 三〇六
政治 三〇六
日伯關係 三〇六
處誌 三〇七

第四章 バラグアイ及び
ウルグアイ

地勢 三〇〇
産業 三〇〇
交通 三〇三
住民 三〇三
政治 三〇三
處誌 三〇三

巴拉グアイ 三〇九
ウルグアイ 三〇九

第五章 亞爾然丁

地勢 三〇〇
産業 三〇〇
交通 三〇三
住民 三〇三
政治 三〇三
處誌 三〇三

第六章 智利

地勢 三〇四
氣候 三〇四
産業 三〇四
交通 三〇五
政治 三〇五
處誌 三〇五

もつとも
分り易き
世界地理

畑 中 顯 三 著

第一編 亞細亞洲 (Asia)

第一章 總論

一 境 域 東半球の東北部に位し世界最大の大陸、面積約四四〇〇萬方呎、世界陸地の約三分の一を占む。アジア及歐羅巴を併稱してユーラシア大陸といふ。東は太平洋、西はウラル山脈(Ural Mts)及びウラル河を隔て、歐洲に連り、南は印度洋、北は北極洋に臨む。

二 地 勢

1 山 系 アジヤ洲は世界大陸中地勢が最も高く、山脈臺地の高大なるものが多い。其の最も雄大にして中心たるものはパミール高原(Pamirs)で俗稱に世界の屋根(The roof of the world)と呼ばれる宜なる哉。各山脈は同高地より四方に連る。即ち東北には大天山脈、アルタイ山脈、サヤン山脈等があり、^{フロン}崑崙山脈は東部に位し

(編 妹 姉 の 書 本)

もつとも 分り易き 學生叢書

◆ 新制最新版

もつとも 分り易き **日本地理** (松本一雄著)

もつとも 分り易き **日本史** (更谷南室著)

もつとも 分り易き **世界地理** (畑中顯三著)

もつとも 分り易き **東洋史** (更谷南室著)

もつとも 分り易き **算術** (更谷龜太郎著)

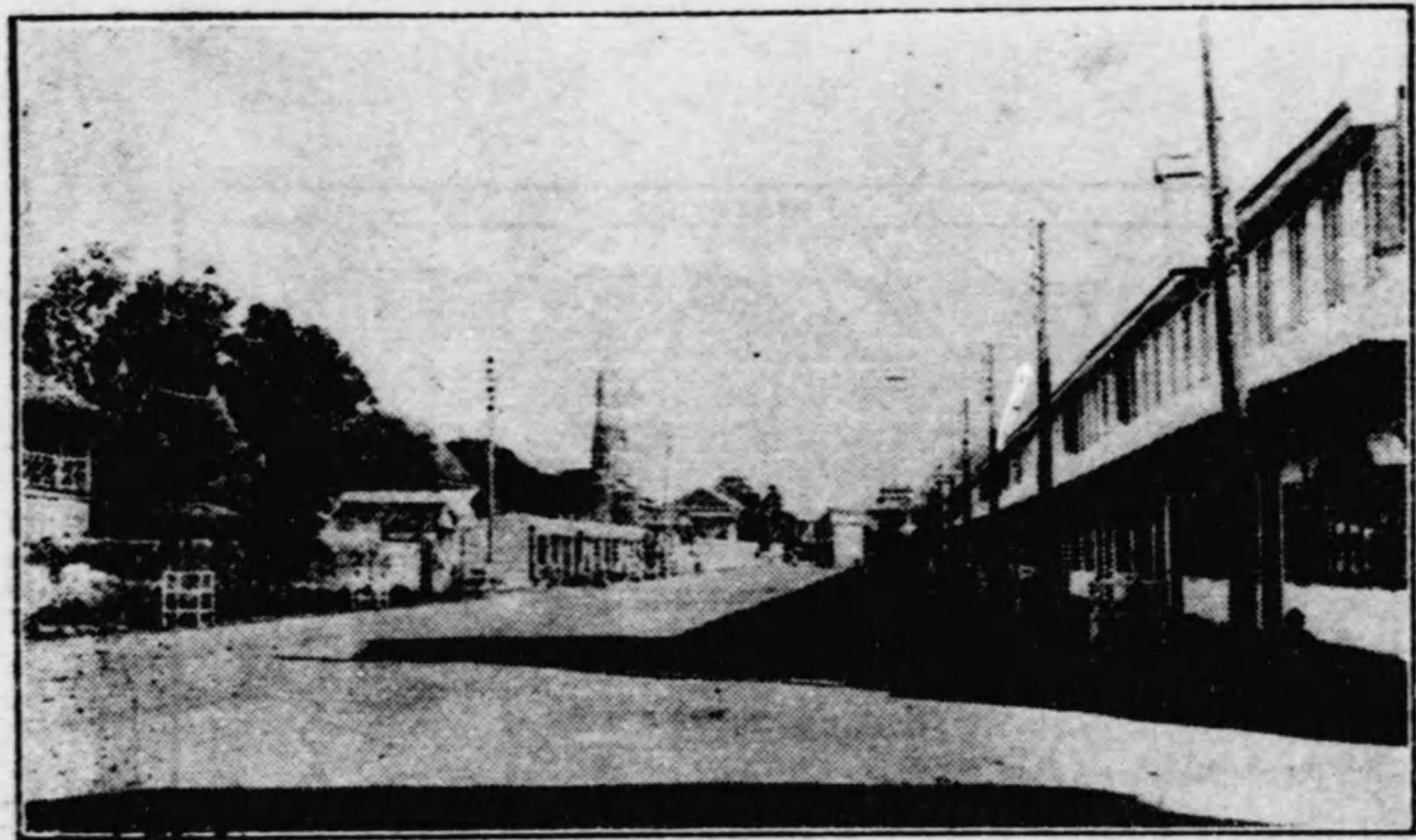
もつとも 分り易き **平面幾何學** (更谷龜太郎著)

◆ 定價金一圓 (送料十錢)

大阪西區長堀二丁目

日 南 出 版 社

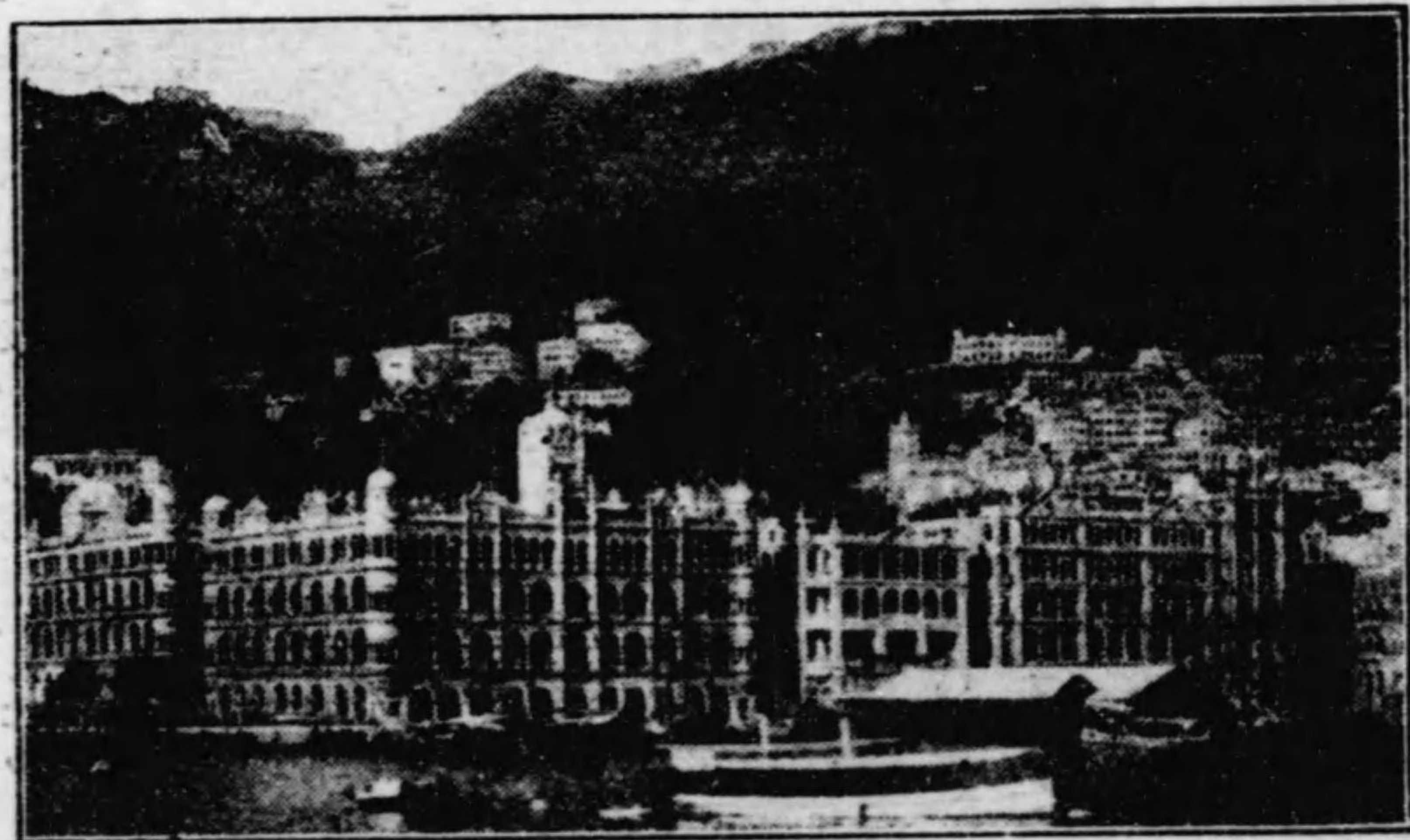
無替大坂
三三四一
二



(マ
ン
コ
ク)



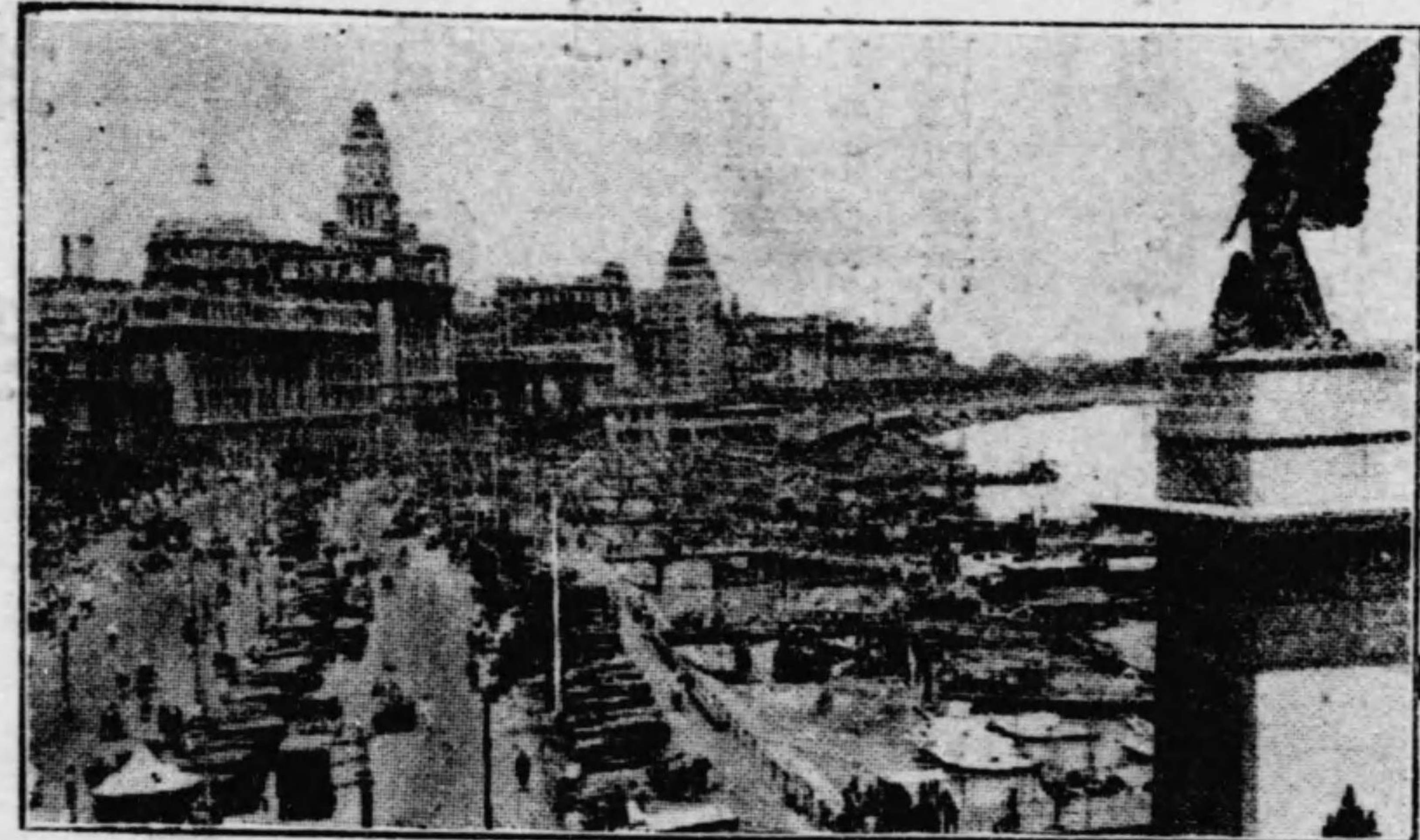
(シ
ン
ガ
ポ
ー
ル)



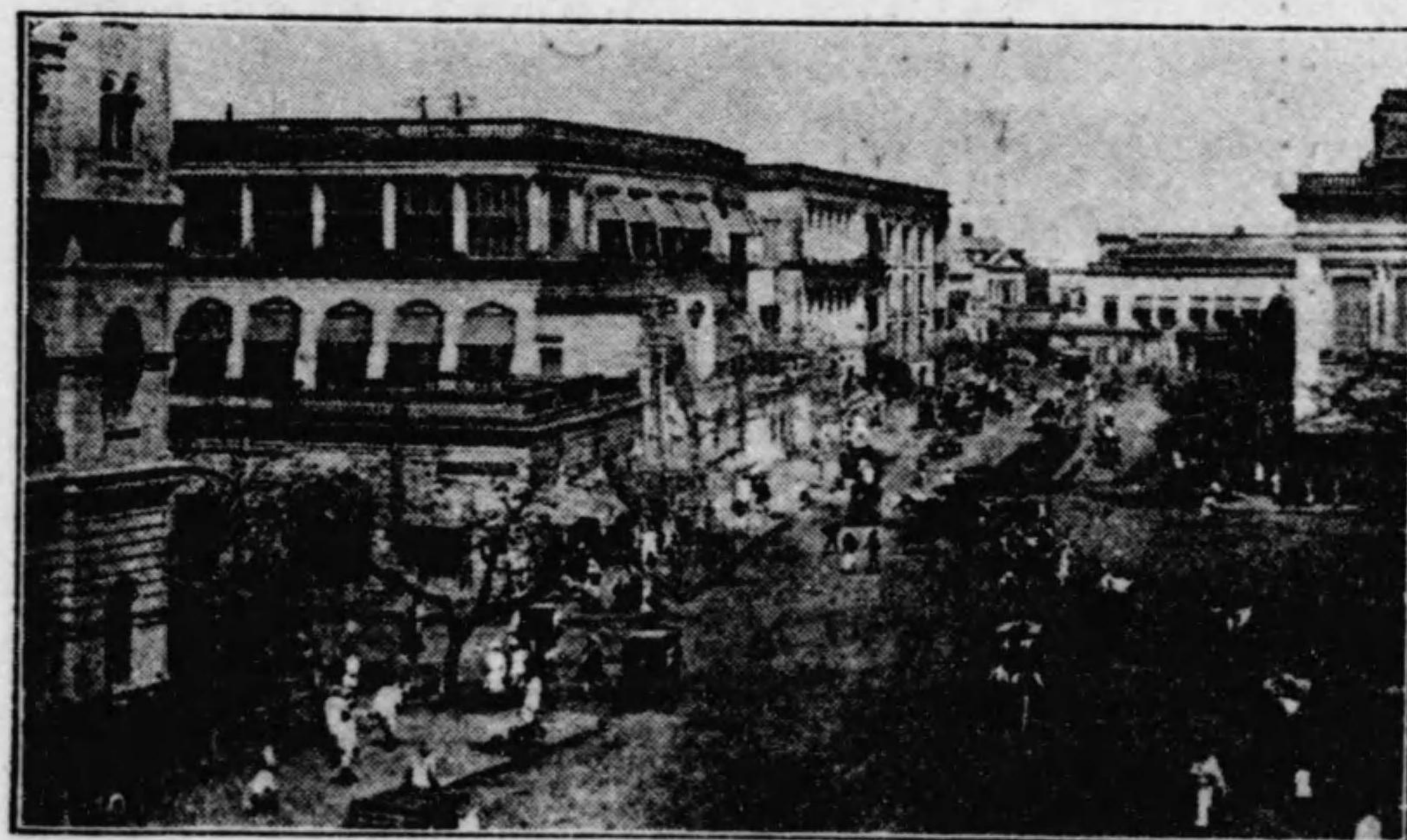
(香
港
埠
頭)



(北
平
の
大
通)



(上
海
の
バ
ン
ク)



(カ
ル
カ
ッ
タ)

ボスボロス海峡、ダーダネル海峡を隔て、歐洲に對する。

3 水系 河川の主要なるものは概してパミル高原の東部に面してゐる三角形の大高原地から北氷洋、太平洋、印度洋の三斜面に分布してゐる。また大陸の中央部及び西部には内陸河があつて無口湖に注いでゐる。

北氷洋斜面：①オゴ河(Ob R.) ②イニサイ河(Yenisei R.) ③リナ河(Lena R.)

太平洋斜面：④黒龍江、⑤黄河、⑥揚子江、⑦珠江、⑧メコン河(Mekong R.)

①サルウィン河(Salwin R.) ⑧イラワヂ河(Iravadi)

印度洋斜面 ⑨ブラマプトラ河(Brahmaputra R.) ⑩ガングメ河(Ganges R.)

⑤インダス河(Indus R.)

内陸斜面 ①ウラル河(Ural R.) ②アム河(Amu Daria)

③シル河(Sir Daria)

鹹湖……カスピス海(裏海)(Caspian sea) アラル海(Aral sea) バルハシ湖(Balkhash)

湖沼 淡水湖……バイカル湖(Baikal 世界最深一五二三米) 洞庭湖、鄱陽湖。

青海 死海(Dead sea)

三 氣候

寒・温・熱の三帯に誇り地勢が頗る複雑であるから氣候の變化が多い。

1 南部及び東部……南部及び東部は海洋の調和を受け、氣候一般に良好であるが印度及び印度支那、馬來諸島は熱帶性に屬し暑熱が厳しい。併し此の地方は季節風(Monsoon)の流行區域であるから、夏季は海上から多量

の濕氣を瀰し降雨が頗る多い。

印度のアッサム(Assam)の如きは年雨量一萬二千五百耗に達し世界最多雨の地である。

季節風……季節によつて吹く風をいふ。夏季には大洋から内陸へ、冬季には内陸から大洋へ吹く。

日本に於て夏季東南風、冬季西北風が多い。これは季節風である。

2 西南部……此の方面は炎熱で雨が少く、アラビヤ及びイラン高原は世界の最熱地である。

3 北部……寒氣酷烈で北氷洋沿岸は四時氷結する凍土帯(Tundra)をなしヤナ河流域のベルホアンスクの如きは世界極寒の地と稱せられ零下七十七度を示すといふ。

4 中央部……土地高燥、且つ海洋から遠いため概して大陸性氣候で寒暑の差が著しく、雨量も極めて少ない。それ故沙漠、草原が多く不毛の地帯が極めて廣い。

四 生物

氣候が極めて複雑であるから、従つて生物も其の影響を受けて種類が多い。

1 北部地方

植物……平原には針葉樹林が廣く、蝦夷松、榎松、落葉松、樺等の産がある。
極北の地には蘚苔類を生ずるのみ。

動物……家畜には馴鹿、野獸には白熊、貂、狐。

2 中央及西部

植物……棉花、果實類(以上中央部)オリブ、柑橘、無花果、葡萄、棗椰子(以上西南部)
動物……草原には一般に羊、馬、不毛の地には駱駝を放牧し、西藏には盤牛を多く飼ふ。

五 住民

3 南部

熱帯林には榕樹、椰子樹、チーク、護謨樹等。
 香料植物としては肉桂、胡椒。
 農産物として米、茶、阿片、棉花、珈琲等。
 動物……家畜には牛、水牛、象、野獸には象、虎、犀、獅子、狼、大蛇、孔雀、鸚鵡等。

1 人口 人口約八億七千萬、世界人口の半数以上を占む。而して東部より南部にかけて密度は大であるが西、北、中央部は極めて稀薄であるから、結極面積の割合に密度は小であり、歐洲に比較して其の半数にも元ない。

2 人種

○亞細亞人種：蒙古族、土耳其族、朝鮮族、ツングース族、大和民族、漢族、西藏族、印度支那族。

○歐羅巴人種 主として南部及び西南部に住す。

○ヒンヅ族、イラン族、アラビヤ族。

○海岸島嶼人種 馬來諸島及び印度の東海岸に住す。

馬來族、ドラビタ族。

3 宗教 世界の三大宗教たる佛教、キリスト教、回教の開地は何れもアジヤである。佛教は起源地たる印度に後を斷つて、日本に旺盛、キリスト教は一旦歐洲に傳はり今日は逆傳の有様、回教は僅かに中部アジヤ地方に

残るのみ。

○佛教

開祖は釋迦、信徒の概數約五億。

分布 北方佛教(大乘教)……支那及び日本、特に日本に於て隆盛。
 南方佛教(小乘教)……印度支那及び馬來諸島。

○ヒンヅ教(印度教)……印度に行はれ信徒約二億。

○回教……開祖はマホメット、中部及び西南に行はれる。

○キリスト教……各地方に盛である。

○其の他の宗教 喇嘛教……西藏、蒙古。
 儒教、道教……支那本部。

六 邦國

支那、印度は世界の文化發祥地であるが現在は振はず、唯文化史上に古代の繁榮を殘すのみ。其の他の地方も日本を除いては歐米列強の配下に萎縮して振はなし。

1 獨立國 日本帝國、支那共和國、波斯王國、暹羅王國、土耳其共和國、アフガニスタン(Afghanistan)。



2 酋長國 ネパール(Nepal) ブータン(Bhutan) オマーン(Oman)

其の他アラビヤには多くの小酋長國がある。

3 委任統治地

日本……南洋諸島。
英國……メソポタミア(Mesopotamia)、パレスチナ(Palastina)
フランス、ヨルダン、シリア(Syria)
佛國……シリア(Syria)

4 歐米列強の領土

(一) 英吉利 印度半島大部・セイロン島・ベルチスタン・ビルマ・海峽植民地・馬來聯邦
ボルネオ島の北部・香港・九龍半島(租借地) 威海衛(租借地)
アデン・オマーン(保護地) キプロス島(Cyprus)等。

(二) 佛蘭西……佛領印度支那・廣州灣(租借地) 印度の一小部分。

(三) 和 蘭……馬來諸島の大部分。

(四) 米合衆國……フィリッピン諸島。

(五) 葡萄牙……チモール島東半・澳門。

(六) 露西亞……西比利亞・中央亞細亞・カウカシヤ。

君主國……日本、暹羅、波斯。
アフガニスタン。
共和國……支那、土ル古。
立憲國……日本、支那、波斯、
土耳其。

七 産業

1 農業 (産物)

米……印度・印度支那・馬來諸島・支那本部・日本。
珈琲……印度・ジャバ島・馬來諸島。
香料……(肉桂・胡椒) 馬來諸島・印度。
小麥……滿洲の北部・シベリヤ西南部。
大豆……滿洲。
生絲……日本・支那。

氣候温暖なる東及び南部に發達する。

茶……印度・支那・日本。
棉化……印度・支那本部。

2 礦業

砂糖……印度・ジャバ島・臺灣。
石炭、鐵類の埋藏が多いけれども未だ發掘は充分でない。
錫……馬來半島(世界第一)
石油……カウカシヤ地方・スマトラ島・ボルネオ島。
寶石……印度・印度支那・崑崙山脈。
石炭……支那・シベリヤ・日本。
鐵……支那・印度・シベリヤ。
銅……日本。
金……シベリヤ・支那・印度。

3 工業 日本・支那方面に於ける絹布・紡績・製鐵・陶磁器及び印度に於ける紡績・製麻は主要なるものである。

4 商業 商業の發達は遅々として進まず漸く日本・支那・印度の貿易が著しいのみである。

八 交通 鐵道の普及は日本が最も顯著で支那、印度がこれに次ぐ。併乍其の延長は世界の十一分の一に過ぎない。就中シベリヤ鐵道は樞要なる幹線であるが、通商交易には實益なし。海上交通は陸上交通に比して一般に發達し、商船の往來も繁し。

(自習問題)

- 1 亞細亞洲の半島を問ふ。(高)
- 2 亞細亞洲東海岸の概況を問ふ。(美術)
- 3 亞細亞洲にある立憲國をあげよ。(東高師・海兵)
- 4 亞細亞洲に於ける委任統治地をあげよ。(東高師・陸士)
- 5 亞細亞洲に於ける歐米各國の勢力を問ふ。(東高師・陸士)
- 6 亞細亞洲中太平洋に注ぐ四大河を記せ。(美術)
- 7 亞細亞洲に於ける山系系統を語れ。(東高師)
- 8 亞細亞洲の略圖を描き山脈を記入すべし。(東高師)
- 9 歐亞兩大陸の境界を問ふ。(海兵・東高師)
- 10 トランスヒマラヤ山脈につき記せ。(東高師)
- 11 ユーラシア大陸とは何ぞや。(陸士・神高師)
- 12 亞細亞洲各地の氣候の特色。(專檢)
- 13 亞細亞洲に於ける石炭・石油・錫の主産地。(陸士)
- 14 ヒマラヤ山脈南北に於ける物産産出の差異を記せ。(神高師)
- 15 亞細亞洲に於ける種族をあげ其の分布と文化との關係を記せ。(高)

16 亞細亞洲に於ける我が條約國を記せ。(東高師)

(解答) 中華民國。暹羅。土耳其。

17 極東に於ける英佛米の各海軍根據地を問ふ。(海經)

(解答) 英國：威海衛、香港、シンガポール、

トリコンマリ(セイロン島)

佛國：サイゴン。

米國：カヴィテレ(フィリッピン)

18 亞細亞洲に於ける英佛二國の主要領土・租借地を列舉せよ。(海經)

19 亞細亞洲に於ける英佛露の領土を問ふ。(三高)

20 亞細亞洲に於ける英佛露蘭の領地を記せ。(高)

(ヒマラヤ山 = エベレスト山)



第二章 支那 (China)

第一節 總論

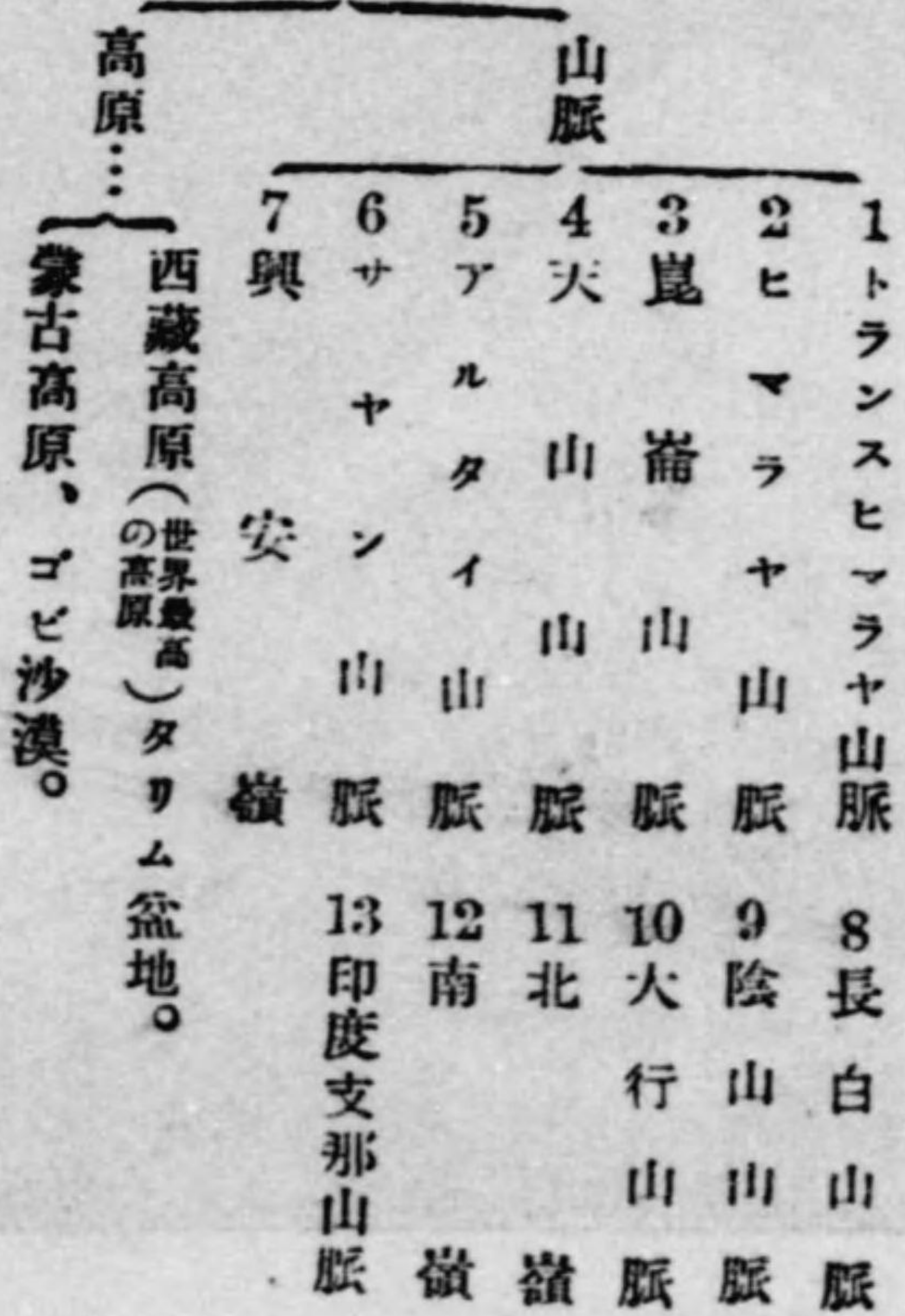
一 境域 亞細亞洲の中部より東部に亘る廣汎なる地域を有し、太平洋に向つて三角形を形成する大陸國である。面積約一千百萬方呎、アジヤ洲の四分の一を占め、英・露・佛の全領土に次ぐ世界第四位の大國である。

二 地勢

1 山系

〔東部〕 北支那：北嶺以北・黄河の流域。
 中支那：北嶺及び南嶺間で揚子江の流域。
 南支那：南嶺以南珠江の流域。

〔西部〕



2 水系

① 黄河(Hwang-ho) 長さ約四千呎で源を青海地方の崑崙山脈中を發し、陰山山脈の南を迂回して北嶺の北に出で、平野の間を北東流して渤海に注ぐ。其の流れは黃濁、其の流域は黃土層(Loess)をなし、古來氾濫を繰返し、未だ治水工事が完了してゐない。併し古來歷朝の首都が此の流域に在つたことは注意すべきことである。

② 揚子江(Yangtze-Kiang) 長さ四千餘呎、世界第四の長流、西藏高原の北東部に發源し、數多の支流及び洞庭湖、鄱陽湖等の水を併はせて東支那海に入る。支那本部の大動脈である。水量豊富、流域の地味沃肥のため産業が發達、一千噸の汽船は千八百呎に在る宜昌まで溯り、沿岸の開港場に幅輳する。

③ 珠江(Chu-Hiang) 印度支那山脈に源を發し、南支那の動脈をなし、産業、文化に一大貢獻を與へてゐる。本流を西江といひ、北江と東江を併せて南支那海に注ぐ。

④ 黒龍江と遼河：黒龍江は源を外蒙古に發し東流して西比利亞と支那との國境をなし、水量豊である。また遼河は源を内蒙古に發し南滿洲を灌溉して産業の開發に盡してゐる。

三 氣候

地域廣大なるが故に氣候は一定しない。東部は温暖で雨量が多く、東南部は熱帯で暑氣強く、降雨が多量である。故に夏秋二季に颱風が屢々襲來する。北部及び西部は大陸性氣候で寒暑共に甚しい。

四 住民

1 人口 凡そ四億五千萬、世界人口の四分の一に當る。大部は支那本部及滿洲に住し、殊に沿岸地方、各大河流域に密集する。それに反して西部高原地方は殆んど無人の如く従つて産業は振はない。

2 人種 主として左の諸族に分る。
○漢族 支那本部及び滿洲の南部に多く、全人口の約九割を占め、古來支那の代表的種族で、政治上經濟上最も勢力がある。通常支那人といふのは此の人種のことである。

○滿洲族 ツングース族に屬し、滿洲北部に多く、嘗て清朝を興した程の種族であるが、併々今日は昔日の氣絶え、勢力はない。

○蒙古族・蒙古

○土耳古族・新疆省 一般に開化の程度低く、専ら遊牧を業とする。

○西藏族・西藏、青海

○苗族 族：印度支那に屬する蠻民にして雲南、貴州、廣西等の山地に多い。

3 言語 種族多きにより言語亦複雑多様で統一なく、中流以上の社會標準語として官語と稱するものにも北京南京の別がある。人文の發達を阻害するは蓋し亦國家の不統一も此の言語の不統一にも原因してゐる。

4 民族性

○性質頑迷で排外自尊心が強い。

○利己主義傾向があつて愛國の念が薄い。

○勤勉で商才に長じ特に海外に發展する。
○貨殖の念が強く、職業を撰ばないから移民として發展すれば外人に嫌はれる。

5 風習

○孝道、祖先崇拜の念が強く、祭祀に頗る鄭重である。

○男子は阿片を吸ひ、辮髮を垂れる風があつたが最近大いに改めた。

○女子には纏足の弊風があるけれど近時革める者が多い。

6 教育 教育は主に官吏の養成を目的として一般に普及しない。併々近年我が國に倣つて教育制度を改革し、北平、南京の兩大學や其他の學校を興し、また留學生を海外に派遣してゐる。

7 宗教

○佛 教……昔日に比して大いに衰へてゐる。近時我僧侶で布教に従事する者がある。

○儒 教……孔孟の教、中流以上の漢族間に信奉されてゐる。

○回 教……新疆省の土耳古族間に信奉されてゐる。

○基督教……欧米宣教師の布教によつて大都市、開港場に漸く盛大になりつゝある。

○道 教……老子及び莊子の教で漢、滿人の下層社會に行はれる。

○喇嘛教……佛敎の一派で西藏、青海、蒙古及び滿洲の一部に行はれる。

五 政治

1 中央政府 中央政府は行政院、立法院、司法院、考試院、(官吏登用の試験等をなす)監察院(國政を監察)の五院制で、五院長の中から政府首席が選ばれる。政府首席は五院を總理する。政府は南京に在り。

2 地方行政 本部及びその附近を二十五省、滿洲を三省に區分し、各省に省政府首席があつて地方行政に當る。昭和三年國民政府が政權を握る前までは督軍があつて地方の軍事を支配し、其他京兆、川邊、內蒙古を特別行政區域とし京兆には尹、川邊には鎮守使、內蒙古には都統を置いて城内の行政に當らせてゐたが、それは現今廢止となつた。但し別に藩部と稱し、外蒙古・西藏があるけれども行政は行き届かぬ。現今の地方行政は、

支那本部とその附近……二十五省
直轄地 滿洲……三省 各省政府首席あり。

藩部 外蒙古・西藏。

◇ 各省及び其の首府

- (一) 北部支那
- | | | |
|------------|------|------|
| 1 河北……北平 | (省名) | (首府) |
| 2 山東……濟南 | (省名) | (首府) |
| 3 山西……太原 | (省名) | (首府) |
| 4 河南……開封 | (省名) | (首府) |
| 5 陝西……西安 | (省名) | (首府) |
| 6 甘肅……蘭州 | (省名) | (首府) |
| 7 寧夏……寧夏 | (省名) | (首府) |
| 8 熱河……熱河 | (省名) | (首府) |
| 9 察哈爾……張家口 | (省名) | (首府) |
| 10 綏遠……綏遠 | (省名) | (首府) |
| 11 青海……西寧 | (省名) | (首府) |
| 12 新疆……迪化 | (省名) | (首府) |
- (二) 中部支那
- | | | |
|-----------|------|------|
| 1 江蘇……鎮江 | (省名) | (首府) |
| 2 浙江……杭州 | (省名) | (首府) |
| 3 安徽……安慶 | (省名) | (首府) |
| 4 江西……南昌 | (省名) | (首府) |
| 5 湖北……武昌 | (省名) | (首府) |
| 6 湖南……長沙 | (省名) | (首府) |
| 7 四川……成都 | (省名) | (首府) |
| 8 貴州……貴陽 | (省名) | (首府) |
| 9 西康……打箭爐 | (省名) | (首府) |

- (三) 南部支那
- | | | |
|----------|------|------|
| 1 福建……福州 | (省名) | (首府) |
| 2 廣東……廣州 | (省名) | (首府) |
| 3 廣西……南寧 | (省名) | (首府) |
| 4 雲南……雲南 | (省名) | (首府) |
- (四) 滿洲地方
- | | | |
|-------------|------|------|
| 1 遼寧……奉天 | (省名) | (首府) |
| 2 吉林……吉林 | (省名) | (首府) |
| 3 黑龍江……齊齊哈爾 | (省名) | (首府) |

六 國 勢

1 概観 古來文明國として誇つてゐたが現在は老大國の觀がある。財政困難の上に連年内亂が相ついで起つたために一層の衰微を來した。然るに昭和三年國民軍が支那統一に成功し、徹底的に共和政治を行ひ、内は諸政を整頓し外は外交關係を圓滿にし以つて國利民福の實を揚げんと努めつゝある。併乍國內には各列強の利權、租借地、領土があるため、今後の施政上に妨害と困難を感ずることであらう。

2 列國の租借地及び領土

關東州……日本(一八九八年より九十九年間)

租借地 威海衛……英吉利(一八九八年より九十九年間)

廣州灣……佛蘭西(一八九八年より九十九年間)

此の兩租借地は一九二二年のワシントン會議によつて支那に還附されることになり、威海衛はすでに還された。

領土 香港…英吉利(一八四二年占有)
九龍…英吉利(一八六〇年占有)
澳門…葡萄牙(一五八六年占有)

七 産 業

1 農 業 支那本部及び滿洲の大部は概ね季節風帯に屬し、土地開け農産物が豊富である。即ち北部は小麦、大豆、高粱を主とし、中部及び南部は水田大いに開け米産が豊かに、棉花、麻、茶等の栽培が甚だ盛んである。
2 牧畜業 北部及び西部の高原地方には、羊・馬・騾馬・駱駝・犏牛等の遊牧が行はれる。滿洲及び支那本部には豚を多く飼養し國民の常食となる。中部及び南部には水牛・鶏を多く飼育する。鶏卵の産が多く、我國へも輸出する。

3 鑛 業 支那本部及び滿洲は石炭、鐵、石油、銀、銅、錫、アンチモニー、食鹽等の埋藏が多いが未發掘である。そしてまた鑛産の主なるものは外國人の經營に係ることは遺憾である。

撫 順(遼寧省)……………日本經營	大 冶(湖北省)……………日支合辦
煙 臺(同 上)……………同上	桃 冲(安徽省)……………日支合辦
炭 坑 開 平(河北省)……………英吉利經營	金 嶺 鎮(山東省)……………日支合辦
淄 川(山東省)	鞍 山(遼寧省)……………日支合辦
坊 子(同 上)……………日支合辦	本 溪 湖(同 上)……………日支合辦
	鐵 山

4 工 業 近時工業が發展しつゝある。其の主なるものは製鐵、造船、紡績、機械工業で中心地は上海・漢陽・武昌である。また古より名高い工業として絹織、漆器、陶磁器工業である。

5 商 業 天産物が豊富であるから今後の發展を畫期すべきである。

主要貿易品 輸出……………生絲、絹布、大豆、豆粉、皮革、茶等。
輸入……………綿布、綿絲、砂糖、棉花、機械、石油等。

取引國……………英吉利(屬領を含む)日本、米合衆國、佛蘭西、ロシア。

主貿易港……………天津、上海、廣東、漢口、廣東。

八 交 通

1 陸上交通 鐵道の發展が思はしくないので北部地方は主に駄馱、支那本部及び滿洲には一部に一輪車、馬車、驛が利用され、高原地方は僅かに駱駝や犏牛を川ひてゐる。

主要鐵道の配置及び利權表

- ① 東支鐵道…カリムスカヤ—ニコリスク(露)
- ② 南滿洲鐵道…大連—奉天—長春(日本)
- ③ 安奉鐵道…奉天—安東(日本)
- ④ 滬寧鐵道…江寧—上海。
- ⑤ 滬杭甬鐵道…上海—杭州—寧波。
- ⑥ 山東鐵道…青島—濟南(日支)
- ⑦ 海蘭鐵道…海門—徐州—河南—蘭州
- ⑧ 南潯鐵道…九江—南昌
- ⑨ 川漢鐵道…漢口—宜昌—成都(豫定線)
- ⑩ 雲南(滇越)鐵道…雲南—佛領河內(佛)

②龍州鐵道：龍州—佛領河内(佛)
 ③京綏鐵道：北京—張家口—大同—綏遠
 ④京漢鐵道：北京—正定—漢口。

⑤粵漢鐵道：武昌—長沙—廣東。
 ⑥津浦鐵道：天津—濟南—徐州—浦口。
 ⑦北寧鐵道：北京—天津—奉天。

2 水上交通 揚子江、珠江、白河、松花江、遼河等は水量豊富、大運河と共に運輸の便を與ふること甚大。

○揚子江 支那中立部の大動脈たる揚子江は河口から千三百軒の上流にある漢口まで二千噸の汽船を通じ、それからなほ五百軒に當る宜昌まで一千噸の汽船が往來し、更らにそれから六百軒に當る重慶まで五、六百噸の汽船が溯る。之を以て沿岸には諸都市が發達し、産業の發展も著るしい。

○大運河 天津を起點とし、黃河、揚子江を横斷して浙江省の杭州に至る。其の間實に千二百軒。今を去る千三百年前、隋の煬帝の開鑿にかゝるもので、交通運輸上最も便利なるものである。

3 通信 通信機關は近年漸く整備の第一歩に入つたが、偏地はなほ不完全である。海底電信は上海香港から南洋諸島に通じ、太平洋橫斷線に連絡する。陸上はシベリヤ、中央アジア及び印度に通ずる電信がある。

我國との通信……①佐世保—大連間。 ②淡水—福州間。 ③長崎—上海間に海底電信があり、外に無線電信もあつて頗る便利である。

(自習問題)

- 支那の三大河を擧げて略説せよ。(海機・東師)
 2 黃河及揚子江を説明しこれが住民に及ぼす利害に就いて述べよ。(陸 幼)
 3 支那に於ける大河を列擧し、その中重要なものについて産業との關係を述べよ。(小樽高商)
 4 支那の氣候を略説せよ。(長高商)
 5 支那の産業を略説せよ。(長高商)
 6 支那の主要貿易品を列擧せよ。(陸 經)
 7 支那の主要開港場を問ふ。(陸 經)
 8 支那の主要鐵道を圖示せよ。(專 檢)
 9 支那の既成鐵道及び兩終點の名を擧げよ。(海兵)
 10 支那に於ける既成大鐵道の内二線を選び略圖を作るべし。(高檢・神高商)
 11 揚子江の水運の概況を問ふ。(海 機)

- 12 支那の地形及び海岸を記せ。(東高師)
 13 支那本部を形成する各省をあげよ。(一高・海機)
 14 支那住民の種族と其の分布を記せ。(陸 士)
 15 支那に於ける外國の領土及び租借地をあげよ。(東外語・海兵等)
 16 交通上より黃河、揚子江を説明せよ。(廣高師)
 17 東京より北平に至る交通路を問ふ。(東高師)
 18 支那に於ける宗教に就て記せ。(高)

第二節 滿洲

一、關東州

一 境域 遼東半島の南西部で、北は西中島・鳳鳴島・普蘭店・貔子窩を経て長山列島の北部に至る線
で遼寧省と相接する。面積約三千四百方呎、香川縣よりも少し大きい。

二 地勢 長白山脈の支脈が北東から延びて來てゐるから一般に丘陵性で平野は少ない。

1 金州地峽……金州灣と大連灣によつて狹められてゐる所。

2 金州半島……金州地峽より西南の部分、日露戰役に名高い二〇三高地、旅順港等がある。

3 長山列島……州の東部、黃海上にあつて北部なるを裏長山列島、南部なるを外長山列島といふ。日清戰役に名高い海洋島は外長山列島の東部に在る。

三 氣候 夏季に於ては奥羽、北陸の氣温と變りはないが、冬季は北海道東岸の氣温に似てゐて、
港灣の結氷する所も多い。雨量は内地に比して甚だ少なく、六、七、八月の間に一年の雨量の大部が
降る。

四 産業 地域が狭く平野が少ないので高粱の外特殊の産物がな。漁業と製鹽業は將來とも有望で

ある。其の他見るべきものとしては大連の豆粕・豆油の製造及び滿洲産物の取引である。

五 交通

1 陸上交通……南滿洲鐵道(大連より長春に至る) 旅順線(大連より旅順に至る)

2 海上交通……貿易港(大連・旅順)大連・門司間は千百軒航海二晝夜を要する。

六 政治 支那よりの租借地。旅順に關東廳を設けて域内の民政を司り、南滿州鐵道及び其の沿線
地の保安に任じてゐる。また地方政治は大連と旅順に民政署を置いて各々管内の民政を分掌させてゐ
る。

●關東廳
域内の民政……大連民政署 統轄
南滿洲鐵道……旅順民政署 統轄
其の沿線地……保安(但し南滿洲鐵道の經營は南滿洲鐵道會社が直接やつてゐる)

日清戰役の結果遼東半島は一旦我國の領有となつたが、露・佛・獨三國干渉のため己むを得ず支那に還附した。
然るに露國は明治三十一年から向ふ二十五年間の約束で租借したのであつた。其の後日露戰役の結果、其の租
借權を露國から譲り受け、大正四年改めて支那と明治三十一年から九十九年間租借することに條約が結ばれた
のである。

中立地帯……遼東半島の北方は關東州保安のために中立地帯となつてゐる。

七 住民

- 1 日本人……十萬餘
- 2 支那人……七十萬七千人 } 合計八十萬六千人(昭和二年末)
- 3 外國人……五百人

八 處誌

- 1 大連 大連民政署の所在地、南滿洲鐵道會社がある。同鐵道の起點であり、また内地及び朝鮮、支那本部との通過貿易が盛んで市街、港灣の設備がよく整つてゐる。
輸出品……大豆、豆粕、豆油、石油、石炭。(豆粕製造所がある)
輸入品……綿布、材木、酒類。
- 2 旅順 丘陵に取圍まれて天然の城塞である。關東廳及び旅順民政署の所在地。港内は東西の二部に分れ、西港は開港場であるが其だ振はぬ。
- 3 周水子 旅順線の分岐點。
- 4 金州 大連の西北、近海には水産が多く、附近には日露戦役の激戦地南山がある。
- 5 天日製鹽地……貔子窩、普蘭店、雙島灣(旅順の北西海岸を見よ、雙島灣とも書く)

二、滿洲地方

一 境域

東……沿海州(西比利亞)及び朝鮮
 南……關東州及び河北省(支那本部)
 西……外蒙古及び熱河省
 北……黒龍江を以て西比利亞に境す

日露戦役激戦地及其の舊蹟。
 旅順。二〇三高地。水師營。松樹山。東鶏冠山。黄金山。

三區分
 1 遼寧 (Liaoning)
 2 吉林省 (Kirin)
 3 黒龍江省 (Heilungkiang)

面積約百萬方軒
 我が國の一倍半

二 地勢

東部……長白山脈
 西部……興安嶺
 此の兩山脈間は廣漠たる滿洲平野

北部斜面……松花江、嫩江(黒龍江に注ぐ)
 南部斜面……遼河(渤海灣)

三 氣候

四 産業

大陸性で寒暖共に著しい差があり、そして厳しい。七、八月の頃には雨量最も多く、年雨量の二分の一を占める。泥濘膝を没し、交通を妨げる。冬は河川、海岸は概ね氷結する。

- 1 農業 沃野廣く夏季は暖濕であるから頗る農業に適する。
北滿洲……小麥、麻、粟等。
就中高梁、小麥、大豆は滿洲の三大農産である。
南滿洲……大豆、高粱、玉蜀黍、烟草等
其の他……鴨綠江、遼東半島に於ける柞蠶の飼育(これから柞蠶絲をとる)奉天附近の米作(内地にも輸出する)甜菜の栽培(甜菜糖を製する)は將來有望とされてゐる。

高粱は朝鮮人・滿洲人の常食である。又これから高粱酒を製し、莖は燃料とする。

- 2 牧畜 西部の草原より東部内蒙古にかけて羊毛・牛の飼育が盛んである。殊に此の地方の羊を改良して我が國毛織物の原料としやうとする計畫があることを忘るな。
- 3 林業 鴨綠江、豆滿江、松花江の上流には寒帯性の密林があつて朝鮮松、樺等を出す。是等の伐木事業は何づれも日支合辦の經營である。
- 4 鑛業 鐵物の埋藏が頗る豊富、石炭を第一とし、金、銀、鐵の産がある。

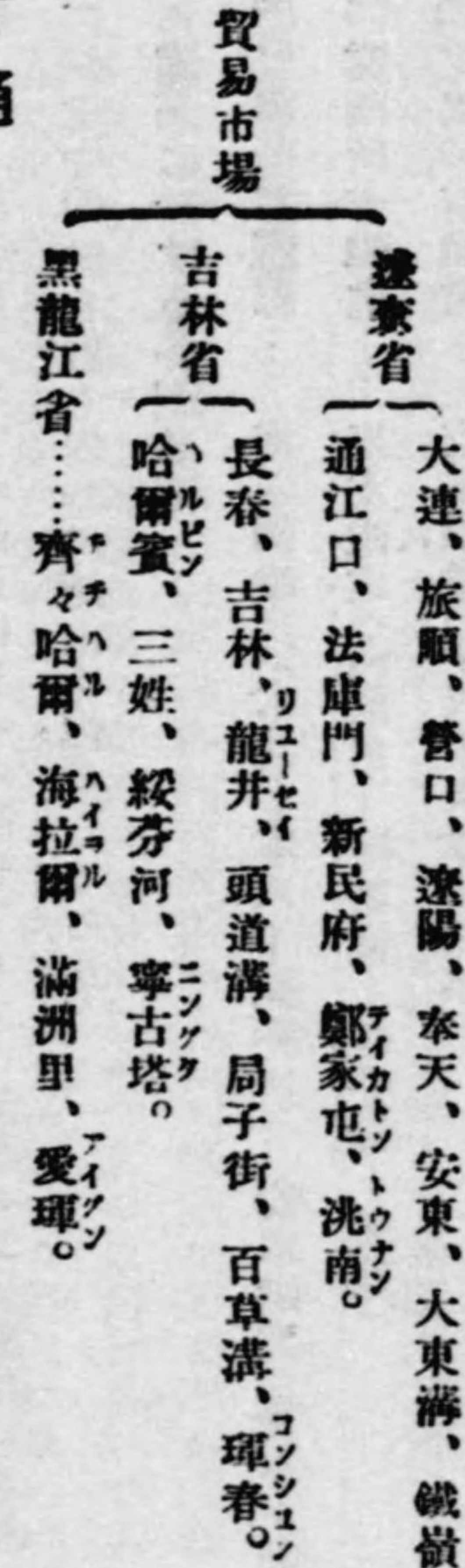
石炭……撫順、煙臺、本溪湖。
製鐵……鞍山站、本溪湖。

(一) 日本人の經營……撫順、煙臺(以上探炭) 鞍山(製鐵)
(二) 日支合辦經營……本溪湖(探炭、製鐵) 鞍山(探鐵)

5 工業 製粉、豆粕、豆油の製造盛んである。なほ燒酎、柞蠶絲業も將來有望。

豆油……食用又は化學工業に用ゆ。
豆粕……肥料又は家畜の食用となる。

6 商業
輸出品……大豆、豆粕、豆油、穀物、石炭、柞蠶絲、皮革等。
輸入品……綿布、綿絲、金屬器、雜貨。
取引國……日本を主とし貿易額の過半は日滿貿易による。次は露、英、米である。



五 交通

1 鐵道 南滿洲及び安奉鐵道は日本の經營でロシア經營の東支鐵道に連絡する。日露兩國は是等の軌道に沿うて鐵道守備隊を置き同時に鐵山を經營してゐる。

▲滿洲に於ける各鐵道權

- 日本所有鐵道……南滿洲鐵道(大連—奉天—長春) 安奉鐵道(奉天—安東)
- 露國所有鐵道……東支鐵道(滿洲里—哈爾濱—綏芬河—浦鹽)
- 支那所有鐵道……京奉鐵道(奉天—天津—北平)

○日支合辦 既成鐵道……吉長鐵道(長春—吉林) 四洮鐵道(四平街—鄭家屯—赤成—洮南)

豫定線……吉會鐵道(吉林—會寧)

2 水運 黑龍江及遼河は航運が便であるが冬季は結氷する。併し水面は道路となつて却つて交通に適する。

3 電信 佐世保、大連間。長崎、大連間。大連、芝罘間に海底電線が通じてゐる。

六 住民

人口は凡そ二千四百萬。南部の平原地方は人口稠密、北部・西部は稀薄である。原住民は通古斯族といつて皆て清朝を建てたのであるが現今は衰へてゐる。今日は漢族が最も多く(支那本部から移住)經濟上に勢力を有してゐる。また西部には蒙古族が遊牧をなし、南東部には朝鮮人が農業を營んでゐる。

七 政治 行政上遼寧・吉林・黑龍江の三省に分れてゐる。

八 日滿の關係

1 移民關係 日本内地移民は約二十五萬(内關東州に約十萬) 朝鮮との國境附近に五十萬の朝鮮人が農耕に従事してゐる。

2 外交關係

○日本總領事館所在地……奉天、^{カントウ}間島、^{ハルビン}哈爾濱、吉林。

○同 領事館所在地……安東、營口、遼陽、鐵嶺、長春、^{チチハル}齊齊哈爾、鄭家屯、滿洲里。

3 利權關係

鐵道、鑛山、農耕地、森林等に關する利權を得てゐる。

○鐵道……南滿洲鐵道、安奉鐵道、吉長鐵道(日支合辦) 四洮鐵道(日支合辦)

○鑛山……撫順、煙臺(以上は炭坑で日本人經營) 鞍山(鐵山で日本人經營) 本溪湖(日支合辦)

○租借地……關東洲は一八九八年より九十九年間支那より租借してゐる。

滿洲移民の覺悟

滿洲は蒙古及び西比利亞と共に將來我移民の發展地として有望な所である。併し今日までの如く小資本を以て内地に商賣する如き氣では到底事業の成功は尠東かない。其の原因は多いであらうが最も重なることは、支那人は邦人に比して生活程度が低いといふことである。それは獨り商人に限らず勞働者でも生活程度の低い彼等と對抗しなければならぬのだ。支那人勞働者は一日六、七十錢で働く。それでゐて金はのこる。日本人勞働

九 處 誌

○ 遼 寧 省

者は日に二、三國であつても生活に窮する國民だ。故に商業を以て彼の地に發展せんとするものは大資本を以て薄利多賣主義をとるべく、労働者として發展するものは支那人と同じ生活に耐へ得る者でなければならぬ。何れにしても相當の覺悟が必要である。

- 1 蓋平(ガイヘイ) 遼東半島の西北、南滿洲鐵道に沿ひ、柞蠶絲の本場である。
- 2 遼陽(リャウヤウ) 奉天の南方、大豆、豆粕、豆油の集散地。日露戦役の激戦地。首山堡は南方にある。
- 3 奉天(ホウテン) 遼寧省の首府、滿洲第一の大都會、交通の要衝に當り、大豆、豆粕、煙草、獸皮の取引が盛である。附近は南方の沙河と共に日露戦役の大激戦地。我が總領事館がある。
- 4 鐵嶺(テツレイ) 奉天の東北にある商市、邦人の盛大なる製粉所がある。我が領事館、守備隊の所在地。
- 5 馬蜂溝(バホウコウ) 遼河の上流に臨む河港。鐵嶺の農産物を積出す。
- 6 通江口(ツウコウコウ) 馬蜂溝の北、遼河航運の終點。
- 7 開原(カイゲン) 開原は西北の昌圖(シャウト)と共に大豆の集散地として名高い。
- 8 四平街(シヘイガイ) 南滿洲、四洮兩線の會する處。東内蒙古との交通取引の要地。

- 9 公主嶺(コウシュレイ) 近時大いに發展し、農産物の集散が多い。
- 10 本溪湖(ホンケイコ) 遼陽の東、安奉線に沿ひ石炭の産地。附近に産する鐵礦と石炭とで製鐵業も盛んである。探炭、製鐵共に日支合辦。
- 11 鞍山(アサン) 遼陽の西南にある鐵産地。壯大なる製鐵所がある。鐵礦の探掘は日支合辦、製鐵所は日本人の經營。
- 12 煙臺(エンダイ) 遼陽の東北にある石炭の産地。南滿洲鐵道會社の經營に屬す。
- 13 撫順(フジュン) 奉天の東方、石炭の産地、炭田の廣さ東西二十軒、炭層の厚さ平均四十米、埋藏量約十億噸、年々の探掘量四百萬噸、炭田は二區に分れ、探炭の規模は東洋第一。大連、營口、安東等から盛んに輸出される。煙臺炭坑と共に南滿洲鐵道會社の經營に屬す。
- 14 安東(アンドン) 朝鮮の新義州と相對し水陸交通の要地を占め、安奉線の起點に當る。木材の集散に名高く、又大豆、柞蠶絲を輸出。我が領事館の所在地。
- 15 大東溝(ダイトウコウ) 鴨綠江口の開港場で木材を集散する。
- 16 九連城(キユウレンジャウ) 對岸なる新義州と共に日清、日露の激戦地として有名。
- 17 新民府(シンミンフ) 奉天の西方、奉天總領事館の分館がある。
- 18 營口(エイコウ) 遼河の河口近くにあつて石炭、大豆、豆粕の輸出が多い。此の港の缺點は冬季結氷するのと港が淺いことである。

- 19 法庫門(ハウコモ) 通江口の西南にあつて蒙古との交易場である。
- 20 鄭家屯(テイカト) 遼河の上流、四洮鐵道に沿ふ。附近農牧の中心市場として畜産の取引が盛である。本邦人の在留するものが多くなつて來たので領事館が設けられてある。
- 21 洮南(トウナン) 松花江の一支流に臨み、四近開發の中心地。また鄭家屯と共に蒙古との取引盛大。將來鐵道の要地たるべき地である。

◎吉林省

- 1 長春(チフシユン) 南滿洲鐵道の終點で東支那、吉長鐵道の分岐點。大豆、豆粕、家畜の取引が盛大。邦人市街は規模宏大である。長春は亦寬城子(カンジャウシ)ともいふ。
- 2 哈爾濱(ハルビン) ロンヤが滿洲經營の策源地として新しく建設した所で、北滿洲の交通、軍事、商業上の中樞である。製粉、搾油(豆油をとる)等の工業が行はれ、小麥、大豆、皮革の集散が頗る多い。
- 3 吉林(キチリン) 吉林省の首府。松花江に臨み木材、煙草、毛皮の集散地として名高い。
- 4 三姓(サンシン) 松花江と牡丹江の相會するあたりに在る港市。麥類、木材、毛皮の取引行はれ、附近に砂金の産地がある。
- 5 伯都答(ベトダ) 吉林の西北、第二松花江に臨む港市。蒙古との取引が盛である。
- 6 寧古塔(ニングタ) 牡丹江の上流、三姓の南に當り、清朝發祥地に近い所として名高い。

- 7 間島(カントウ) 豆滿江の中流に沿ふ一帯の地方で多數の朝鮮人が居住す。もと清韓の係争地であつたが明治四十二年支那領となる。大豆、人蔘、粟、銀、砂金の産が多い。
- 8 龍井村(リウセイソン) 間島地方の要地で間島總領事館がある。
- 9 同子街(キョクシガイ) 間島總領事館の分館がある。
- 10 琿春(コンシユン) 國境の要地でシベリヤ地方との取引が行はれる。

◎黒龍江省

- 1 齊々哈爾(チチハル) 黒龍江省の首府。松花江の支流嫩江に沿ひ毛皮の市場として名高く、我が領事館がある。
- 2 海拉爾(ハイラル) 黒龍江上流、興安嶺の西麓なる商市、羊毛、家畜の取引が盛である。
- 3 滿洲里(マンシユウリ) 東支線上の重要驛、海拉爾と共にシベリヤに對する交易場である。
- 4 愛琿(アイケン) 黒龍江の中流に沿ひ、邊境の要地。ブラゴベチェンスク(シベリヤ)と遙かに相對す。

◎東部内蒙古(熱河省、察哈爾省)

(此の地方と滿州を併稱して滿蒙地方といふ)

- 1 總説 南滿洲の西方にある廣漠たる地域で、内蒙古東部一帯の稱であつて、熱河・察哈爾の二省に分たれてゐる興安嶺の山脈以外は大部分平野で農牧に適する。氣候は大陸性を帯び寒暑の差が甚だしい。住民の主なるものは蒙古族で農耕を主とし天幕生活をしてゐる。産物としては大豆、高粱、麥類の農産を主とし、金、銀、

2

石炭はあるが未發掘のものである。宗教は喇嘛教で、文化は開けて居らぬ。近來邦人の移住が多く、ために領事館も設けられてある。我が國としては鐵道の敷設權、事業經營の權利を握るに到つた。

(一)赤 峰(セキハウ) 遼河の上流にあつて蒙古物産の集散地。我が領事館がある。
(二)承 德(シヤウトク) 灤河の上流に位し、清帝が屢々避難した所として名高い。熱河(ネツカ)とも稱す。
(三)多倫諾爾(ドロンノール) 張家口の北方にある交易場。穀物、家畜の取引が盛である。

(自習問題)

- 1 滿洲の地形圖を拵け。(東高師)
- 2 滿洲の産業を概説せよ。
- 3 滿洲の主要輸出入を主なる貿易場(開市場)を問ふ。
- 4 滿洲の鐵道線を圖示せよ。(類似問題廣高師)
- 5 滿洲に於ける各鐵道線名を擧げ其の所有國を記せ。(廣高師)
- 6 關東州の政治に就て述べよ。
- 7 滿蒙地方の我領事館所在地を列擧せよ。(專 檢)
- 8 南滿洲鐵道に沿ふ産栗市を南より順序にあげよ。
- 9 左の地につき知る所を記せ。
大連(海欄) 蓋平(陸士等) 金州。遼陽。
鐵嶺(東高師等) 三姓(東高師)

14 13 12 11 10

- 熱河。(小樽高商) 奉天。(高) 本溪湖。(海經等)
- 鞍山。撫順。(東外語等) 煙臺。安東。(陸士等)
- 營口。(海兵法庫門) (陸士等) 鄭家屯(東高師等)
- 吉林。(七高) 洮南。(神戸高商等) 赤峰。(高)
- 伯都答。龍井村。高檢) 齊々哈爾。
- 長春。東高師等) 間島(東高師) 海拉爾。
- 哈爾濱。(陸士等) 多倫諾爾。琿春(陸士)
- 關東州の價値を論ぜよ。(東高師)
- 關東州の氣候及び物産を問ふ。(東高師)
- 滿洲に於ける日本人の事業を問ふ。(東高師)
- 滿洲の鐵道と其の産地を問ふ。(專 檢)
- 東支鐵道に就き知る所を記せ。

第三節 支那本部

一、北部支那

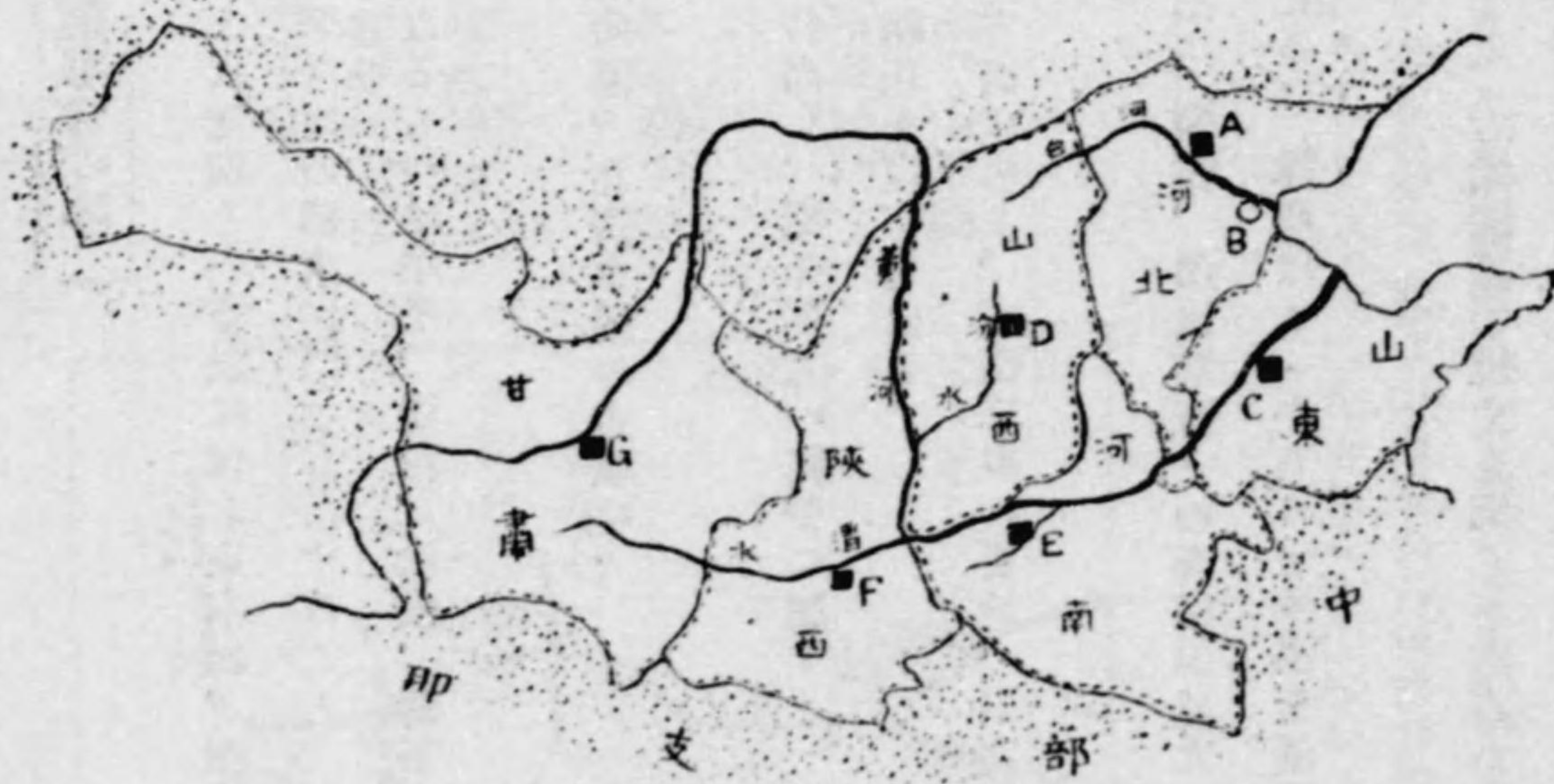
一 境 域 陰山・秦嶺(北嶺) 兩山脈間の黃河流域をいふ。

河北・山東・河南・山西・陝西・甘肅の六省がある。

二 處 誌

① 河 北 省

1 北平(ヘピン) 明・清及び中華民國の昭和三年までの首都たりし所にして、市街は四壁に城塞を繞らし、舊皇城、舊諸官衙等が相櫛比してゐる。商業は盛大、交通も賑かであるが街區狹隘加ふるに惡道不潔である。我公使館の所在地。



- A 北 系
- B 天 津
- C 濟 南
- D 太 原
- E 河 南
- F 西 安
- G 蘭 州

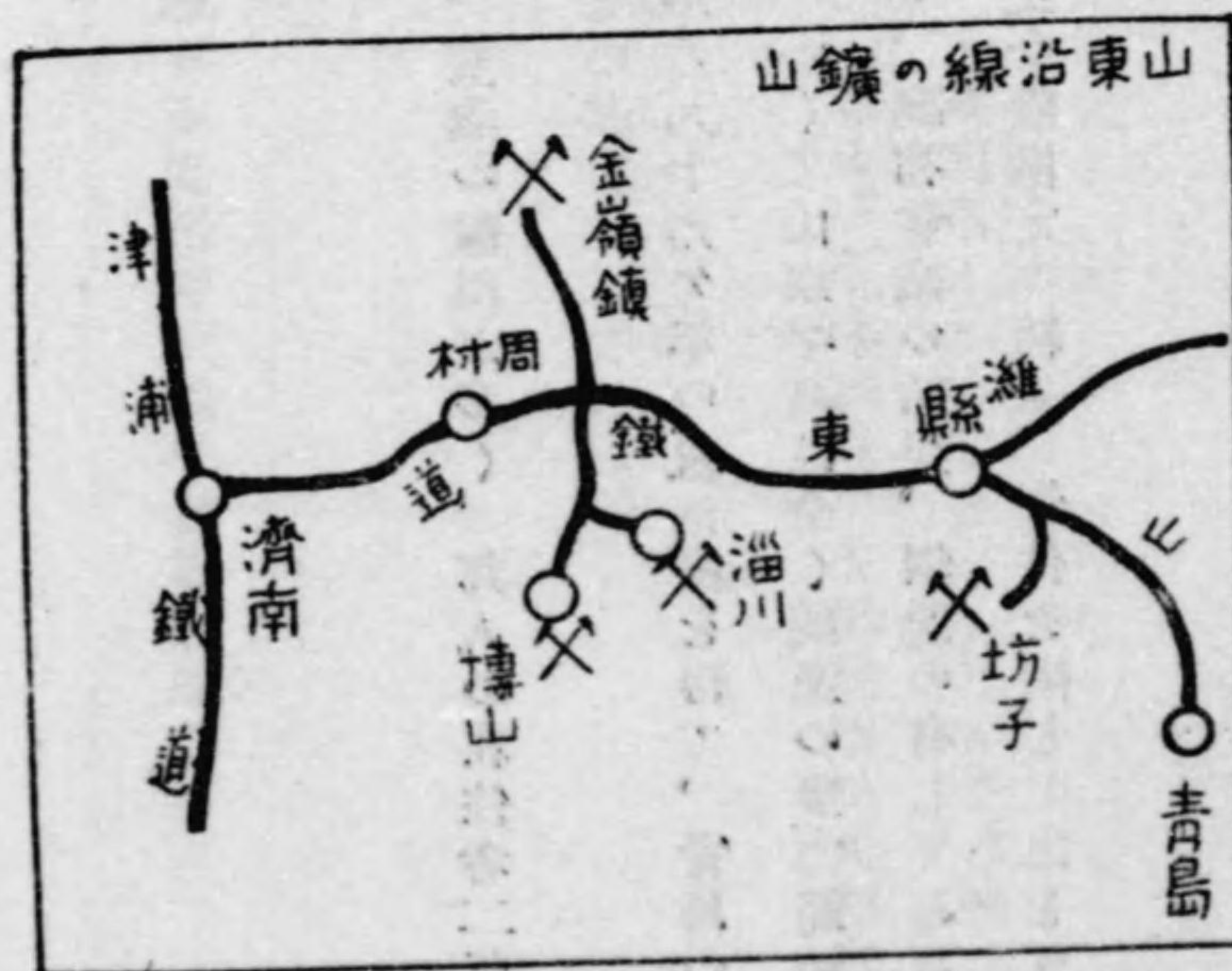
萬壽山……北平の北方にあつて林泉の美に名高い。清朝離宮の跡

- 2 天津(テン シン) 白河の下流(河口より六十軒)と大運河との會點に位し京奉線、津浦線の分岐點に當り、北平の咽喉を扼す。北支那第一の開港場。然るに 季白河の結氷(約三ヶ月)すること。及び大汽船は河口の大沽沖に碇泊する二大缺點を有してゐる。輸出品の主なるものは羊毛、棉花、生皮、磚茶。我が總領事館の所在地。
- 3 大沽(ターク) 白河の河口にあつて天津の補助港。北清事變の古戰場。
- 4 保定(ホ テイ) 京漢線に沿うてゐる都會。
- 5 開平(カイピン) 北なる蘆州と共に炭田を以て名高く、現今英人の經營に屬す。
- 6 秦皇島(シヨウワウトウ) 渤海唯一の不凍港で開平炭の輸出を以て著はる。
- 7 山海關(サンカイクワン) 支那本部と滿洲の界なる海岸方面にあり、交通軍事の要地。名高き萬里の長城は此の地を起點として西走する。
- 8 張家口(テフカコウ) 萬里長城の要路にある交易場で、蒙古、西比利亞との商業が盛大、毛皮、皮革、羊毛、磚茶の取引が行はれる。北平より京綏鐵道が來てゐる。隊商はこゝからゴビ沙漠を横斷して外蒙古に至る。
- 9 居庸關(キヨウウクワン) 張家口と共に長城の要路に當り、六個國語の經文を刻した門石があるので名高い。

萬里長城……支那戰國時代に北方蠻民族侵入を防備するため要塞線として築いたものである。其の後秦始皇帝、隋煬帝等が修築して同じく北方蠻族に備へたのであつた。東は山海關から西は甘肅省の嘉峪關まで蜿蜒三千二百軒、高きは六米乃至九米、厚きは四米餘、而して約二十米毎に堡壘がある。大運河と共に世界的二大土木工事と稱せられる。

山東省

- 1 濟南(サイナン) 省の首府。黄河の河畔に近く、津浦、山東兩鐵道の要路に當り商業が極めて旺盛、我が總領事館の所在地。
- 2 曲阜(キョクフ) 孔子の祖廟があるので名高い。
- 3 泰山(タイザン) 省のやゝ中央部にある名山。山中に諸廟宇が多い。
- 4 芝罘(チーライ) 一名煙臺といふ。山東半島北岸の開港場であり不凍港で山東苦力(山東省の勞働者)の出發地として名高い。柁蠶絲を輸出する。
- 5 山東鐵道沿線の嶺山 (博山(ハクサン)) 石炭を以て名高く日支共同の經營。



①坊子(ボウシ) 支那屈指の探炭地、日支共同の經營。

②淄川(シセン) 支那屈指の探炭地、日支共同の經營。

③金嶺鎮(キンレイチン) 周村の東北に在つて邦人經營の鐵山。

④龍口(リュウコウ) 日獨戰役に我が軍の上陸地。

⑤青島(チントウ) 山東の門戸をなし麥稈眞出、生絲、落花生、豆油の輸出が多く、邦人の在住者二萬を越える。我が總領事館の所在地。

⑥膠州灣(コウシウワン) 山東半島の南岸にある。獨逸は一八九八年から九十九九年の租借權を得て、青島の市街及び港灣を經營し、山東鐵道を敷設し、沿線の鑛山探權を収め、かくて山東半島は全く獨逸の勢力範圍となつた。然るに世界大戰に於て我が軍の占領(大正三年)する所となり、講和會議の結果、獨逸の有してゐた權利は一切我が國が引續ぐことになつた。而して大正十一年一月、日支全權協定の結果、條件を附して之を支那に還附したのである。

③山西省

1 太原(タイゲン) 省の首府、京漢線の支線が通じ、附近からは鐵、石炭、岩鹽を産する。

2 大同(ダイドウ) 京綏線に沿ひ、軍事上の要地として知られてゐる。附近なる雲岡の石佛は世に名高い。

④河南省

1 開封(カイフウ) 省の首府、宋時代に汴京と稱し首都となつた所である。黄河の南岸にあつて、市街には水面よりも低い。古來屢々大水害のあつた所である。

2 河南(カナン) 黄河の一支流洛水に臨み、周、漢、魏、晉の都たりし所であるから其の史蹟にみちみちる。

3 函谷關(カンコクカン) 河南省から渭水の盆地に入る要地で、古來名高き關所のあつた所である。

⑤陝西省

センセイシャウ)

1 西安(センアン) 省の首府。黄河の一支流渭水の南岸に位し、古來鎭京とか長安といふた所で、周、漢、隋、唐の都した所である。附近に史蹟が多い。市は渭水の盆地の中心に當り、商業繁盛、支那屈指の大都會である。

2 咸陽(カンヤウ) 長安に近く、渭水の北岸にあり、昔秦始皇帝の都した所である。

3 漢中(カンチュウ) 秦嶺の南、漢江の上流に沿ひ漢中盆地の中心である。

⑥甘肅省

1 蘭州(ランシユウ) 省の首府、黄河上流の右岸にあり、新疆に通ずる要路で、羊毛の集散地。

2 西寧(セイネイ) 北支那より青海、西藏に通ずる門戸である。

二、中部支那

一 境域 揚子江流域なる江蘇・浙江・安徽・江西・湖北・湖南・四川・貴州・西康の九省をいふ。
二 處誌

○江蘇省

- 1 上海(シャンハイ) 揚子江上流十二哩の地にあつて遠海航路の汽船も出入する。中部支那の咽喉を扼して商工業が隆盛。東洋屈指の貿易港で生絲、綿、茶を輸出し、綿、茶を輸出し、綿絲、綿布、石炭、阿片を輸入する。我が總領事館の所在地。
- 2 吳淞(ウースン) 黃浦江(コウホコウ)に臨み上海の外港をなす。海底電線の陸上所である。



- A 江蘇 (南京)
- B 杭州
- C 安徽
- D 南昌
- E 武昌
- F 長沙
- G 成都
- H 貴陽
- I 打箭爐 (チエンル)

- 3 蘇州(ソシュウ) 杭州、沙市(シャシ) 重慶(テフケイ) と共に馬關條約により開港場。大運河に沿ひ太湖に臨む。絹織物の産が多い。我が領事館の所在地。附近には姑蘇城、寒山寺、楓橋等の勝地が多い。
- 4 無錫(ムシヤウ) 蘇州の西北に近く、繭、生絲の大中心地。
- 5 鎮江(チンヨウ) 大運河と揚子江の相會する所にあつて絹布及び農産物を輸出する。省の首府所在地。
- 6 江寧(コウネイ) 我が國に於ては通商南京といふ。中央政府所在地。揚子江下流の右岸なる開港場。北は對岸浦口(ホコウ)に起る津浦線によつて天津に通じ、南は滬寧線によつて上海に達する。また古來の舊都なるが故に古刹、名跡が多く、文華風流なることは支那第一。絹織物、陶器等を産する。
- 7 浦口(ホコウ) 江寧の對岸にあつて津浦線の終點をなす。
- 8 海門(カイモン) 揚子江河口左岸にあつて海關鐵道の起點豫定地である。

○浙江省

- 1 杭州(コウシュウ) 省の首府、古の臨安(リンアン) 錢塘江に臨み、大運河の終點に當る。絹織物の産が多い。錢塘江の海嘯は世に名高い。

楓橋夜泊
 月落烏啼霜滿天
 江楓漁火對愁眠
 姑蘇城外寒山寺
 夜半鐘聲到客船

- 2 寧波(ニンポー) 往昔繁盛を極めた港であつたが、現在は上海に壓倒されてゐる。昔時我が遣唐使の上陸したところ。
- 3 温州(チンシュウ) 附近から温州密柑を産す。
- 4 紹興(シヨウコウ) 杭州の南にあつて酒を出す。

③ 安徽省 (アンキシヨウ)

- 1 蕪湖(フ) コ 揚子江右岸にあつて茶を輸出する。我が領事館の所在地。
- 2 桃冲(トウチュウ) 蕪湖の西南にある鐵山。我が九州戸畑の製鐵所に鐵礦を供給してゐる。
- 3 安慶(アンケイ) 省の首府、揚子江の左岸に位す。
- 4 徽州(キシユウ) 省の東南隅に位し、安慶と共に古來墨の名産地として知られる。

④ 江西省

- 1 九江(キユウコウ) 揚子江右岸の開港場、茶、陶器の輸出が頗る多い。
- 2 萍鄉(ヒョウケフ) 省の西境に近い所にあつて、豊富なる大炭田、良質の石炭を出す。また此處で多くの骸炭を製造する。漢冶萍会社の經營に係る。

徽墨といふは徽州から出る墨をいふのである。

廬山(ロザン) 九江の南にあつて有名なる避暑地である。

漢冶萍公司……漢陽の製鐵、大冶の鐵山、萍郷の炭坑を經營する會社で、我が國の投資額が甚だ多い。

- 3 南昌(ナンシヨウ) 省の首府、贛江(鄱陽湖)に流入するに臨み、紙を産する。
- 4 景德鎮(ケイトクチン) 鄱陽湖の東にあつて陶磁器の産は支那第一。

⑤ 湖北省

- 1 漢口(カンコウ又はハンカオ) 揚子江畔に臨み武昌、漢陽と共に鼎立する。上海を距る千百軒、二千噸級の汽船の航終點。また鐵道は京漢線の終點。水陸交通の便がよく、貨物の集散が頗る盛大である。上海を除いては揚子江岸第一の貿易港。磚茶、棉花の輸出が多い。我が專管居留地及び總領事館がある。
- 2 武昌(フシヨウ) 省の首府。漢口の對岸、粵漢線の起點に當り、製絲、紡績等の工業が盛んである。
- 3 漢陽(カンヨウ) 漢口の西方、漢江の對岸にあつて揚子江にも臨む。漢冶萍会社の經營にかゝる日支合併の大製鐵所がある。
- 4 沙市(シヤシ) 揚子江の左岸に臨む開港場。我が領事館の所在地。
- 5 宜昌(ギンヤウ) 漢口の西方(上海より一千八百軒)揚子江に臨む開港場、一千噸級汽船の終航點。我が領事館の所在地。
- 6 三峽(サンケフ) 宜昌より四川省の萬縣にゑる間は、米倉峽、巫山峽、瞿唐峽の峽流が相連り、碧潭深

く、兩岸削り立てられ、また峽と峽との間には灘と稱する急流があつて舟行も危険である。故に河川砲艦、又は吃水の浅い特別汽船の外は航行不可能である。

7 大冶(ダイヤ) 漢口の東南にある大鐵山(明治二十三年の發見)埋藏礦物量約二億噸と稱せられ、其の探掘は年額約五十萬噸。之は漢陽の製鐵所並に我が八幡製鐵所に送られる。

⑥ 湖南省

- 1 岳州(ガクシニウ) 洞庭湖に臨む開港場。附近湖畔の風景明媚。岳陽樓・瀟湘八景の勝がある。
- 2 常德(ジャウトク) 沅江に沿ふ開港場。
- 3 長沙(テフサ) 省の首府。開港場で萍鄉の石炭輸送の要地に當る。茶、米の集散が頗る多い。
- 4 新化(シンクワ) 長沙の西方に在つて、アンチモニーの産額世界第一。

⑦ 四川省

- 1 重慶(チフケイ) 揚子江最上流の開港場。生絲、茶、絹布の大集散地。我が領事館の所在地。
- 2 成都(セイト) 省の首府。巴蜀盆地の西に當り絹布の産出が多い。附近には棉花、茶、生絲の産出が多い。我が總領事館の所在地。

⑧ 貴州省

貴陽(キヤウ) 省の首府。附近には未開の蠻族たる苗族が住んでゐる。

⑨ 西康省

- 1 打箭爐(ダチエンル) 大雪嶺山脈中にあつて西藏へ通ずる要路に當る。西康省の首府。
- 2 巴塘(パタン) 揚子江の上流たる金沙江に臨み川邊第一の商業地、内地の磚茶と西藏の麝香、砂金との交易が盛んである。

三、南部支那

一 境域 珠江の流域に屬する雲南・廣西・廣東の三省と

其の東部なる福建省を含む地方をいふ。

二 處誌

⑩ 福建省

- 1 三都澳(サントアウ) 福州の東方、小島上にある開港場。



茶の輸出が多い。

- 2 廈門(アモイ) 廈門島上にある良港。茶、砂糖の輸出が多い。支那移民の出発地として著名である。
- 3 福州(フクシユウ) 省の首府。閩江の下流にある開港場。茶の輸出が盛んである。我が總領事館の所在地。
- 4 馬尾(パビ) 閩江口に臨み、福州の外港。壯大なる造船所がある。我が臺灣へは海底電線を通ずる。

③ 廣東省

- 1 汕頭(スワタオ) 省の東北隅の開港場。砂糖を輸出する。
我領事館の所在地。
- 2 廣東(カントン) 省の首府。珠江の三角洲上にあつて南部第一の大都會。南支那に於ける政治經濟の大中心地。支那有数の開港場で、盛んに生絲、絹布、花筵、陶磁器等を輸出する。我が總領事館の所在地。
- 3 海南島(カイナントウ) 雷州半島と相對し、天蠶絲の名産地である。
- 4 三水(サンスキ) 珠江に臨む開港場。
- 5 北海(ホツカイ) 省の西部、東京灣に臨む貿易港。

不割讓地……福建省は我が臺灣の對岸で關係が密接であるから、支那は我が國に對して此の地の不割讓を約してゐる。

④ 廣西省

- 1 梧州(ゴシユウ) 珠江に臨み省の咽喉を扼する開港場。省の首府。

- 2 桂林(ケイリン) 珠江の一支流、桂江に臨む山間の名邑。
- 3 南寧(ナンネイ) 珠江の支流邕江に臨み、水陸交通の要衝を占めてゐる。
- 4 龍州(リュウシユウ) 省の西南に位し、佛領東京より龍州鐵道が通じてゐる。

⑤ 雲南省

- 1 雲南(ウンナン) 省の首府。佛領河内から雲南鐵道を通じてゐる。
- 2 大理(ダイリ) 西方の山間在に於て附近から大理石を産す。
- 3 蒙自(モンジ) 佛領印度支那や英領緬甸に對する取引地である。
- 4 思茅(シボウ) 佛領印度支那や英領緬甸に對する取引地である。
- 5 騰越(トウエツ) 佛領印度支那や英領緬甸に對する取引地である。
- 6 河口(カコウ) 佛領印度支那や英領緬甸に對する取引地である。

(自習問題)

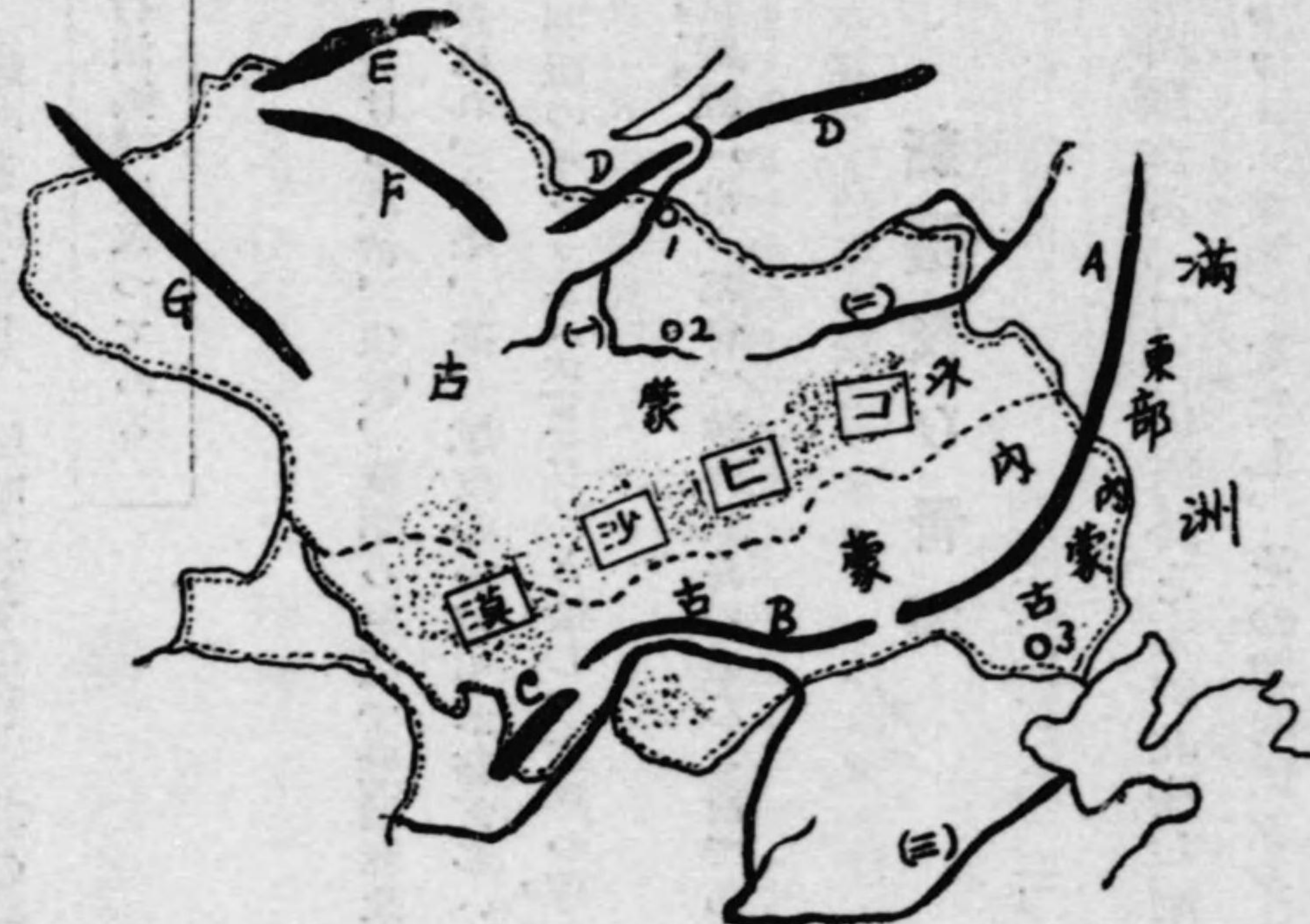
- 1 支那本部の各省を列擧して其の首府を記入せよ。(東外語・海經)
- 2 日支貿易關係を述べよ。(高)
- 3 支那本部の境界を示せ。(高)
- 4 揚子江及珠江に臨む開港場を問ふ。
- 5 揚子江岸の都會を上流よりあげよ。(海兵・東外語)
- 6 山東鐵道沿線の産業狀態を述べよ。(大分高商)
- 7 大運河に就き知る所を記せ。
- 8 左の地に就き知る所を記せ。

北平(北京)(海兵)	天津(陸經)
秦皇島(東高師)	開平(專機)
淄川(高)	膠州灣(高)
青島(高)	濟南(廣高師)
曲阜(東外語)	芝罘(海兵)
張家口(東外語等)	山海關(高檢)
上海(海兵・東高師等)	吳淞(廣高師等)
蘇州(專檢等)	無錫
南京(江寧)(陸士等)	九江(東高師等)
景德鎮(專檢等)	大冶(海兵等)
寧波(陸士)	成都(海兵等)
廣東(大外語・高・陸士)	太沽(海兵)
長沙(東高師)	漢口(大外語等)
汕頭(專檢)	廈門(海兵等)
桂林	沙市(東高師)
杭州(東高師)	重慶(長高師等)

福州 專機・東外語)	宜昌(海兵等)
武昌 神高師	南昌(山口高師)
萍鄉(海兵・東高師)	蒙古
漢陽	桃冲
蕪湖	打箭爐
北平より發する鐵道線名及び其の終點を記せ。	
9 津浦鐵道	(廣高師・東高師)
10 京漢鐵道	(東高師)
11 舟山列島	(海 機)
12 漢冶萍公司	(海兵・東高師)
13 閩 江	(東高師)

第四節 蒙 古 (Mongolia)

一 總 說 支那本部の北に當る一大高原地帯である。面積は三百五十四萬方呎(日本の約五倍)ゴビ沙漠中央に横たはり、内蒙古及び外蒙古の二部に分れる。内蒙古は支那の行政區域にあつて、緩遠・寧夏の二省が設けられてある。外蒙古は名義上支那の屬國であるが、露西亞に倣つて勞農政治を行ひ活佛が統治權を握つてゐる。併し露西亞の勢が非常なものであることを忘れ



- A 興安嶺(コウアンレイ)
- B 陰山脈(インザン山脈)
- C 賀蘭山脈(ガラン山脈)
- D ヤブノロイ山脈(Yabloroimts)
- E サヤン山脈(Sayamt)
- F 唐努山脈(タンヌ山脈)
- G 阿爾泰山脈(アルタイ山脈)
- (一) 圖拉河(ツーラ河)
- (二) ケルレン河(Kerlen R.)
- (三) 黃河
- 1 買賣城(マイマチン)
- 2 庫倫(クーロン)
- 3 承德(シヨウトク)

てはならぬ。住民は蒙古族で、遊牧を業とし、喇嘛教を信じ、其の教主は活佛である。
東部内蒙古の一部は滿洲の行法區域に入つてゐる

二處誌

- 1 庫倫 (ウラフガ) 又は) 外蒙古に於ける政治、宗教、商業の中樞で壯麗無比なる喇嘛廟がある。蒙古横斷の要路に當り、隊商が集つて交易が行はれ、羊毛、茶、獸皮等の取引が甚だ多い。
- 2 寶賈城 (マイマチン) 西比利亞のキャフタ (Kafka) と接し、支那の磚茶と西比利亞の毛皮を交易する。
- 3 歸化城 (キカジャウ) 共に京綏線に沿う都會で隊商貿易の盛んな所である。
- 4 包頭 (ホウトウ)

第五節 新疆及び青海

(Hisinkians (Ii) and Koko-nor)

新疆省

東西に天山山脈があつて天山南路と天山北路の兩部に別れ、天山南路のタリム河 (Tarin R.) 流域は一大盆地 (タリム盆地) をなし、その域内にタクラマカン沙漠 (Taklamakan Desert) を含む。住民の多くは土耳其人で回教を信奉する。面積は百四十三萬方呎 (我が國の三倍) 人口は約二百

萬、農業又は遊牧をなし、葡萄・羊・駱駝等を産する。鑛産には銅、岩鹽の産がある。

天山南路をズンガリア (Zungaria) …………… ともいふ
天山北路を東トルキスタン (Eastern Turkestan) }

タリム盆地を流るゝタリム河は羅布湖 (Lob-nor) に注ぐ。

- 1 迪化 (テキクワ) 省の首府、商業が盛んである。一名烏爾木齊ともいふ。
- 2 伊犁 (イリ) 邊境の要地で農業の中心地。一名クルヂヤ (Kuldja) ともいふ。
- 3 喀什噶爾 (カシユガル) …… 共に西部の要地。
- 4 葉爾羌 (ヤルカンド) ……
- 5 和闐 (ホータン) 西南部。カラコルム山脈の北麓にあつて絹布及び崑崙の玉を出す。

青海省

揚子江・黄河の水源に位し、土地高燥、崑崙山系が蟠つてゐる。同名の湖青海は海拔三千餘米鹹湖で魚や鹽の産がある。住民は蒙古人、西藏人で主として遊牧を生業としてゐる。

第六節 西藏 (Tidet)

一 總説 支那西部なる支那西部なる支那第一の高原地。平均高度約四千五百呎。氣候は大陸性を

呈し、冬寒がながく降雨は少なく、空気は稀薄である。面積約百二十萬方杆、前藏、後藏の二部に分れ、住民は西藏族である。喇嘛を信奉し、主として牧畜に従事する。犛牛毛・羊毛・麝香砂金は主要なる産物である。人口二百萬。

(一) 犛牛……性質温順で忍耐力に富む動物であるから旅客、貨物の輸送に使用され、皮革は舟にし、肉は食し、毛は衣服に織る。
(二) ブラフプトラ河(Brahmaputra R.)の上流ヤンポー河(Suro R.)の流域には少々の耕作地がある。

1 拉薩(ラサ) 首府、海拔三千六百三十六米、富士山よりも百餘米低い所で、サンポー河の支流に臨み、市民の半数以上は僧侶である。近郊のポタラ山には達賴喇嘛(Dalai Lama)の壯麗なる宮殿がある。蓋し西藏に於ける政治、宗教の大中心地。

2 亞東(アトシ) 印度への通路に當る國境にある交易場である。

二 西藏の近況 従來西藏は支那の屬國であるから、支那の駐藏大臣が拉薩にあつて政治を監督してゐたのである。然るに近年英吉利は軍隊を拉薩に進め、大いに勢力を扶植した。そこで喇嘛教主達刺喇嘛は英吉利の勢力を藉りて西藏の政教權を握つてゐる。總て支那の屬國であつた此の西藏は英吉利の屬國となるに違ひない。

三 西藏の探検 昔から西藏人は外國人の入國を好まぬ風があるので、永く世界の秘密國として世に

知られなかつた。然るに瑞典人ヘチン(Hen-Hedin)等の探検(一八九四—一九〇八)に依つて漸く明瞭となつたのである。

(自習問題)

- 1 近時に於ける西藏の政治狀況を説述せよ。
- 2 サンポー河。
伊 犁 (海兵・高) 迪 化 (陸 士)
喀什噶爾 (東 亞) 和 闐 (文 檢)
ロブノル。 タリム盆地。
- 3 左の地につき知る所を記せ。
拉 薩 (高) 亞 東。
ゴビ沙漠 (三 高) 庫 倫 (高・東高商)
- 4 蒙古の略圖を描き河川山脈を記入せよ。
- 5 蒙古の政治狀況を問ふ。

第七節 列國の領土・租借地

一 英吉利

- 1 香港(Hongkong) (領土) 廣東東口なる小島をいふ……阿片戰爭の結果割取せし所。
市街をヴクトリア(Victoria)……自由貿易港。通過貿易が盛大。英吉利東洋艦隊根據地。
日本より……綿布、石炭、綿絲、燐寸、水産物(凡七〇〇萬圓)
香港より……砂糖、錫……(凡一〇〇萬圓)

2 九龍 (Kouloon) (領土) 香港の對岸にありて廣東に鐵道の便あり。阿片戰爭の結果割取す。

3 九龍半島 附近約一千方軒 (租借地) 租借期限一八九九年から九十九年間。

4 威海衛 (Weihaiwei) (租借地) 租借期限一八九八年から九十九年間。山東半島の北岸にある。

二 佛蘭西

廣州灣 (Kwangchow Bay) 租借地。租借期限一八九九年から九十九年間。雷州半島の東側にある。

威海衛と廣州灣とは一九二二年の華盛頓會議の結果、近く支那に還附することになつてゐる。

三 葡萄牙

澳門 (Macao) 瑪港とも書く。葡萄牙の領土。二百年前に葡萄牙人がこゝを根據地として盛に活動した所

今日は香港に壓倒され、昔日の繁昌を見ることが出来ない。

(自習問題)

1 支那に於ける各國の領土及び租借地を列挙し、且つ

澳門 (外務)

廣州灣 (廣高師・山高商)

其の本國及び租借國名を記せ。

(高師・海兵・海機・海經・高・東外語)

2 左の地につき知る所を記せ。

香港 (高)

九龍 (東外語)

第三章 亞細亞・露西亞 (Asiatic Russia)

第一節 西比利亞 (Siberia)

一 境域 アジヤ洲北部の大部分を占め、西はウラル山脈を以て本國に境する。面積は實に一千二百六十萬方軒我が國の約十九倍。

二 地勢

1 山系 土地は東南方面が高く、西北方面に漸次低下してゐる。地相に依つて左の四帶に分れる。

(一) 高地帶 (Highlands) 東南部にはアルタイ、サヤン、ヤプロノイ、スタノポイ等の山脈が連互して土地が一般に高峻である。

(二) 草野帶 (Steppes) 西南部の平地は中亞細亞の低原に連り、雨量が少ない關係から草野(ステップ)をなし肥沃なる黒土に富む。

(三) 森林帶 (Forests) 高地帶・草野帶以北・北緯約六十五度までをいふ。樺、松、樅等の森林が多く、又毛皮獸(毛皮をとる獸、即ち熊、狐の類)が多い。森林の相は我が北海道のそれに似てゐる。

(四) 凍土帶 (Tundras) 北緯六十五度以北の北極洋一帯の低地は寒氣酷烈で、地中深く凍結し、夏季は其の表面が僅かに融けて蘚苔類が生じ、馴鹿が徘徊の水禽が遊ぶ。所謂、凍土(Tundra)で、土人が僅かに馴鹿を放

牧するのみである。

2 水系 北氷洋斜面にはオビ・エニセイ・レナの三大河、太平洋斜面には黒龍江がある。何れも冬季に於ける結氷期外は舟運の便がある。またバイカル湖(Baikal L.)は水深一千五百二十二米世界最深の湖で、結氷期に於ては楫を用ひるから交通は便利である。

3 海岸 海岸は一般に單調で、北極海岸はオビ灣、タイミル半島、新シベリヤ諸島の外は平凡な屈曲である。太平洋岸にはカムチャツカ半島が突出してベーリング海とオホーツク海とを分ち、更らに樺太島(Og. Kam.)と大陸との間に間宮海峡を挟む。

三 氣候 東南の高地帯は暖風を遮るから海洋の影響が少なく、それで極端なる大陸性の氣候である。一年は短い酷暑と永い寒氣に分れる。東北部は寒氣が殊に酷烈で、レナ河畔のベルホヤンスク(Verkhoyansk)は世界最寒の地と稱せられ、年平均温度零下四十九度、最低六十四度に及ぶ。

四 産業

1 草野帯……大麥、小麥、燕麥、馬鈴薯、麻、甜菜の農産物が多く、西比利亞の穀倉と稱せられる。又牛、馬、羊の放牧も盛んである。

2 森林帯……樺、松の良材及び栗鼠、狐、貂等の毛皮獸を産す。毛皮の品質數量共に世界第一。

3 凍土帯……一般に不毛であるがレナ河下流地方、新西比利亞諸島からは齒象の牙を發掘する。

4 高地帯……金、銀、鐵、石炭、石膏の産に富み、殊にゼーヤ河(Zeya R.)附近の金礦は有名である。

5 水産業……太平洋沿岸は天惠的漁族に富み、鱒、鱒、鮭、鱈等の産が多く邦人の出漁する者が多い。又河川には鮭、鱒の産がある。共に世界第一。

6 商業……取引は主として本國との間に行はれ、支那、日本との貿易も次第に發展した。また都會には定期市(Fair)を開いて取引する風がある。

輸出品……穀類、毛皮、礦物、水産物、畜産物。

輸入品……諸種の加工品、酒類、米、茶。

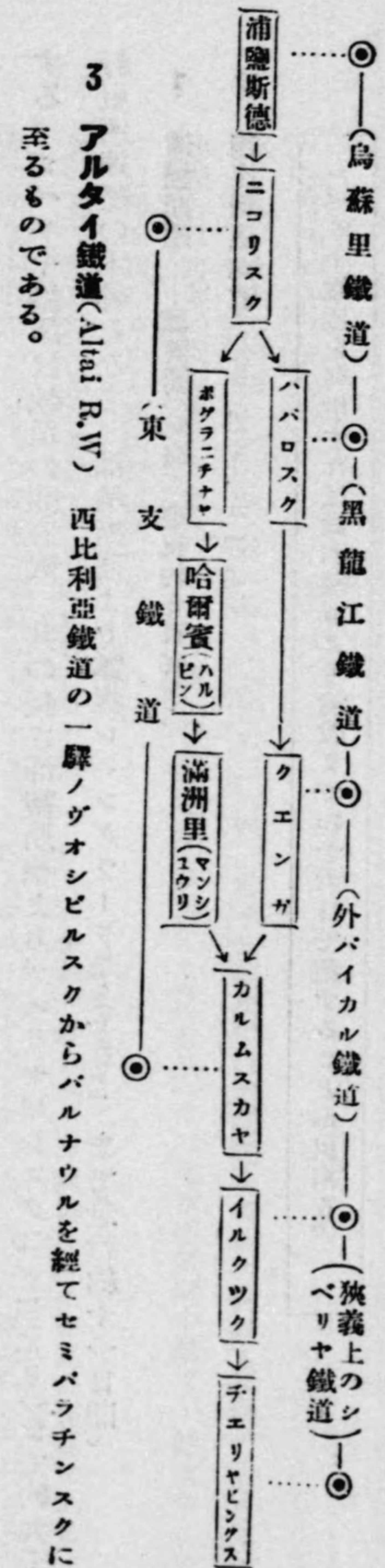
五 交通

冬季は馬、馴鹿に橇を引かせ、夏季は馬車を使用。河川湖上は冬季結氷するから其の上を橇にて交通し、夏季には舟を運する。海上は浦鹽斯德を中心とし、我が國、支那の沿岸に汽船が往來する。シベリヤ鐵道は軌道の間五呎、其の長さ浦鹽斯德よりチエリヤビンスク(Cheliabinsk)まで約九千軒東西連絡の本幹をなす。浦鹽斯德より露都レニングラード(Leningrad)まで急行約十一日間。

1 浦鹽斯德——敦賀間(航海二晝夜約九百軒)

2 西比利亞鐵道(Trans-Siberian R.W.)

シベリヤ鐵道を利用すれば我が敦賀より倫敦まで約十六日で達することが出来る。



六 住民

- 1 人口……人口約一千万、南部に最も多く北部は無人の荒地。
 - 2 種族……西比利亞は始め露國の罪人放流地であつたが、開拓に連れ漸次本國自由民が移住し、スラブ族は今や全人口の約九割を占め、主として鐵道沿線に住んでゐる。土人には通古斯族、蒙古族、土耳其族等が居るけれど其の数は至つて僅少、彼等は遊牧、狩獵を營む、東部には本邦人も諸種の事業に従事してゐる。
- ### 七 政治
- 1 ヤクーツ自治共和國……舊ヤク！ク省に當る。
 - 2 極東地方……西比利亞の東部及び東南部を占め、中央政府をハバロフスクに置く。
 - 3 ブリヤトモンゴリスカヤ自治共和國……バイカル湖附近。

八 處 誌

- 1 浦羅斯德(Vladivostok) ピター大帝灣(Peter the Great Bay)に臨んで西比利亞第一の開港場であり、又北滿洲の門戸である。東洋艦隊の根據地。港内は冬季結氷するが、碎氷船があつて汽船の出入に便する。西比利亞鐵道の終點で教習を始め、小樽、長崎との交通貿易も漸く盛にならうとしてゐる。我が總領事の所在地。
- 2 ハバロフスク(Khabarovsk) 烏蘇里江と黒龍江との會流點に位し、鐵道の要地を占む。商業盛大。極東中央行政機關の所在地。
- 3 ニコライエフスク(Nikolayevsk) 黒龍江口に位し、鱈の漁獲が多く本邦人の在住者が多い。大正九年尼港事件(ニコライエフスク在留邦人七百人餘りがバルチザンのために虐殺された)が起つた所。
- 4 ニコリスク(Nikolsk) 烏蘇里鐵道と東支鐵道の分岐點。
- 5 アレキサンドロフスク(Alexandrovsk) 北樺太の名邑、間宮海峽に臨み、水産物の取引が多く本邦人の居住者が多い。我が總領事館の所在地。
- 6 ツエ(Dae) 北樺太、間宮海峽岸にあつて石炭の産地。(採掘權は我が國有)

北樺太の利權……大正九年尼港事件の結果我が國は一時北樺太を占領した。然るに大正十四年日露交渉の結果、之をロシアへ還附すると同時に、北樺太に於ける石油・石炭の採掘權の一部を得たのである。

- 7 オハ (Oia) 北緯太の北部オホーツク海岸に近い石油の産地。(採掘権は我が國有)
- 8 ペトロバウロフスク (Petropavlovsk) カムチャツカ半島の東南に位し漁船の來泊が多く、我が領事館の所在地。
- 9 カムチャツカ半島 附近は世界三大漁場の一で鮭、鱒、鱈、鮫、鰻、鰩、海豹、猛虎が多く産する。
- 10 コマンドル諸島 (Commander Is.) カムチャツカ半島の東方海上にあつて鰻、鰩、猛虎の繁殖所として名高い
- 11 ブラゴベシチエンスク (Blagoveshchensk) 黒龍江中流の港市で我が領事館の所在地。附近に金の産が多い。
- 12 チタ (Chita) 外バイカル鐵道に沿ひ、シベリヤ鐵道の主要驛。
- 13 キヤフタ (Khabta) バイカル湖の南方にあり、蒙古の賣買城とは木柵を以て相接す。シベリヤの毛皮と支那の茶との交易が盛である。
- 14 イルクーツク (Irkutsk) バイカル湖の西南に位し、政治、商業の要地。
- 15 ヤクーツク (Yakutsk) ヤクーツク共和国の首府、レナ河に臨み、毛皮、象牙の取引が行はれる。
- 16 トムスク (Tomsk) シベリヤ鐵道とは支線を以て連絡する。西部シベリヤの主要都會で大學、博物館の設けがある。
- 17 ノヴォシビルスク (Novosibirsk) 舊名ノヴオニコライエフスクといつた所で、穀物、バター等の取引が多くまた政治交通の中心。外アルタイ鐵道は此處からバルナウルに向ふ。
- 18 バルナウル (Barnaul) オビ河上流にあつて鑛業の中心地。外アルタイ鐵道に沿ふ。

- 1 シベリヤの略圖を描き山脈、河川を記入せよ。
- 2 シベリヤの四大河をあげ其の河岸又は河口の都會を各々一つ記せ。
- 3 シベリヤの高地、草野、森林、凍土の四帯につき地形氣候、天産物の差異を述べよ。(廣高師)
- 4 シベリヤの略圖を描き隣接國、地形、重要都會及び交通線を記入せよ。(東高師)
- 5 東部シベリヤ(北緯太を含む)には日本人の必要とする如何なる富源があるか。(横高商)
- 6 西比利亞鐵道沿線の主要都會五つをあげよ。(陸士)
- 7 バイカル湖につき知る所を記せ。(名高工)
- 8 エニセイ河につき知れる所を述べよ。(神高商)
- 9 コンマンドル諸島。(水産)
- 10 左の地に就き知れることを記せ。
浦鹽斯德。(長高商) トムスク。(海機)
アレクサンドロフスク。(成蹊高)
ニコライエフスク。(長高商)
イルクーツク。(高檢) オムスク。(高檢)
チタ。(專檢) キヤフタ。(高檢)
ベルホヤンスク。 ペトロバウロフスク
ネルチンスク。(陸士)
- 11 北緯太の石油産地を問ふ。
- 19 オムスク (Omsk) シベリヤ鐵道に沿ふ主要驛で、附近は農業が盛である。
- 20 トボルスク (Tobolsk) オフ河の中流に位し穀物の集散地。此のあたりは土地がよく開け、シベリヤの穀倉と稱せられ、人口が稠密である。

自習問題

第二節 中央亞細亞 (Central Asia)

一 境域

西比利亞の西岸、裏海 (Caspian Sea) の東に在る。面積約三百五十萬軒、全部露領である。

二 地勢

1 山系

① 南東部……ヒムチックツシユ山脈 (Hindu Kush mts) パミール高原 (Pamir Highland) 天山山脈等がある。土地高峻。

2 水系

② 北西部……南東部の高地は漸次北西に向つて降下し、ツラン (Turan) キルギス (Kirghiz) の低地となる。

イッ河 (Ili R.) → バルカシ湖 (Balkhash L.)

アマ河 (Kmu R.)

シム河 (Syr R.)

裏海 (Caspian Sea) ……

海跡湖

裏海の成因……現今の裏海、アラル海を連ねる一帯の地は嘗て地中海に連なる内海であつた。それが土地の隆起に伴うて内海の大部が乾涸して陸地となつたのである。然るにその内海中の最深部は取り残された。それが今日世界地圖に染められる裏海とアラル海である。最深部は九十四米、世界最大の鹹湖。

三 氣候

寒暑の差が著るしく雨量が極めて少ないから沙漠をなす所が多く、殊に南部地方にそれが甚だしい。北部は南部に比して雨量も多いから一帯が草野をなし、所謂キルギス草野として名高いものである。

四 産業

農耕は山麓の地方及び河流附近に僅か行はれる位である。故に農業は南部に行はれ穀物・棉花・生絲・果實を産する。草野には羊・馬・牛・駱駝等を飼育してゐる。

① 北部地方 (キルギス草原) …… 牧畜業 (羊・馬・牛・駱駝等)

② 南部地 (大部分沙漠、ツランの低地) …… 山麓、河流域に農耕行はる。

五 住民

人口凡そ千二百萬。

① トルコマン族 (Turcoman) …… トルコ族の一派性質悍悍、遊牧生活をなし、また沙漠に出没して隊商を襲ふ。

② ウズベク族 (Uzbek) …… トルコ族の一派、河流域、山麓に住し農耕を營む。

③ キルギス族 (Kirghiz) …… 草野地方に天幕生活をなし、遊牧に従事する。

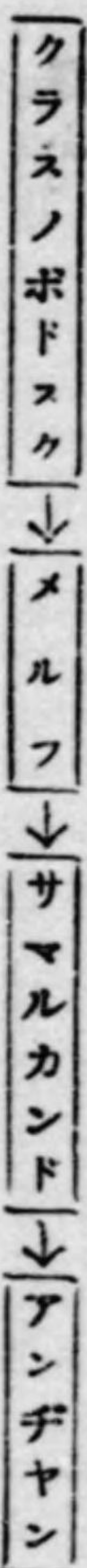
六 政治

① カザック共和國 (azakh) …… 一名キルギス共和國とも稱しロシヤンヴェイト共和國に屬する。

○ウズベク共和国(Uzbek)……………
○トルコマン共和国(Turcoman)… } ヲソイニト聯邦(T.U.S.S.R.)に加盟してゐる。

七 交通

1 外裏海鐵道(Trans-Caspian R. W.)



(裏海々岸)……………(天山山脈麓)

2 中央亞細亞鐵道(Central Asian R. W.)



(ロシア本國)……(シル河下流に臨む)。(ウズベク共和国)

八 處誌

1 サマルカンド(Samarkand) ウズベク共和国の首府。陸商交通の要衝に當り、商業が盛大。かの英傑帖木兒の都であつた所、故にその宮殿、寺院等が遺存してゐる。

2 タシケント(Tashkent) 中央亞細亞第一の都會、絹、鞣皮ナメシカハの取引が多い。人口約二十萬。

3 メルフ(Merw) 外裏海鐵道に沿ひ、通商上の要地。

4 クラスノボドスク(Krasnovodsk) 外裏海鐵道の起點。

5 チャルジュイ…………トルコマン共和国の首府。

第三節 高加索 (Caucasus)

一 境域 裏海と黒海の間にあつて、面積約四十七萬方呎。

二 地文 カウカシヤ山脈が中央を横斷して北部にシスカウカシヤ(Caucasia 内高加索)南部にトランスカウカシヤ(Transcaucasia 外高加索)の二區を分つ。

1 内高加索 シスカウカシヤ) マニチ河(Maine R.) の深谷に向つて急傾斜をなし一般に不毛の荒野である。

2 外高加索(トランスカウカシヤ) 丘陵が起伏し、内高加索に比して土地が肥沃である。

三人文

1 産業

○内高加索…………此の方面は氣候も悪く土地も瘠せてゐるから一般に遊牧が行はれてゐる。

○外高加索…………土地が肥沃であるから農業が行はれ、また礦産物としてはマンガン礦、石油が多い。特に此の地方の石油は世界産額の六分の一、第三位、主産地はバクである。

2 住民 此の地方は歐亞の境にあるが故に、民族は複雑である。伴々主要住民は高加索族でジョージヤ人及びアルメニヤ人に分れてゐる。彼等は容貌の秀麗を以て著れてゐる。

3 政治

(○内高加索…………ロシアツガイエト共和国に屬する。

②外高加索……高加索聯邦共和國をなしソヴェト聯邦に加盟してゐる。

ジョージヤ共和国(Georgia)……首府チフリス。住民ジョージヤ人。

高加索聯邦共和國 アルメニヤ共和国(Armenia)……首府エリヴァン。住民アルメニヤ人。

アゼルバイジャン共和国(Azerbaijan)……首府バクー。住民トルコ族。

四 處 誌

1 バク (Baku) アゼルバイジャン共和国の首府。軍港であり亦商港である。バクー油田の中心地。石油は此處から鐵管及び鐵道を以て黒海岸なるバツームに輸送する。

2 チフリ ス(Tiflis) ジョージヤ共和国及び高加索聯邦の首府。交通、商業の中心地。

3 バツーム(Batum) 黒海岸にある石油の輸出港。

4 エリヴァン(Eriwan) アルメニヤ共和国の首府。

自習問題

1 左の鐵道に就き知る所を記せ。

中央亞細亞鐵道。 外裏海鐵道。(陸 土)

2 アラル海。(陸 土)

3 裏海の成因を問ふ。

4 左の地に就き知る所を記せ。

バクー。

(海 機)

サマルカンド。

(陸 土)

バツーム。

(長高商)

5 中央アジアの政治狀況を問ふ。

6 高加索の政治狀況を問ふ。

第四章 印度支那

第一節 總 説

一 境 域 亞細亞大陸の南東部に突出してゐる一大半島。支那と印度との中間に位し、西方のベンガル灣と東方の南支那海とを分つ。東南には馬來諸島が散在する。

二 地 勢

1 山 系 崑崙山脈から分れた印度支那山脈は半島を縦走し、其の有様恰も掌の如し。中央の一脈は延びて馬來半島となる。

2 水 系 五大河があつて各山脈の間に沃野を作り、縦谷をなしてゐる。

ソンコイ河(Songkoi R.) 東京灣に注ぐ。

メコン河(Mekong R.) 佛領印度支那と暹羅との境界を流れ南支那海に注ぐ。

メナム河(Menam R.) 暹羅國を北より南に貫流し暹羅灣に注ぐ。

サルウィン河(Salwin R.) ビルマの東境を南流してマルタバン灣(Martaban G.)に注ぐ。

イラワチ河(Irawadi R.) ビルマの中央を南流してベンガル灣のネグライス岬(Negrais)附近で海に入る。

3 海 岸 海岸線は單調な方で東に東京灣、南に馬來半島が突出して暹羅灣を作り、またスマトラ島との間には

マラッカ海峡(Sir of Malacca)を作る。西にはマラタハ湾(Marattan G.)及びベンガール湾(Bay of Bengal)がある。

三 氣候 大部分は熱帯に位し、且つ季節風帯に屬し高温多雨。一年は乾季(Dry Season)と雨季(Rainy Season)に分れ、西南季節風の發達する雨季(四月まで)には降雨が甚だ多くマラリヤ熱病が流行する。

四 産業

- 1 農業 高温多雨、肥沃の平原多いから農業に適し、特に米産が夥しく二季の收穫があつて『世界の米倉』の稱がある。其の他棉花、甘蔗、落花生、椰子、香料の産が多い。
- 2 牧畜業 象、水牛を多く飼育する。
- 3 林業 北部の山地には森林が多くチーク、黒檀等の貴材を出し、南部の馬來半島には護謨樹の栽培が盛に行はれ世界第一の稱がある。
- 4 鑛業 金、錫、石油、寶石類の産が多く、就中馬來半島の錫は産額世界第一。

五 住民

- 1 印度支那族(半島固有の民族)……佛敎を信奉する。
(ア)安南人。 (カ)東浦塞人。 (シ)暹羅人。 (ヒ)緬甸人等。

- 2 馬來人(馬來半島に住す)……回敎を信奉する。
- 3 印度人(ビルマに多く住す)……印度敎を信奉する。
- 4 支那人……支那移民百萬。各地方に於て經濟上の實權を握る。
- 5 白人……少數の英佛人は政治上の實權を握る。

六 政治

- 1 獨立國……暹羅王國。
- 2 佛領印度支那(French Indo-china)……五部に分る。
トンキン、アンナム、カンボジア、ラオス、東京、安南、東浦塞、老撾……以上四地方は何れも保護國。コシヤナ
 交趾支那……植民地。
- 3 英領印度支那(British Indo-China)……三部に分る。
ビルマ、緬甸、印所の一州) 馬來聯邦(保護地) 海峽植民地(直轄地)

(安南の人の酒宴)

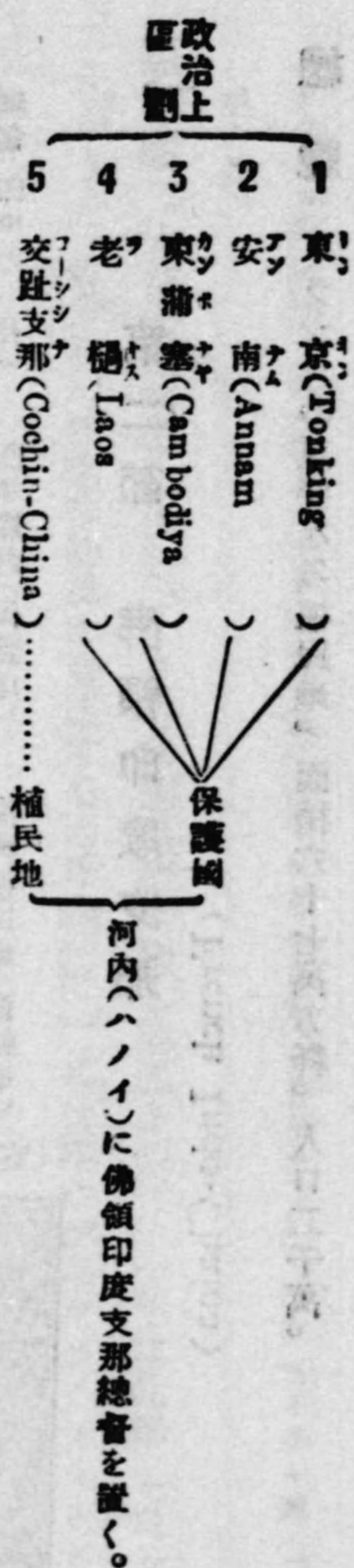


第二節 佛領印度支那

(French Indo-China)

一 總説 フランスの重要な植民地。面積六十七萬方呎。人口二千萬。

二 處 誌



① 東京 ……ソンコイ河下流域平野は米産に富む。

1 ハノイ河内(Hanoi) ソンコイ河下流に位し總督の駐在地。支那に對する軍事、交通の要地。我が總領事館の所在地。

2 ハイフォン(海防Haiphong) ソンコイ河口に位し、ハノイの外港として米、生絲を輸出する。

3 ホンガイ(鴻基Hongkai) 龍州に至る鐵道の沿線にあつて有名なる無煙炭の産地。此の石炭は我が國にも輸出せられる。

② 安南 ……國王がゐるけれども實權はない。

4 ユエ(順化Hue) 安南の首府、王城がある。

5 ツラン(Turan) ユエの南にある良港。厦門に海底電線を通ずる。

6 カムラン(Kamranh)

7 ホンコエ(Honkoe) 日露戦争の時バルチック艦隊の碇泊した所。

③ 老撾 ……西方の山中に位し未開の藩人が雜居する。

④ 東瀟塞 ……メコン河下流平野を占めてゐる。

8 プムペン(Pumpeh) メコン河に近く、東瀟塞王城のある所。

⑤ 交趾支那 ……メコン河下流平野を占め農業が盛んである。

9 サイゴン(西貢、柴棍Saigon) メコン河の三角洲上にある。サイゴン米の輸出地。我が領事館の所在地。

10 ショロン(Cholon) サイゴンの附近にあつて精米業が盛んである。

第三節 暹羅王國 (Siam)

一 總 説

1 地 文 印度支那半島の中央を占め、北部に山岳が多く、森林繁茂し、南部のメナム河流域は平野が開け、米田が一望千里而してシャム灣に臨む。面積約五十二萬方軒。

2 人 文

① 畜産 北部山地のチーク材、南部平野の米は此の國の二大産物で多く外國に輸出する。其の他象・水牛等

の家畜を飼育する。特に注意すべきは、民が産業に勉めないといふことである。

②住 民 人口約九百九十萬。シヤム人が最も多く、支那人、馬來人が之に次ぐ。殊に支那人は至る所に於て經濟上の實權を握る。佛教が行はれ壯麗なる寺塔が多い。

③政 治 専制君主國。近時頻りに外國の文明を輸入して改革に努む。

3 日本との關係
①歴史的關係……徳川初期には我國民の移住者が多かつた。又山田長政は在留邦人を率ゐて國王を援けたことがある。

②外交關係……我が國の條約國で首府盤谷(バンコク)には公使を駐在せしめ、また領事館を置く。

③貿易關係……我國より綿織物。絹。熨斗を購ひ、暹羅よりチーク材、米を賣る。

④文化的關係……近時國政の改革に際し我が國からも法律、教育等の學者を招聘して顧問としてゐる。

二處誌

1 盤谷(Panekok) 首府、メナム河の下流に跨り王宮、寺院等の壯麗なる建築が多く、我が公使館及び領事館の所在地である。

2 バクナム(Paknam) メナム河口に臨み、盤谷の外港をなし、米、チーク材等を輸出する。

3 シエンマイ(Chienmai) メナム河上流に臨み、チーク材取引の中心地。

4 アユチヤ(Ayuthia) 盤谷の北、メナム河に臨み、此の國の舊都。附近に徳川時代の日本村の遺蹟がある。

第四節 英領印度支那 (British Indo-China)

一 總説 半島の西部を占め、英吉利の手中に收められてゐる。

ビルマ(緬甸Burma)……印度の一州をなす。

政治上の區劃

馬來聯邦(The Federated Malay States)……保護國(馬來半島の先端の地域)

海峽植民地(Straits Settlements)……直轄領地(海岸地方)保護地(内地の大部)

二處誌

①ビルマ……面積約六十萬方呎、人口千三百萬。印度帝國の一州をなす。地勢は北部の丘陵地と南部の平地とに分れる。北部にはチーク材、石油、ルビー(Ruby)の寶石を出し、南部には米産が多い。

1 ラングーン(蘭貢Rangoon) イラワチ河三角洲にあつて副總督が駐在し、米(ラングーン米)チーク材、石油を輸出する。特に我國へはラングーン米を多く輸出。我が國の領事館がある。

2 マンダレー(Mandalay) イラワチ河の中流に位し、舊都で、舊王城及び大寺院がある。

②海峽植民地……直轄地は約四千方呎(海岸の要所)保護地は約十三萬二千方呎(内地の大部分)全人口約三百

三十三萬。錫、護謨、コブラ(Cobra)鳳梨、香料等を産する。

コブラ……ココ椰子の果實の外皮を去り果肉を乾燥したものである。之から椰子油を製し、多く石鹼、蠟燭の製造に用ひられる。

1 シンガポール(新嘉坡 Singapore) 馬來半島の南端に近い同名の小島上にあつて、中繼貿易(Entrepreneur trade)を主とし自由貿易を許す自由港である。錫、護謨、コブラ、香料を集散する。世界各種の人種が雜居し『世界の人類館』の稱がある。併し市中支那人が半數を占めてゐる。我が總領事館の所在地。又此の港は太平洋と印度洋の分岐點をなす所であるから軍事上樞要の地に屬することは明らかである。故に英吉利は帝國の事業として最新式の軍港に改造せんとして、目下、島の東北岸に大砲臺を設け、諸種の設備を施しつゝある。

中繼貿易(通過貿易)……商品の生産地と其の消費地との中間にあつて商品分配の媒介をなす貿易をいふので、例へば香港、シンガポールの如きは之を主とした貿易港である。

自由港……輸出入品に關稅を課しない港をいふ。之には港市全體を自由港とするものと(香港・シンガポール・ダンチツヒ)港市の一部を自由港とするもの(ハンブルグ・コペンハーゲン)の二種類がある。

自由貿易……國家が輸出入品に課稅せず自然に放任する貿易をいふ。此の貿易を主義とする國の人民は廉價なる外國品を用ゆる便利はあるが、此のため自國の産業が外國品に壓倒される虞がある。自由貿易の國には英吉利、和蘭等があるけれども、世界の多くは自由貿易の反對なる保護貿易を行つてゐる。保護貿易といふのは内國品の壓倒されるのを防ぐため外國輸入品に課稅し、却つて輸出を獎勵する貿易をいふのである。

日本との貿易……我が國から新嘉坡へは綿布・石炭・材木・雜貨を出し、彼の地からは護謨・錫・米、コブラ等を輸入する。

2 ジョホール(Johore) 新嘉坡の對岸に位し、附近には護謨の栽培が盛んに行はれ、邦人の之に従事する者が多し。
3 マラツカ(Malacca) 新嘉坡の北にあつて同名の海峡(マラツカ海峡)に臨み、我が汽船が多く寄港して米を積む。往時は繁盛な港であつたが、今日は衰へてゐる。
4 ペナン(彼南 Penang) 同名の小島上にある。マラツカ海峡岸第一の良港で護謨の輸出が多い。

自習問題

- 1 印度支那につき氣候、産物、領有者を問ふ。(海機)
- 2 我が國に輸入する外米の産地たる國名三つをあげよ。(海兵)
- 3 シヤムの國狀を問ふ。(專檢)
- 4 英吉利がシンガポールを重視する理由を問ふ。(解答) 貿易上と軍事上に分けて説明すべし。
- 5 サイゴン米とラングーン米に就て問ふ。
- 6 左の地に就て知る所を記せ。
ハノイ。(廣高師) 鴻基。
ラングーン。(海兵等) マラツカ。(東外語)
- 7 左の河川に就き知る所を記せ。
サイゴン。(海機等) バンコク。(海機等)
ハイフオン。(陸士) ペナン。(東外語)
シンガポール。(海兵等) 順化。(高)
- 8 海峽植民地。(大分高商)
- 9 印度支那の主要産物を問ふ。
- 10 左につき知ることを記せ。
コブラ。(廣高師) チーク材。(文檢)
- 11 ジョホールにつき知る所を記せ。

第五章 馬來半島 (Malay Archipelago)

第一節 總說

一 境域 アジア大陸の東部、南洋上に散在してゐる大小無數の群島より成る。

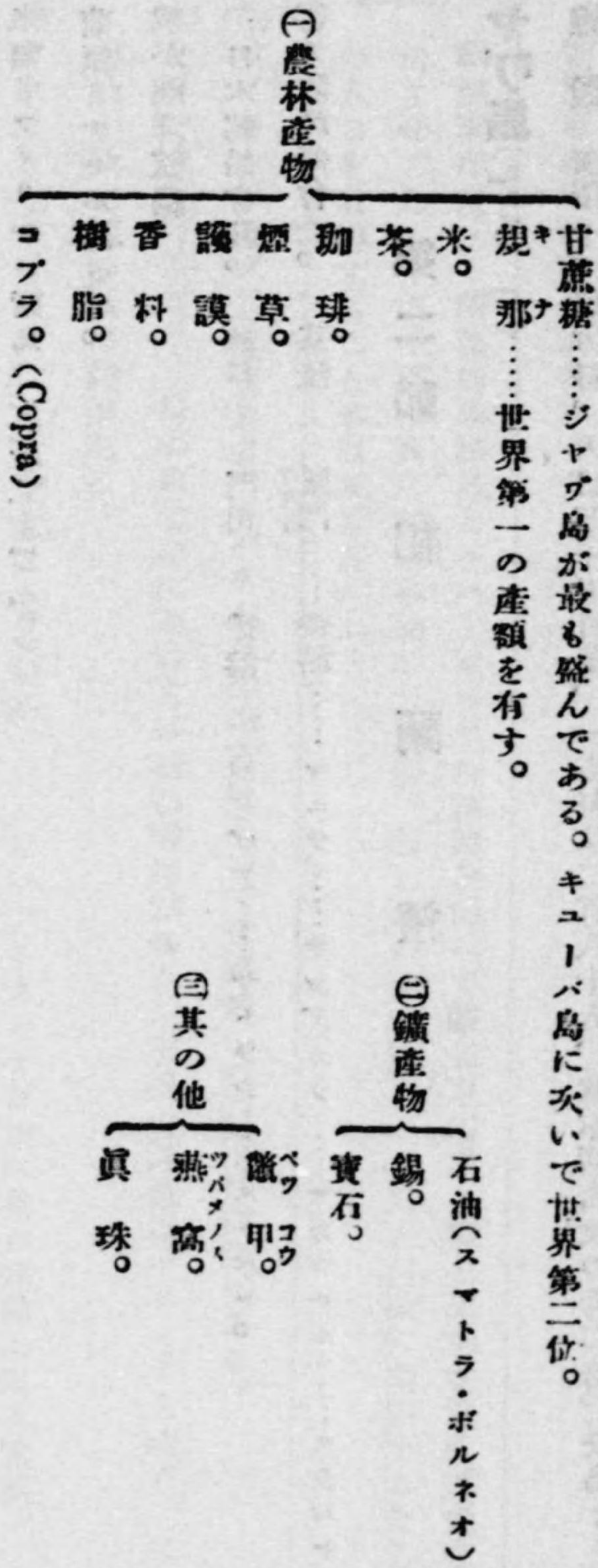
二 地文

- 1 山系 城内は火山、地震が多く、ジャバ島の如きは百餘座の火山がある。スダン海峡のクラカタウ島(Krakatau I.)の破裂(一八八三年)は實に有史以來の大噴火であつた。然るに近年同島は海面下に没した。さて一般の諸島は多く山地、又は丘陵性でボルネオ島の外は大河と大平野に乏しい。
- 2 氣候 赤道下にあるから全部熱帯であるが、常に海風を受け、夜は暑氣が和ぐ。また赤道附近は毎日驟雨があつて、之を遠ざかるに従つて雨季、乾季が區別される。本群島に於ける邦人の生活には餘り困難を感じない。
- 3 生物 氣候が高温で生物が頗る成熟し易く、各熱帯植物及びシマウマ、虎、極樂鳥等の珍しい動物も少なくない。

ワトレス線(Walace's Line) 英人ワトレス氏は此の地方の生物を研究し、ロンボック海峡(Lombok str.) マカッサル海峡(Macassar Str.) 及びセレベス海を連ねる一線を限界として東西の生物に著るしい相違のあることを發見した。此の線を稱してワトレス線といふ。

三 人文

1 産業 拓殖はまだ進まないが、植物性産物が豊かで南洋の寶庫と稱せられる。



2 住民

○馬來族……住民の大部分を占む。
○バプア族……東部方面に住む。
○ネグリト族及びインドネシア族……山間に住む。

土人は概して怠惰であるから古來國家を形成したところがない。それ故三百年前から白人の支配する所となつた。また此の地方には支那移民が多く、彼等は多く商權を握つてゐる。

宗教……一般に回教であるがフィリピン諸島には基督教が行はれてゐる。

3 政治……和蘭、英吉利、米台衆國、葡萄牙の四ヶ國に分領されてゐる。言語は馬來語で蘭語、英語はたゞ公用語として用ひられるのみ。

蘭領 { スンダ列島(Sunda Is.)

ボルネオ島南部。

英領 { セレベス島(Selebes I.)

モルツカ諸島(Moluccas)

米領 { フィリピン諸島(Philippine Is.)

葡領 { チモール島東半。

我が南洋航路

○日本郵船會社。 神戸…門司…香港…バタヴィア…サトラン…スラバヤ。

○大阪商船會社。 基隆…廈門…香港…マニラ…サンダカン…マカツサル…スラバヤ…バタヴィア

第二節 和 蘭 領

一 ジャバワ島 (Java I.)

1 總説 面積十三萬方軒、人口三千五百萬、一方軒に二百八十人、我が國密度の約二倍。全島よく開け、鐵道を通じ、遺路、溝渠が完備し地味豊饒、米、甘蔗糖(世界第三位)茶、煙草、珈琲、規那(世界第一位)香料、コブラ等の産額が多く、實に和蘭の寶庫と稱せられる。

2 屬誌

○バタヴィヤ(Batavia) 島の西北岸の良港。水陸交通の要地。甘蔗糖、煙草等の輸出が多く、我が國へも粗製糖を輸出する。本邦人多數住居し、彼我の貿易が漸く盛であるから我が總領事館を設く。蘭領東印度總督の駐在地。

蘭領東印度……蘭領馬來諸島とニューギニアの西部を加へて蘭領東印度と稱し文武兼備の總督を置いて統治させてゐる。其の面積實に和蘭本國の六十倍。若し此の全土をジャバワ島と同様に開拓するならば十數億の人口を收容することが出来るといふ。

○ボイテンゾルグ(Buitenzorg) バタヴィヤの南方にあつて世界第一の熱帯植物園がある。

○スラバヤ(Surabaya) 島の東北岸にあつて砂糖の輸出が多く、市況の繁盛はバタヴィヤを凌ぐ。又、海軍の根據地。我が國の領事館がある。

○サイラン(Samarang) 島の北部にある商港。バタヴィヤ、スラバヤと共に我が商船の出入繁盛。

ニ スマトラ島(Sumatra I.) 世界第五の大島。面積四十二萬方軒、人口五百萬。内部には蕃族が居住する。他は土地大いに開け、煙草・甘蔗糖・珈琲・石油の産出が多い。

① パレンバン(Palembang) 島の東部よミ河(Moesi R.)の下流に臨む名邑。

② 錫の産地……バンカ島(Bangka) フリツン島(Bilition) 本島とボルネオ島との間に在り。

三 **ボルネオ島**(Borneo I.) 世界第三の大島。面積六十六萬方呎、人口百六十二萬。面積は我が本州の三倍に餘る。土地極めて峻峻、蠻人が之に據り未開の地が多い。石油・金・金剛石を産出し、コブラ・サゴ米(サゴ椰子の實の子房を取つてほしたもの)等の特産がある。また支那料理に使はれる燕窩は海岸の絶壁に存在する。

我が國との貿易

我が國より……綿布、陶磁器、綿絲、絹布、ゴムタイヤ、セメント、硝子製品……約七千萬圓。
我が國へ……砂糖、石油、材木、コブラ……約一億圓。

四 **セレベス島**(Sulawesi I.) 本島の形はヒトデに似てゐる。良質の珈琲カ、オを出し近海よりは海參龍甲を産する。

(1) **マカッサル**(Makassar) 本島貿易の中心地。椰子油の製造及び輸出が多い。

(2) **メナド**(Menado) ヤップ島(我南洋委任統治地)に海底電線を通ずる。

五 **モルツカ諸島**(Moluccas) 本島は各種の香料に富んでゐるので香料諸島(Spice Island)とも稱せられる。

第三節 英吉利領

一 **總説** ボルネオ島の北部を占め領地及び保護地に分る。是等の地は北ボルネオ會社の管理に屬してゐる。産物としては護謨・サゴ米・煙草・燕窩・石油。

(1) 北ボルネオ(N. Borneo)……領土

政治上區分 (2) ブルネイ(Bornei)

(3) サラワク(Sarawak) 保護地

二 處誌

1 **サンダカン**(Sandakan) 北東岸の貿易港。大阪商船南洋航路の寄港地。

2 **タワオ**(Tawao) 東南岸にある都邑。附近に日本人の護謨園がある。

3 **ラブアン島**(Labuan) 西北岸にあつて石炭を産す。海峡殖民地に屬す。

第四節 米合衆國領

一 **總説**……**フィリピン島**(Philippine Is.)

パン海岸を隔て、我が臺灣と相對す。呂宋・ミンダナオ其の他數多の島嶼から成り、總面積約三十萬方呎、總人口一千三十萬と稱せられ、地味肥沃で、甘蔗糖・煙草・マニラ麻・コブラ等の産が多く、其の輸出も

多い。特にマニラ麻の栽培に就いては邦人の之に従事する者が頗る多いことを忘るな。此の諸島はもと西班牙領土(三百三十餘年間)であつたが、一八九八年の米西戦役の結果米國の領有に歸したので、米合衆國は總督を遣はして治めさせてゐる。住民の大部分は西班牙人と土人の混血種で、西班牙語を用ひ、キリスト教を信奉する。

二 處誌

- 1 マニラ(Manila) 呂宋島の西岸に位し、總督の所在地。交通、商業の要地に當り、我が濠洲、南洋航路の寄港地。海底電線は一はグアム島を経てホノル、(布哇島)及び桑^{サンフランシスコ}港に通じ、一は香港に達す。我が總領事館がある。
- 2 カウイテ(Cavite) マニラ灣に臨みマニラの南附近にあつて米國東洋艦隊の根據地。
- 3 ダヴァオ(Davao) ミンダナオ島の南岸に位し、附近に邦人のマニラ麻栽培に従事する者が多い。
- 4 ザンボア^ンガ(Zamboanga) ミンダナオ島の長港、我が汽船の寄港地。附近に邦人のマニラ麻栽培に従事する者が多い。

ミンダナオ島に住する邦人の數一萬に餘る。

三 日本との關係

- 1 移民關係……我が國人の移住してゐる者は約一萬二千、多くはミンダナオ島に居りマニラ麻の栽培に従事してゐる。
- 2 貿易關係……彼我貿易品は次の如し。
 (一)日本より……綿布、綿絲、メリヤス製品、石炭、絹織物、石炭等……約三千萬圓。
 (二)日本へ……麻類、砂糖、煙草、コブラ等……約二千萬圓。
- 3 領事館所在地……マニラ(總領事館) ダヴァオ(領事分館)

(自習問題)

馬來半島

- 1 馬來諸島中の大島及び所屬國を問ふ。(東外語)
- 2 馬來諸島の主要貿易港を問ふ。
- 3 馬來諸島の主要産物をあげよ。
- 4 馬來諸島より我が國へ來る産物。
 ジャバの砂糖・スマトラの石油・ゴム・マニラ麻。
- 5 蘭領東印度の範圍を問ふ。
- 6 蘭領東印度の産物及主要貿易港を問ふ。
- 7 ボルネオ島の所屬國名を問ふ。(東商船)
- 8 フイリツピン諸島の産物を問ふ。(專檢)
- 9 ジャバ島に就て記せ。(廣高師)
- 10 スマトラ島に就て記せ。(山口高商)
- 11 左の地に就て知る所を記せ。
 マニラ。(神高商) バタビヤ。(東外語)
 スラバヤ。(長高商) サンダカン。(神高商)
 マカッサル。(東外語) ザンボア^ンガ。(海經)
 ルソン島。(海機)

第六章 印度

一 境城 亞細亞の南方印度洋に突出してゐる一大半島である。

二 地勢

1 山系

① 北部高地
ヒマラヤ山脈(Himalaya Mts.)……世界最高のエベレスト山(Everest Mts. 八八四〇米)を始め七千米を超える峻峰が連立して四時白雪を頂き氷河を懸く。

カラコルム山脈(Karakorum Range)
スライマン山脈(Suleiman Mts.)

② 南部高地
ビンヂヤ山脈(Vindhya Mts.)

東ガッツ山脈(Eastern Ghats)

西ガッツ山脈(Western Ghats)

デカン高原(Deccan)……略々三角形をなす溶岩臺地で、土地西に高く、東に低い。

③ ヒンドスタン平原……北部高地と南部高地との中間に位し東半はガンジス河、西半はインダス河流域に属す、

河川は概ね東流して沃野をなす。

2. 水系

① フライプトラ河(Frahmaputra R.) 西藏に於けるサンポー河は印度に入つてフライプトラ河となり、雨量世界一のアッサム地方を経てガンジス河に合す。

② ガンジス河(Ganges R.) ヒマラヤ山脈に源を發し、ヒンドスタン平原(印度平原 Hindustan)の東半を其の流域とし、東流してベンガル灣に注ぐ、交通運輸、灌漑に便を興ふこと幾何なるかを知らず。

③ インダス河(Indus R.) ヒマラヤ山脈中に源を發し、パンジャブ(Punjab)の沃野を流れて、亞刺比亞海に注ぐ。

3 海岸 海岸は單調で出入に乏しい。半島の南端に近くセイロン島がある。其の間にポーク海峡(Poik Str.) アダム橋(Adams bridge)及びイナール灣がある。アダム橋の地脈によつて半島と斷續する。またマラバル(西海岸)コロマンデル(東海岸)の兩海岸は懸崖砂濱が多い。

三 氣候 北回歸線が中央を横斷して大部分は熱帯にある。而して一年は乾季と雨季との二部に分れる。其中、雨季には西南季節風が多量の濕氣を齎し、高温、多濕、悪疫蔓延し最も不健康の季節である。アッサム地方は年雨量一萬二千五百耗に達し、世界最多雨地と稱せらるゝに反し、インダス河下流地には無雨のため沙漠(タール沙漠)をなす所がある。又ヒマラヤ山腹の地は氣候冷涼、避暑に適し就中シムラ(Simla)が名高し。

四 産業

- 1 乾季(Dry season)……十一月頃より翌年四月頃まで……東北季節風が吹いて降雨少し。乾季の中頃より雨季の初めにかけて
- ① 冷涼季(Cool season)……一月から二月頃まで……一年を通じて氣候最も冷涼。
- ② 熱季(Hot season)……三月から五月頃まで……一年を通じて氣温最も高し。
- 2 雨季(Rainy season)……五月頃より十月頃まで……西南季節風が吹いて降雨多し。

- 1 農業 氣候温暖、沃野廣大であるから農産物豊富。主要農産には棉花、小麦、米、阿片、黄麻(Flax)、藍、茶、油種及び甘蔗等がある。而て棉花及び米は我が國に輸送すること多く、茶は歐米市場に於て支那茶を壓倒してゐる。英政府は特に産業に力を注ぐが故に英國の寶庫と稱せられる。
- 2 牧畜業 牛、馬、水牛、山羊、象等の飼育が行はれる。
- 3 鑛業 鑛産はデカン高原に多く、鐵、石炭、岩鹽等が著る。
- 4 工業 種々の工業原料品が豊富であるから、近年著しく發展した。紡績、製麻、製紙等が特に著る。
- 5 商業 國土廣大、住民多く、物産亦豊かであるから商業の繁榮を促し、取引頗る活潑。
- ① 輸出品……食料品。原料品(棉花、黄麻、阿片)等。
- ② 輸入品……綿布、綿絲、機械、砂糖、其の他の加工品。
- ③ 取引先……英吉利(第一)、日本、支那等。

五 交通

鐵道網の發達は東洋第一に位し、其の延長實に三萬哩に達す。河川、運河の便より又牛、象等を使用する。海上交通は盛んで、英本國との間に汽船の往來が繁く、又我が歐洲南洋南米航路の汽船も寄港し、別に大阪商船、日本郵船の兩會社は印度航路を開いてゐる。

④ 貿易港……カルカッタ。孟買。マドラス。コロンボ。カラチ。

- 日本郵船會社
 - ① カルカッタ線 横濱・名古屋・大阪・神戸・門司・上海・香港・シンガポール・ペナン・ラングーン・カルカッタ。
 - ② ボンベイ線 横濱・名古屋・大阪・神戸・門司・上海・香港・シンガポール・ペナン・コロンボ・ボンベイ。
- 大阪商船會社
 - ① カルカッタ線 横濱・名古屋・大阪・神戸・門司・香港・シンガポール・ビナン・ラングーン・カルカッタ。
 - ② ボンベイ線 横濱・名古屋・四日市・大阪・神戸・門司・香港・シンガポール・ペナン・コロンボ・ボンベイ・カラチ。

六 住民

1 人口 住民三億二千萬を超え、海外に出稼ぐ者も多い。其の多いこと支那の外之に及ぶもの世界になし。

2 種族

①ドラビタ族(Dravidians) 原住民であるが今はデカン高原に退き賤役に従事してゐる。

②ヒンヅー族(Hindus 印度族) 其の数が最も多くヒンドスタニ語(サンスクリット語より轉訛)を用ひ、印度教を奉ず。

【印度の四種姓】 古來印度には階級の制があつて僧族、士族、平民、奴隷の四つに分れてゐた。

種 姓(Caste)	職	人 種 別
婆羅門(僧族)	社會の上位にあつて祭祀宗教を掌る	ヒンヅー族
刹帝利(士族)	政治と軍事を掌る	ヒンヅー族
吠舍(平民)	農牧商工を營む	ヒンヅー族
首陀(奴隷)	賤役に服従す	ドラビタ族

3 宗教

①ヒンヅー教(印度教) 最も弘く行はれ、信徒數二億(全人口の四分の三)を超えてゐる。僧侶は上層にあつて專横を極め、下層は之に盲從して徒に其の貪慾非道を助けてゐるに過ぎない。山川草木禽獸蟲魚、一として彼等崇拜の對象でないものはなく、殊に牛を靈獸の第一とし、ガンジス河を聖河の第一とし、ベナレスを

聖都の第一とする。

②回教(マホメット教) ヒンヅー教に次いで盛である。信者は全人口の約五分の一。

③拜火教……火を神として崇拜するもので回教に次いで盛である。

④佛 教 昔、佛教は婆羅門教に對抗して起つたものであつたが、現今に於ては信者が甚だ少なく、僅にセイロン島に行はるゝのみ。併乍ら佛教發祥地であるからブダガヤを始め、釋迦の遺蹟が甚だ多い。

七 政治

印度帝國(Indian Empire)として英國皇帝は同時に印度皇帝を兼ねてゐる。故に英本國政

府は特に印度省を設け、此の地に大總督を派して之を治めさせてゐる。地方政治は直轄部と藩部との二部に分れ、直轄部は十五州から成り、大總督の任命する知事が之を治める。藩部は約七百四十餘の小邦に分れ、全土の三分一の面積を占めてゐる。最も有力なるものは、ハイデラバード・マイソル・カシミル等で、何れも世襲の土侯が居る。昔時の王侯同様の禮遇をうけてゐるが、政治は駐在官が監督してゐるのである。

八 日本と印度の關係

- 1 歴史的關係 印度に起つた佛教は支那、朝鮮を経て我が國に傳來し、我が國民精神を培ふこと甚大なるものであつた。また佛教傳來と共に美術工藝の進歩を促したことも世人の知る所である。
- 2 交通關係 我が大阪商船、日本郵船の兩會社はカルカッタ線及びボンベイ線を開き、又歐洲、南洋、南米航路

の汽船も寄港し、海上交通は至便である。

3 貿易關係

○日本より……綿絲、綿織物、絹織物、メリヤス、木材、硝子器、陶磁器等（約一億五千萬圓）
○日本へ……棉花、革類、米、黄麻……（約二億九千萬圓）
（其中棉花は二億三千万圓）

4 領事館所在地 カルカッタ。ボンベイ。

九處誌

- 1 カルカッタ(Calcutta) ガンジス河の三角洲に在つてヒンドスタン平野の門戸に當る。壯麗なる市街で、黄麻、茶、阿片等の輸出が多い。我領事館の所在地。大阪商船、日本郵船會社が定期航路を開く。
- 2 バトナ(Patna) 阿片、米の集散地。ガンジス河汽船航行の終點に當る。
- 3 フダガヤ(Budhagaya) 釋迦悟道の地として名高い。附近に當時の遺蹟がある。
- 4 ダージリン(Darjiling) ヒマラヤ山麓の高地に位し西藏に入る要衝に當る。氣候冷涼、避暑地として名高い。カルカッタの北に當る。
- 5 デリー(Delhi) ガンジス河上流に位し、軍事、交通、商業の要地。印度帝國の首府。
- 6 ラホール(Rahore) インダス河上流パンジヤ平野の中心都會で小麦の集散によつて名高い。
- 7 ベナレス(Benares) ガンジス河に沿ふ印度教第一の靈都。寺院一千五百、年々三百萬の巡拜者は河水に沐浴して禮拜する。實に天下の奇觀。

- 8 アラハバード(Allahabad) 農産の集散地。鐵道の要衝に當る。
- 9 ペシヤワル(Peshawar) 印度北境の要地。これよりカイバル峠を超えてアフガニスタンに至る。
- 10 カラチ(Karachi) インダス河の三角洲上に位しパンジヤ地方の小麥の集散地。貿易港。
- 11 孟買(Bombay) 同名の小島上に位し、天然の良港をなし、背後に棉花の大産地を控へ、印度第二の都會。棉花の輸出が多い。日本郵船、大阪商船の定期航路がある。我が領事館の所在地。
- 12 マドラス(Madras) テカン高原の東部に位し、綿花皮革を輸出する。
- 13 ハイデラバード(Haidarabad) テカン高原の中央に位し、ハイデラバード侯國の首府。棉花砂糖の取引が盛である。また回教の靈地で古跡に富む。
- 14 シムラ(Simla) ヒマラヤ山麓の高地に位し、海拔二千百米餘、炎暑の候には總督こゝに移る。
- 15 スリナガル(Srinagar) カシミル地方の名邑でカシミル織を産す。
- 16 マツラ(Madura) 半島の南端に近い所にあつて印度教の大寺院がある。
- 17 ツチコリン(Tuticorin) マツラの南海岸にあつて眞珠採取の中心地。

(附一) セイロン島 (Ceylon I.)

一 總説 半島の東南岸に沿ひ、英國の直轄殖民地である。本國から總督を派遣して統治する。近年茶の栽培が發達し、我が産額に數倍する多量を輸出す。護謨、コブラ、珈琲等の産も多い。山地か

らは黒鉛、紅玉、碧玉を出す。

二 處誌

- 1 コロンボ(Colombo) 首府。島の西岸にあつて東西交通の要衝に當り、貿易盛大。我領事館の所在地。
- 2 ツリンコマリ(Turincomali) 島の北東岸にあつて英國印度洋艦隊の根據地。
- 3 マナール灣(Mannar Bay) 印度半島とセイロン島との間に位し眞珠の産多し。
- 4 カンチー(Kandy) コロンボの北東、山中の都會で、釋迦の齒を納めたる名高い寺院がある。
- 5 アダム橋(Adam's Bridge) 印度半島とセイロン島との間に散點する珊瑚礁より成る小島。その上に鐵道を通じて半島との連絡を便ならしめてゐる。

(附二) 英領以外の地方

一 獨立會長國

- 1 ネパール國(Nepal) ヒマラヤ山脈中に介在する小國で英國の保護を受けてゐる。首府をカトマンツ(Kathmandu)といふ。住民は主として西藏族で印度教、佛教が行はれ、絶對鎖國主義をとり、外人の入國を許さない。物産は家畜、黄麻。
- 2 ブータン國(Bhutan) ネパールの東方にある小會長國で、英國の保護をうける。首府をプナカ(Punakha)といふ。物産は家畜、黄麻。

二 葡萄牙領……ゴア、ダマン、ヂウ。

- 1 ゴア(臥亞 Goa) 一五一〇年葡萄牙人アルブケルケが此の地を占領し東洋經營の根據としたので往時は榮えたが現在は衰へてゐる。

三 佛蘭西領……マエ。シヤンデルナゴル。ボンヂシエリー。ヤナオン。カリカル。

(自習問題)

- | | | |
|----------------------------|------------------|-----------|
| 1 印度の地勢を問ふ。 | 8 日印貿易に就て記せ | (神高商) |
| 2 印度の産業に就て記せ | 9 プラマプトラ河 | (長高商) |
| 3 我が國より見て印度の主要産物をあげよ(海經) | 10 左の地に就て知る所を記せ。 | |
| (解答) 農業……棉花、黄麻、印度藍(インヂゴ)米。 | カルカッタ(海機) | デリー(東高帥等) |
| 4 印度住民の種族を問ふ(東高帥) | ボンベイ(神高商) | セイロン(島一高) |
| 5 印度の四種姓 | トリンコマリ | コロンボ(海機等) |
| 6 印度の宗教 | ゴア(高) | ペナレス(陸士等) |
| 7 印度帝國の政治組織を問ふ | パトナ(神高商) | |

第七章 西部亞細亞

第一節 イラン地方 (Iran)

一 地文 印度の西部に連り、臺地性地形を呈す。之をイラン高原といふ。北にヒンヅークシ山脈 (Hindukush) エルブールズ山脈 (Elburz Mts) が連り、東にスリマン山脈 (Suleiman Mts) 南にイラン山脈があつてイラン高原を圍む。故に内地は空氣乾燥し、暑熱酷烈、沙漠、荒原をなす所が多い。

二 人文 山麓・河畔等の灌漑の便ある地方には農行はれ棉花・果實・穀物等の産がある。草原沙漠地方には遊牧が盛んで、羊毛、皮革を産する。住民は歐羅巴人種に屬するイラン族で、ベルシヤ人、アフガニスタン人等に分れてゐる。宗教は回教、拜火教が行はれる。此の地方は往古より文化開け、歴史上名高い邦國が興亡した。然るに現今は左の三部に分れるに過ぎない。

國名又は地方名	首府	面積	人口
1 アフガニスタン (Afghanistan)	カブール (Kabul)	六三萬方呎	六〇〇萬
2 卑路芝士坦 (Baluchistan)	北東部は英領、他は英の保護地	三五萬方呎	八〇萬
3 波斯 (Persia)	テヘラーン (Teheran)	一六〇萬方呎	九〇〇萬

三 處誌

1 アフガニスタン (Afghanistan) 高原の北東部に在つて獨立王國である。

①カブール (Kabul) 首府。中央アジアから印度に至る交通の要衝に當り、毛氈、皮革の集散地。

②ハラット (Herat) 西境に位し毛氈を産す。

③カンダハル (Kandahar) 南境に近く、こゝより印度のカラチに鐵道を通ずる。

④カイバル峠 (Khyber Pass) 此の國より印度に入る要路に當り、軍事上有名な所。

2 ヘルチスタン (Baluchistan) 印度帝國の一部。北東部は英領、他は保護地で、保護地に於てはケラットの酋長が最も著はれてゐる。

①ケラット (Khelat) 交通上の要地。ケラットの酋長が居る。

②クエタ (Quetta) 北部に在つて附近に廣大なる炭田がある。

3 波斯 (Persia) イラン高原の西半部を占め、立憲王國であるが、英國の勢力範圍の中にある。國內は高原の沙漠、荒野であるが、耕地に適した所からは棉花、穀物、果實、羊毛、絹織物、石油を産する。(油田の探掘權は英人にある)

①テヘラーン (Teheran) 首府。エルブールズ山脈の南麓にあり、市街は鐵路を以て開ゆ。

②ダブリーズ (Tabriz) 西北境に近く、商業の中心地。貿易が盛んに行はる。

③ブシール (Bushire) ヘルシヤ灣の港地で歐印間電信の中繼地である。

第二節 メソポタミヤ……(イラク王國)
Mesopotamia……Irag

一 總説 イラン及びアラビヤの兩高原間、チグリス河・ユーフラテス河の流域をいふ。氣候は酷暑で寡雨。故に一帯に沙漠が多く、右兩河の流域のみ農耕に適する。産物としては棗、椰子、穀物・家畜・羊毛・石油等。

此の地方は上古文明の發祥地で、バビロニヤ及びアッシリヤ三國の興亡した處であり、亦中古にはサラセン帝國の興つた所であるから其の遺蹟が多い。然るに今日は多く沙漠と化し、再び往時の強國を見る事が不可能となつた。世界大戰の結果英吉利の委任統治地となつたが、近時其の統治の下にイラク王國が出来た。

將來を有望視される棉花と石油

此の地方は英吉利の委任統治下にあるだけに、近年英人は棉花の栽培に大努力を盡してゐる。またモスル及びバグダッド地方を主とする油田も漸次探掘され今や世界の羨望する所となつた。棉花と石油この二大産物は將來遠からずして大産額を出す様になるであらう。

二 處誌

- 1 バグダッド (Bagdad) イラク王國の首府。チグリス河の中流に臨み、またバグダッド鐵道の主要驛として水陸交通の要路に當り、隊商の來集が多い。中世サラセン帝國の首府たりし所。遺蹟が頗る多い。附近に油田が多い。
- 2 バスラ (Basra) シャツテルアラブ下流の河港。航洋汽船も溯ることが出来る。メソポタミヤ地方の門戸に當る貿易港。
- 3 モスル (Mosul) チグリス河の上流に位し、附近に油田が多い。

第三節 土耳其 (Turkey)

注意……「アルメニヤは一大戰後一時露領コーカサの一部分と合して獨立共和國を建てたが、近時ローザンヌ條約に依つて再びトルコ領に歸し、今は自治州となつてゐる。また「クルヂスタン」も一時獨立を唱へたが今はトルコに併合されて自治州となつてゐる。

一 總説 東方イラン地方から延びて來た諸山脈は小亞細亞に入つて小亞細亞高原となり、南部はタウルス山脈 (Taurus Mts) をなしてゐる。内部は氣候一般に乾燥。産物としては穀物・乾果 (梨、蘋果) 生絲・羊毛・山羊毛及び鐵鑛を産する。

住民

アルメニヤ族……アルメニヤ州に住みキリスト教を信奉する。
土耳其人……小アジアに住む。
ギリシヤ人……小アジアの沿岸地方に住む。

政治………バルカン半島(歐羅巴)の一角と小アジア及びアルメニヤに亘る地方を國土として共和政を布いてゐる。

二 處誌

- 1 アンゴラ(Angora) 首府。小アジアの略々中央に位し附近には山羊(アンゴラ羊)の飼育が盛である。有名なるモローア織(Mohair cloth)を産する。
- 2 スミルナ(Smyrna) 地中海岸の良港で乾葡萄酒を多く輸出する。
- 3 スクタリ(Scutari) ボスボロス海峡を隔て、スタンブール(Sanbu)に相對す。歐亞交通の要衝に當る。
- 4 ハイダルパシャ(Haidar Pasha) スクタリの附近にあつてバグダッド鐵道の起點。
- 5 エルゼルム(Erzurum) アルメニヤ州の名邑。通過貿易が盛である。
- 6 サイプラス島(Cyprus I.) 小アジアの南海上、地中海にある島で、五十年前、印度航路保安の爲に英國が領有したのである。
- 7 ロードス島(Rhodes Is.) サイプラス島の西部にある數個の小島と共に近年伊太利に屬することゝなつた。

バグダッド鐵道(Baghdad R. W.)
世界大戰前獨逸が土耳其の許可を得て敷設しつゝあつたのであるが、大戰後英、佛、伊三國の管理する所となつたので、其後全通を急ぎ今日では略々全通に近づいた。行程はスクタリ附近のハイダルパシャに起リバグダッドを過ぎ波斯灣のバスラに至らんとするものである。

第四節 シリヤ及び其の南附近

1 シリヤ(Syria)

1 總説 東はメソポタミヤ、西は地中海、北は土耳其、南はパレスチナ及びトランスヨルダニヤに境し、丘陵多く、土地肥沃、然るに開拓を怠つてゐた爲め、多くは荒地となつてゐる。産物としては、穀物、羊毛、果實を産する。此の地は、もと土耳其領であつたが世界大戰の結果フランスの委任統治に屬した。

2 處誌

- ① ダマスカス(Damascus) 西南部、地中海に近き所にあつて巡禮鐵道の要驛に當り、古來商貿易の盛な所である。シリヤの中心都會。
- ② テイルト(Teirut) 地中海の港市で、シリヤの門戸に當り、ダマスカスに鐵道を通ず。
- ③ アレッポ(Aleppo) バグダッド鐵道と巡禮鐵道との分岐點である。

巡禮鐵道(Pilgrims' R. W.)……又はヘチヤス鐵道(Hejaz R. W.)
 アレッポよりシリヤ地方を南に走り、トランスヨルダニヤを経て回教の靈地メッカ市に至るもので、回教徒の喜捨した金に依つて回教の靈地メッカ及びメヂナに巡禮する者の爲に建設されたものである。

二 パレスチナ (Palestine) (ユダヤ國)

1 總説 もとトルコ領であつたが世界大戰の結果、英吉利の委任統治地となつた。そこで英吉利はユダヤ人のために自治國を建て、統治を行つてゐる。

2 處誌

- ① イエルサレム (Jerusalem) 首都。キリストの墳墓があるので、昔から参拜者が多い。
- ② ベテレヘム (Bethlehem) イエルサレムの南方にあつてキリストの生地である。

三 トランスヨルダニヤ (Trans. Jordan) (ケラク國)

1 總説 近時パレスチナの東方にトランスヨルダニヤと稱するアラブ族の小自由國が起り、英吉利の委任統治を受けてゐる。城内には沙漠、荒原が多い。

2 處誌

- ① アムマン (Amman) 巡禮鐵道の一驛をなし、此の國の首府である。
- ② 死海 (Dead Sea) 此の湖は斷層のために土地が陥落して出來た地溝に水を湛へたもので、湖面は地中海

面より低いこと約四百米、河川はみな死海に流入してゐる。塩分を含むこと二十五パーセント、ために魚類は棲息しない。

③ ヨルダン河 (Jordan R.) 此の河はシリヤより流れて死海に注ぐ。此の河の流るゝ所は大河谷即ち地溝をなしてゐる。ヨルダン河谷及び死海を作る地溝は南に延びて紅海を作り、更に東部アフリカに走つてゐる。

第五節 亞 刺 比 亞 (Arabia)

一 總説 亞細亞の西南部に突出した世界最大の半島で、地勢は一帶沙漠性の高原である。併乍海岸・河谷・泉地 (Oases) には耕作が行はれ、良質の珈琲・馬・駱駝・棗・椰子を産す。住民はアラブ族で、域内は多くの小酋長國に分れてゐる。其等の中ヘチヤス王國が最も著はれてゐる。亞刺比亞一帶の地は大戦前土耳其の勢力地であつたが、戦後英吉利の勢力が及んでゐる。

二 處 誌

- 1 ヘチヤス王國 (Hejaz) 世界大戰の結果土耳其の勢力下から離れて獨立し英國の保護を受けてゐる。紅海沿岸に臨む。
 - ① メッカ (Mecca) 回教の始祖イホメットの出生地。
 - ② メヂナ (Medina) イホメットの墳墓の地でメッカと共に巡禮者が甚だ多い。
- 2 アデン (Aden) と其の附近。

アデン及び其の附近は英吉利の領土で、印度航路の要衝に當る。アデンの沖にペリム島がある不毛の地なれど交通、軍事上重要な所である。

3 オマーン酋長國(Oman) 波斯灣及び亞刺比亞海に臨み、^{ナツメヤシ}棗椰子を多く産す。英吉利の保護地。

(自習問題)

1 紅海とアデン灣を連ぬる海峡名 (海機)

[解答] バベルマンデブ海峡

2 紅海の成因(高)

[解答] 斷層の結果陥落したもので、これに亞刺比亞海より海水が侵入したものである。此の斷層線は死海及びヨルダン河谷及び東アフリカの地溝に連るものである。

3 死海の成因を問ふ。

4 波斯の政體、首府及び主要産物を問ふ。

5 トルコの政體、首府を問ふ。

6 西部亞細亞に於ける各國の委任統治地をあげよ。

7 バグダッド鐵道。

8 巡禮鐵道。

9 左の地に就き知る所を記せ。

テヘラン(海山等)

カブール(東外語)

ペリム(高資)

バグダッド(東高師等)

クルチスタン

メソポタミヤ(大外語)

ヘチヤス王國(東外語)

ヨルダン河(北大豫科)

(東高商)

アンゴラ(廣高師、高)

イエルサレム(高檢)

カンダハル(東外語)

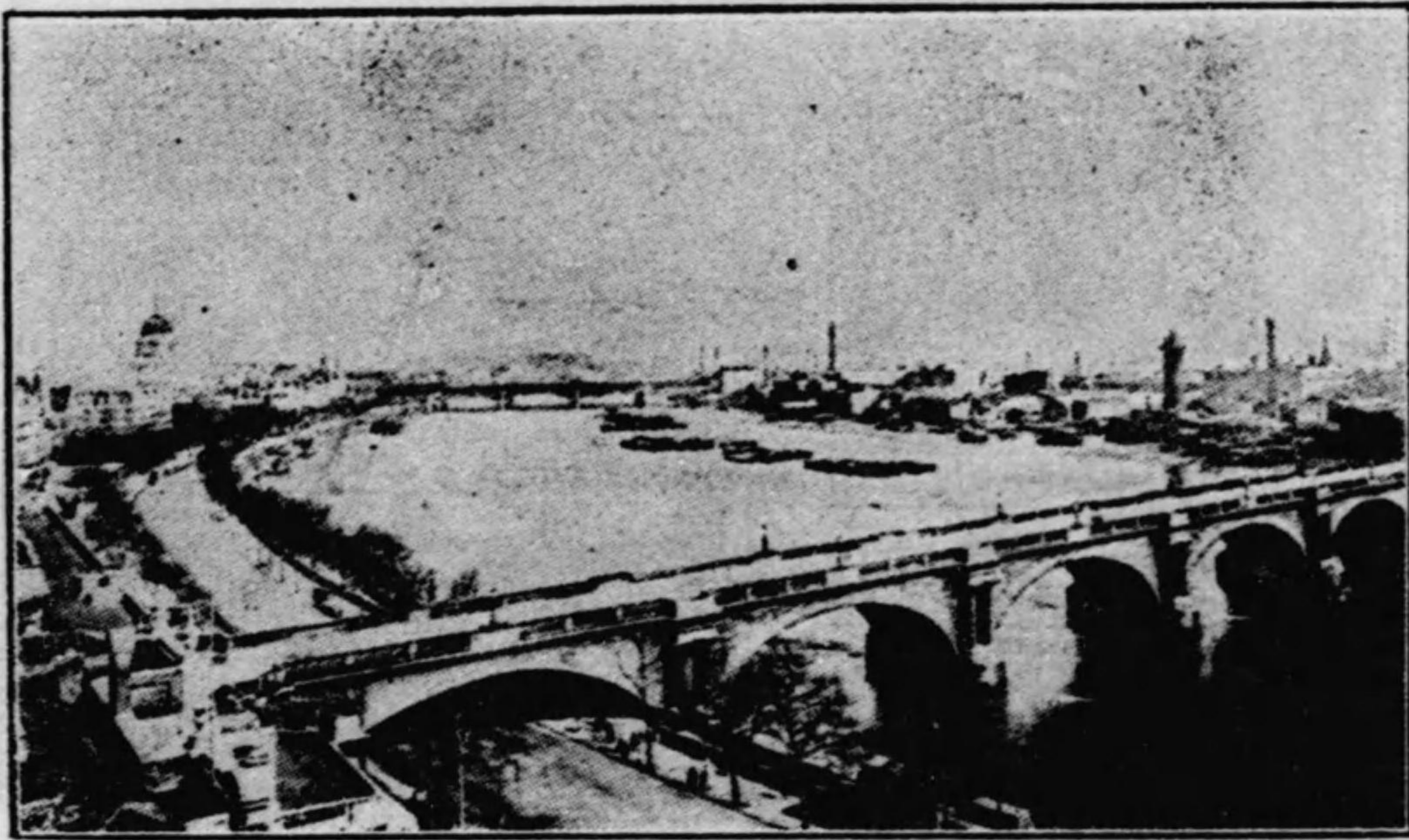
ダマスク(東高師)

スミルナ(廣高師、神高商)

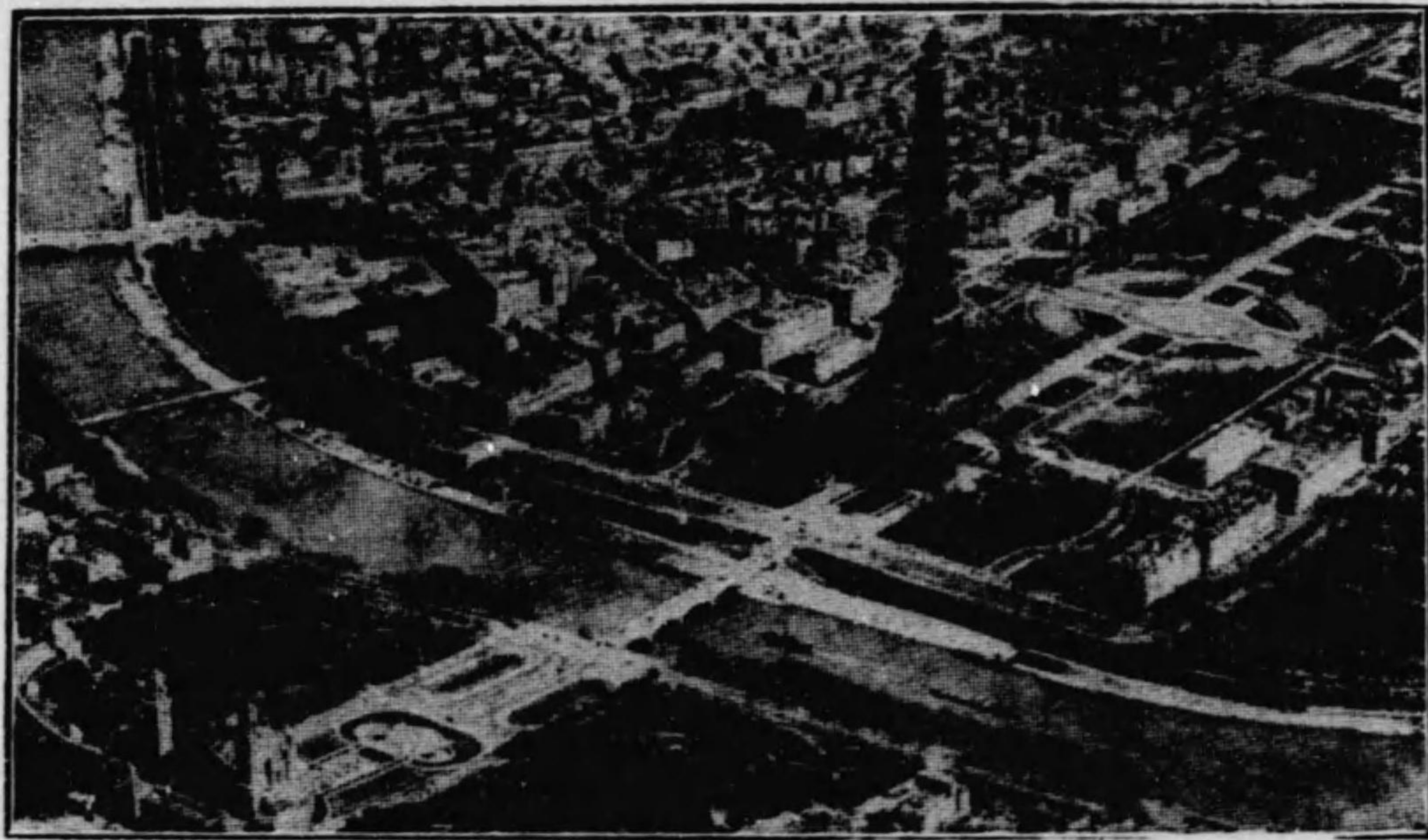
アデン(東外語等)

ボスポロス海峡(海兵)

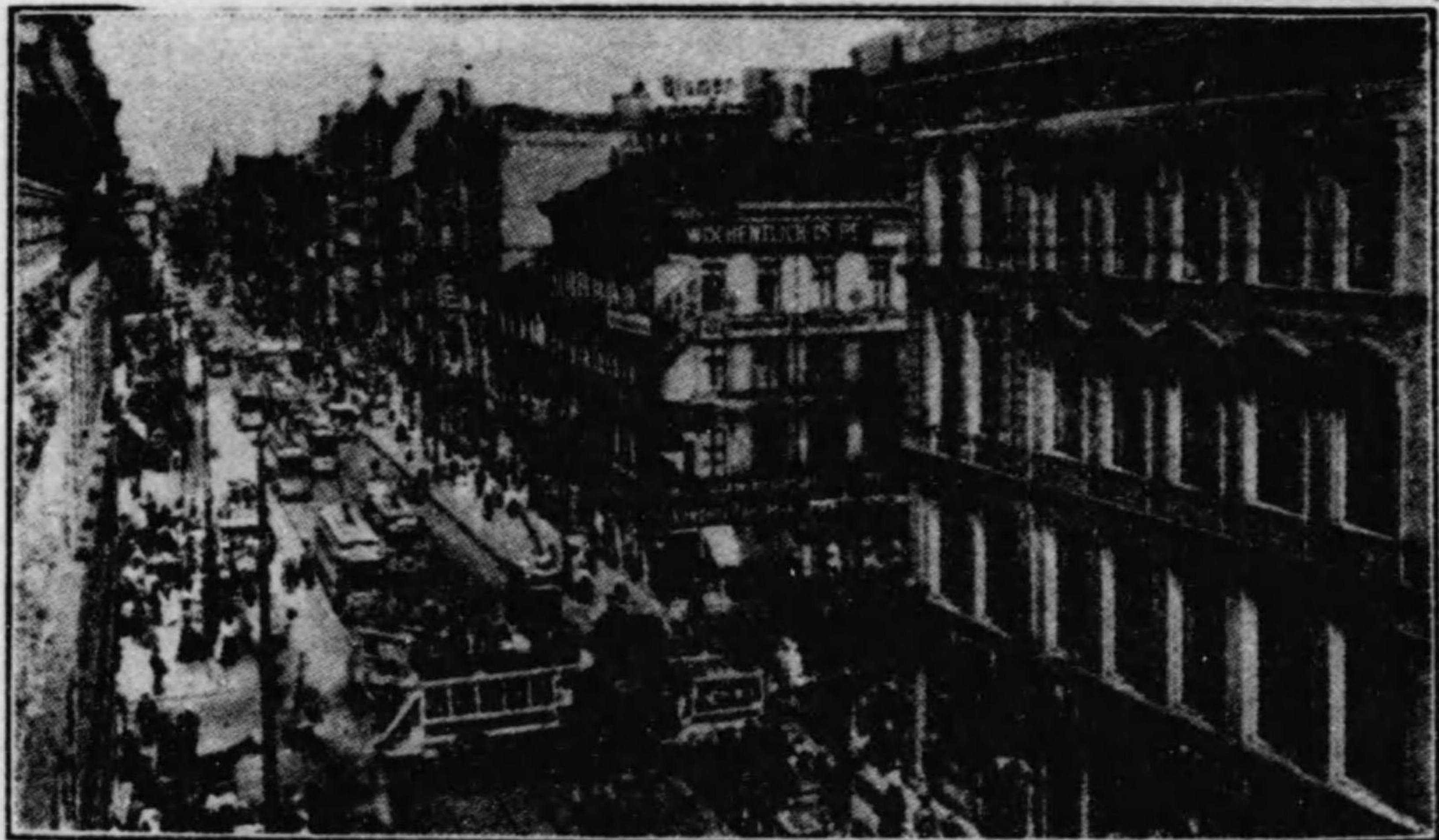
(巴 ン ン)



(六 市 街)

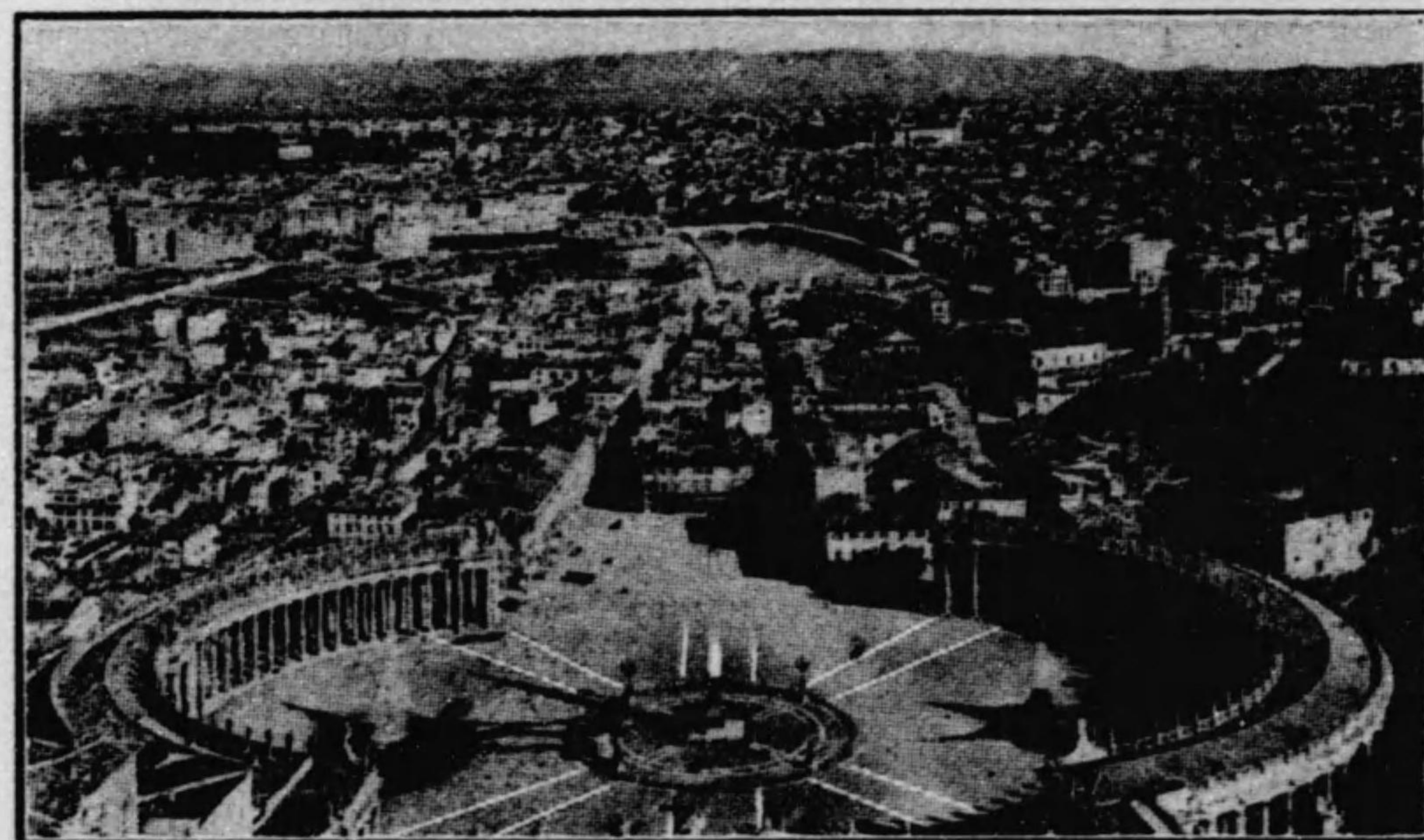


(バ ン ン)





(イ) ムニッヒ



(ロ) ムニッヒ



(ウ) ムニッヒ

第二編 歐羅巴洲

第一章 總論

論

一 境域 面積九九〇萬方呎、亞細亞の西方に突出してゐる一大半島。即ち獨立の大陸ではない。依つて此の兩者を併稱してユーラシヤ(Eurasia)大陸といふ。北は北氷洋、西は大西洋、南は地中海を隔て、アフリカに對し、東はウラル山脈・コーカシヤ山脈・黒海・マルモラ海の一線を以てアジア洲に連る。

二 地勢

1 山系

△ アルプス山脈 (Alps) (Alpen) モンブラン山(歐洲最高峰四八〇〇米)
 モンテローザ山 等四千米以上
 マツテルホルン山
 ニンゲフラウ山 の最高峰多し



○アルプス山系

- B ユラ山脈 (Jura Mts)
- C アペナイン山脈 (Apennines)
- D シエラネバダ山脈 (Sierra Nevada)
- E チナルアルプ山脈 (Dinaric Alps)
- F ピンドス山脈 (Pindus)
- G カルパチャ山脈 (Caratian Mts)
- H トランスシルバニア山脈 (Transylvanian Alps)
- I コーカシヤ山脈 (Caucasus)

アルプス山系の一派をなす。

○其他の諸脈及び高原

- J ウラル山脈 (Ural Mts)
- K スカンチナヴィヤ山脈 (Scandinavia Mts)
- L ピレネー山脈 (Pyrenees)
- ◎ イベリヤ高原 (Iberia H) ... ピレネー山脈及びシエラネバダ山脈間
- ◎ バルガイ丘 (Vallai H) ... ボルガ河上流、レニングラードの南部、海拔三百米の低い丘陵である。

○平原

- 1 露西亞平原
ロシア一國に亘る大平原で、北氷洋に面する方面は凍土帯をなすが、それ以外の所は農牧に適し、殊に黒海沿岸地方は黒土帯で（土地が黒色の土である）で農産物に適し、偽に農業が發達。ボルガ河上流にあるバルガイ丘は低平なる平野にあるから名高い。
- 2 獨逸平原
此の間に和蘭、白耳義の平原がある。また英吉利の南部、瑞典の南部にもそれぞれ平野がある。
- 3 佛蘭西平原
アルプス山系の諸山脈（アルプス山脈、カルパチャ山脈、トランスシルバニアアルプ山脈、チナルアルプ山脈）に取り圍まれた盆地で、ダニュープ河が貫流して農業交通に便す。
- 4 洪牙利盆地

歐洲の大平原に就て... 往昔バルチック海や北海が陥落する以前に於ては英吉利、瑞典の平原は現在のロシア、獨逸、佛蘭西等の平原に續き、歐洲の一大平原を成してゐた。そして此の一大平原の北には今のスカンチナヴィヤ山脈が英吉利の北部なるスコットランドに延び、南に連互するアルプス山系の諸山脈と共に氷河を懸けて相對峙してゐたのであつた。

○火山系

- イ 伊太利の西側
アペナイン山脈の西側はベスビヤス (Mt. Vesuvius) ストロムボリ島、エトナ (Mt. Etna) 等の活火山が噴出する。此の地方には地震が多い。即ち伊太利は歐洲第一の火山國で亦地震國である。

2

水 系 本洲の河川は多くアルプス山地及びロシア内地の臺地から發源して四方に流出する。而て多くは緩流で舟便が極めてよく、特に運河を掘つて縦横に貫通せしめ、また河川を連絡してゐるから、水路を以て本洲を横斷することが出来る。河川は主にバルチック海、北海、地中海、黒海に注ぐ。

○河川

- A 北氷洋斜面：1 ドビナ河 (Dvina R.)
- B バルチック海斜面：2 チユナ河 (Duna R.) 3 ニーメン河 (Niemen R.) 4 ヴィスツラ河 (Vistula R.) 5 オーデル河 (Oder R.)
- C 北海斜面：6 エルベ河 (Elbe R.) 7 ヴァイザル河 (Weser R.) 8 ライン河 (Rhine R.)
- D 大西洋斜面：9 セイヌ河 (Seine R.) 10 ロリアン河 (Loiret R.) 11 ガロニク河 (Garonne R.) 12 ドイロ河 (Douro R.) 13 タホ河 (Tajo R.)
- E 地中海斜面：14 エブロ河 (Ebro R.) 15 ポー河 (Po R.)
- F 黒海斜面：16 ダニューブ河 (Danub R.) 17 ドニエプル河 (Dnipr R.) 18 ドナ河 (Don R.)
- G 内陸斜面：19 ボルガ河 (Volga R. 歐洲第一の長流) 20 ヴォルガ河 (Wral R.)

アイスランド 北大西洋上のアイスランド島 (Iceland) は火山が多く、中にもヘクタ火山最も著名。温泉も所々に湧出し、間歇泉も極めて多い。

【國際河川】 (International River)

國際河川とは世界各国の船が自由に航行することの出来る河川で、國際委員會が之を管理する。歐洲で國際河川として各國に解放されたのは、從來鐵門以下のダニューブ河及びライン河のみであったが、世界大戰の結果左の諸川も國際河川に定められた。

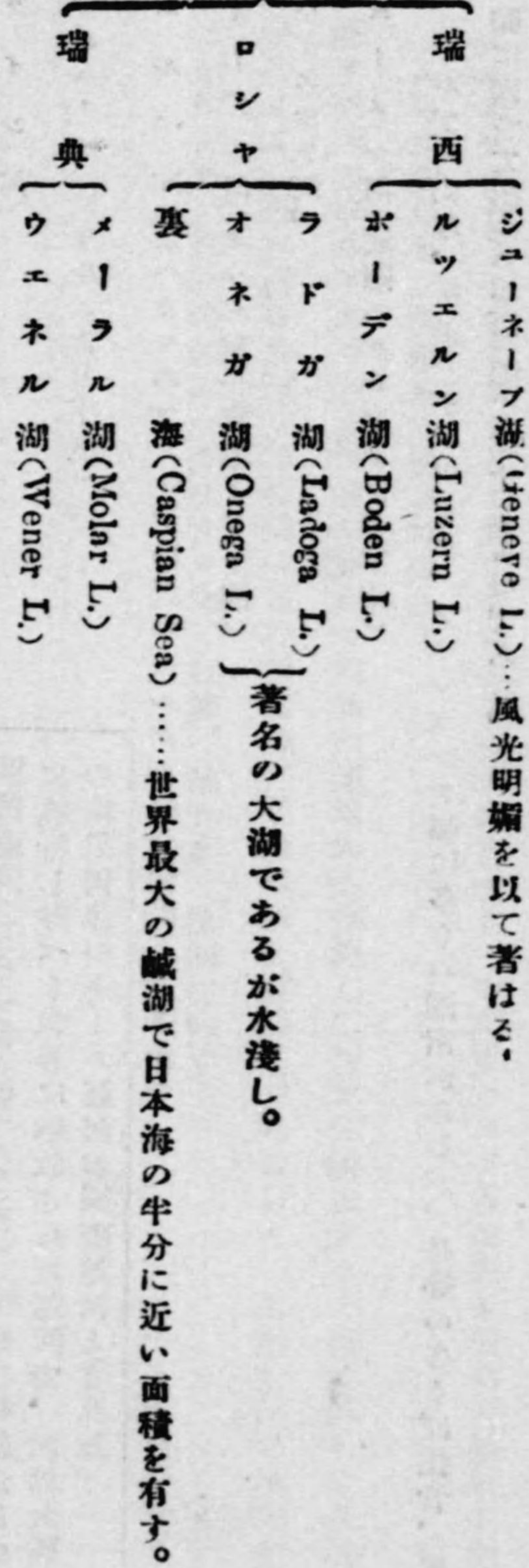
- 1 ライン河。
- 2 ダニューブ河 (ウルムより下流)
- 3 エルベ河 (ボヘミアのプラーク附近のモルダウ河合流点より下流)
- 4 オーデル河 (オツパ河合流地より下流)
- 5 ヴィスツラ河。
- 6 ユーメン河 (波蘭のグロドノより下流)

湖沼 アルプス山地、スカンジナビア、フィンランド等に多くの湖沼があるが、是等の多くは往昔、氷河の活動に因つて出来た氷河湖に屬するものである。

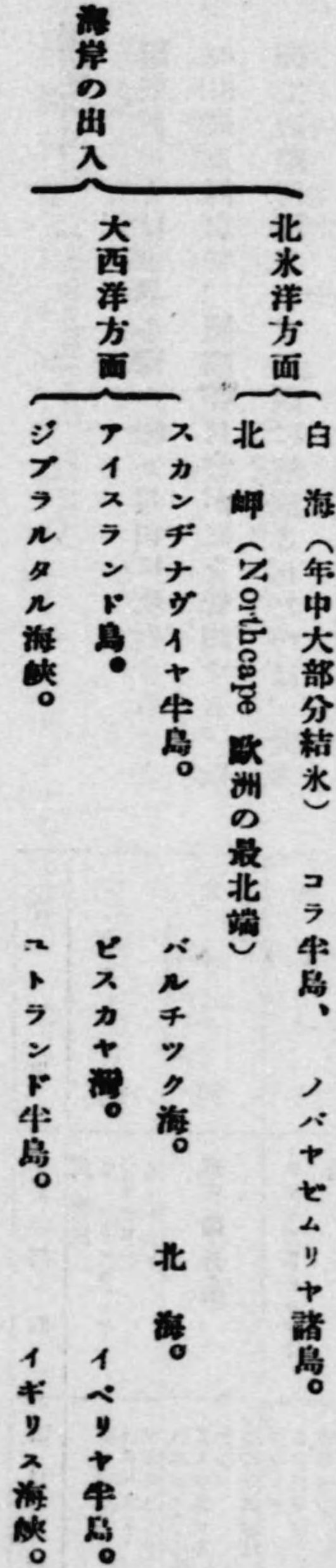
河川	流域	沿岸大都市
ダニューブ河	獨逸、ポーランド、ルーマニア	ブダペスト、ワルソワ、ベルリン、ブダペスト
ライン河	獨逸、フランス、オランダ	アムステルダム、ブリュッセル、ケルン、フランクフルト
エルベ河	ドイツ、ポーランド	ドレスデン、ハノーヴァー
ローヌ河	フランス、イタリア	リヨン、マルセイユ
タホ河	西葡	リスボン
オーデル河	チエコスロバキヤ	プラハ

國際運河 (International Canal) 世界の船舶が自由に航行し得べく世界に解放された運河で、世界大戰の結果獨逸のキール運河が國際運河とされた。

主な沼



②海岸 甚だ屈曲して其の海岸線の長いこと世界第一。即ち半島、島嶼、内海が多く連り良港をかたづけり商業文化の發達は一に此の交通至便に貢獻する海岸地形の賜物である。かく長い海岸線の中でも北氷洋に面してゐる地方を除いて他はみな、四季船舶織が如し。



三 氣候

本洲の大部分は温帯に位し、且つ三方が海に面するから同緯度の他の大陸に比して温暖である。

- 1 西部 ……メキシコ灣流の瀟す暖風と濕氣をうけて雨量多く、他の同緯度の地に比して著しく温暖。
- 2 東部 ……海岸を遠ざかり海氣 (Sea Air) の調和を受けないか寒暑の差大、大陸的氣候を呈する。
- 3 北部 ……北氷洋沿岸は一部寒帯に入り、酷寒で凍土帯をなす。

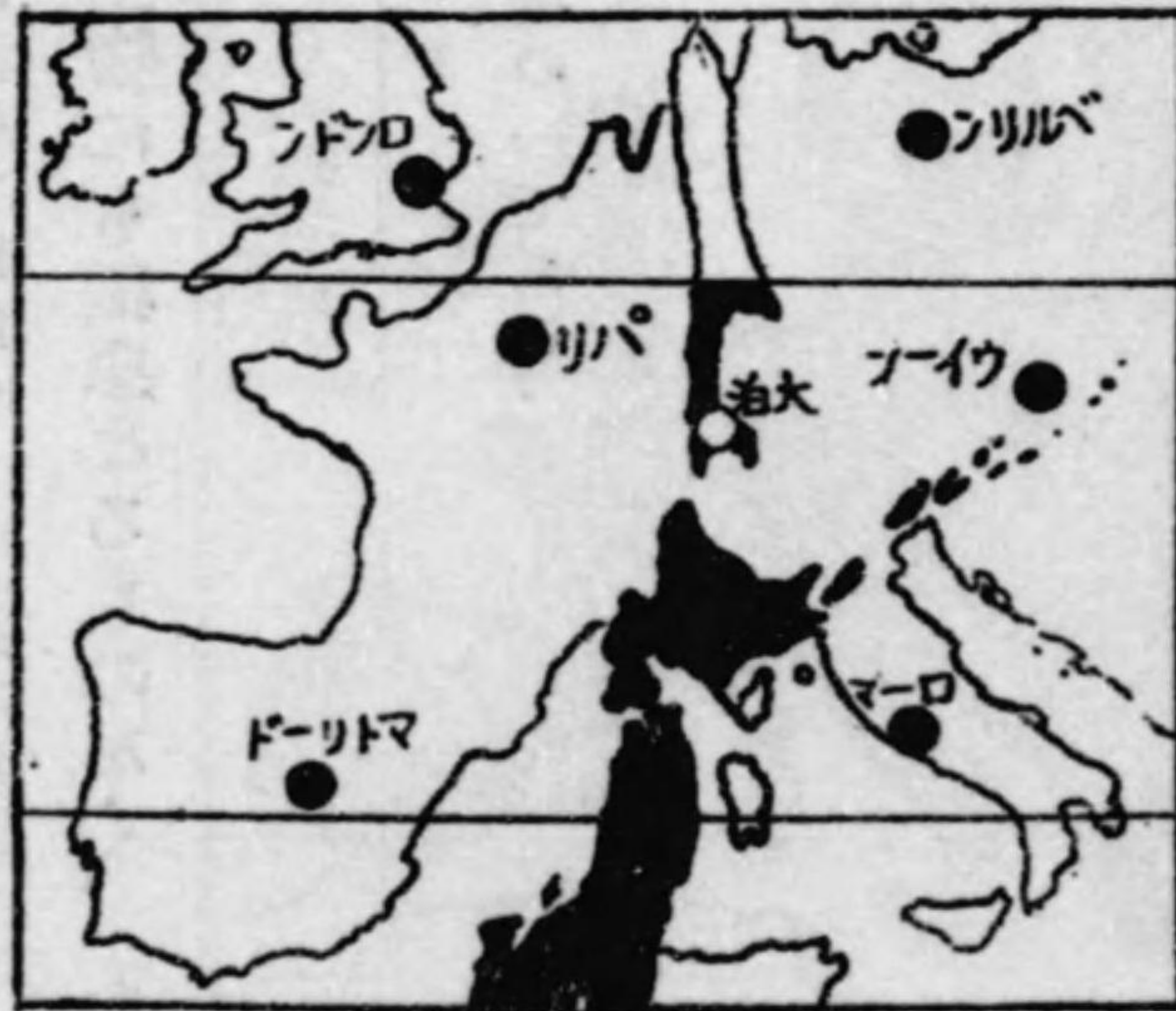
著名なる河

- 獨逸 ……ハンブルグ。 プレーメン。 ステチン。
- 白耳義 ……アントワープ。
- 英吉利 ……倫敦。 リバプール。 グラスゴ。 ニューカッスル。
- 佛蘭西 ……ルアーブル。 ボルドー。

地中海方面

- バレアル諸島。
- チレーヤ海 (Tyrrhenian Sea) 伊太利半島。
- アドリヤ海。
- エーゲ海。
- 黒海。
- アソフ海。
- バルカン半島。

緯度比較



ロンドン・ベルリン・ウイッパリー等が緯度大泊以北に在ることに注意すべし。

- サルチニヤ島。
- シシリー島。
- クレテ島 (カンチア島)

四 生物

4 南部……地中海特有の氣候を呈し、夏季は乾燥し、高温であるが、各季は温暖で降雨多し。(避寒に適す)

と東部に狼がゐるのみ。他は至つて平凡。

1 動物

陸地……巨大猛悪なる野獸少なく牛馬、羊、豚等の家畜が多い。

近海……西北部の近海には鱈、鱈、鯨等の水産に富み世界三大漁場の一である。

南部……地中海沿岸地方は葡萄、オリブ、蜜柑、無花果。

中部……常緑林の密林がある。また麥類、馬鈴薯等の産が多い。

最北部……凍土帯をなす所が多く、僅かに蘚苔類を生ずるのみ。

東南部……一面の草原をなし其好の牧場。

2 植物

五 住民

1 人口……人口約四億六千萬。其の密度はアジヤの約二倍に餘り、殊に西部、中部で國としては白、蘭、英の諸國が最も稠密である。

2 種族……住民の大部分約九割は歐羅巴人種、即ち白人種で其の他の少量はアジヤ人種である。

- アリアン族
 - 歐洲三大民族……ラテン族。
 - ギリシヤ族。
 - アルバニヤ族。
 - ケルト族。
 - レット族。
 - チニートン族。(ゲルマニヤ族)
 - スラブ族。

歐羅巴人種

- セム族……ユダヤ人。

亞細亞人種……フィン族。 ラツプ族。 トルコ族。

マジャール族。(蒙古族)

① 歐洲の三大民族

イ ラテン族 (Latin)

A 住地……本洲西南部。佛、伊、西、葡の國民が之に屬す。

B 民族性……夙にギリシヤ文明を繼承して羅馬文明を興した。文藝、美術の技に長じ、優美快活である

が、性質稍々輕躁で熱情に驅られ易く、爲めに往々大事業と大政變を起す。諸般の發達チ

ニートン族に一步を譲る。

C 宗教……舊教を信奉す。

スラブ族 (Slav)

A 住地……東部及びバルカン半島。ロシヤ、波蘭、チエ

ツクスロバツク、ユーゴースラビヤ等の國民

が之に屬す。

B 民族性……多數は質樸なる農民で頑健且つ忍耐力が強い。

が之に屬す。



文化程度は他の二大民族に劣る。

C 宗教……希臘教を信奉す。

ハ チュートン族(Tentons)＝ゲルマニヤ族(Germans)。

A 住地……中西部地方。獨逸、英吉利、和蘭、諸國、瑞典、奧地利等の諸國民之に屬す。

B 民族性……着實剛健、勤勉力行して實用を尙ぶ努力の性質がある。教育、産業の進歩他民族に優る。

C 宗教……新教を信奉す。

③三大民族以外の諸民族

イ マジャール族(蒙古種)……洪牙利の代表民族。比較的文化進む。

ロ トルコ族……一時、バルカン半島一帯の地に雄飛したが、最近次第に衰微して(世界大戦以來)今や歐洲大陸から驅逐されんとしてゐる。重に回教を奉ず。

ハ フィン族……フィンランドに住む。文化進み教育普及す。新教を奉ずる者が多い。

ニ ラップ族……スカンデナヴィヤ半島とフィンランドの北方に住み、約一萬二、三千人程しかゐない。古來フィン人と接觸してゐたから風俗がよく似てゐる。併しフィン人は背が高いがラップ人は一・五米以下の低いものである。

ホ ギリシヤ族……ギリシヤに多く住む。歐洲文明の開祖であるが、今は商事航海に長じ、地中海東部の商權を握るに過ぎない。主としてギリシヤ教を奉ず。

ヘ ユダヤ族……別に國家をつくらず。商業理財に長じ、歐米都市に於て經濟上の勢力を有し、亦最近學術上にも著名の人を出す。猶太教を信奉する。

ト ケルト族……佛蘭西の北部半分、アイルランド及びスコットランドに住む。

チ レット族……バルチック海の東沿岸地方……ラトヴィヤ及びリツアニアに住む。

②宗教 住民の大部はキリスト教に屬す。此の外小數の回教、ユダヤ教が行はれる。

新 教(Protestant)……チュートン族。

イ キリスト教 舊 教(Roman Catholic)……ラテン族。

ギリシヤ教(Greek)……スラブ族及びギリシヤ族。

ロ 回 教……トルコ族間及びバルカン半島、ロシヤの一部にも行はれる。

ハ ユダヤ教……各地ユダヤ人に盛行はる。

六 政治

以前は國家として存在するものが二十六國に過ぎなかつたが、世界大戦の結果異狀の急變を來たし、目下大小通じて三十六國を算し、塊地利洪牙利・ロシヤの崩解となり、獨逸邊境の分裂などあつて、國際管理又は他國の治下によつて漸く獨立する小國も生れ、頗る複雑となつた。是を細別すれば左の如し。

1 君主及び共和國。(附諸國の首府、我が大公使駐在有無、主要民族、我が條約國)

政體	國名	首府	我公使大館	主要民族
共和	1. 佛 蘭 西	パ リ ー	大 使	フ ア ン 族 ケ ル ト 族
	2. 獨 逸	ベルリン	大 使	チ ュ ー ト ン 族
	3. 波 蘭	ワ ル ソ ー	公 使	ス ラ ブ 族 (波 蘭 人)
	4. チエツコ スロバキヤ	ブ ラ ー グ	公 使	ス ラ ブ 族 (チエツコ・スロバキヤ人)
	5. ギ リ シ ヤ	ア テ ネ	公 使	ギ リ シ ヤ 族
	6. 瑞 西	ベ ル ン	公 使	チ ュ ー ト ン 族 ラ テ ン 族
	7. 奥 地 利	ウ イ ー ン	公 使	チ ュ ー ト ン 族
	8. フ イン ラ ン ド	ヘルシンギ フオールス	瑞 典 公 使 兼 領 事 任	フ イ ン 族
	9. 葡 萄 牙	リ ス ボ ン	西 牙 公 使 兼 領 事 任	ラ テ ン 族
	10. ロ シ ヤ (ソヴイエト聯邦)	モ ス コ ー	大 使	ス ラ ブ 族
	11. エ ス ト ニ ヤ	ハ ル ジ ュ ー		フ イ ン 族 (エ ス ト 人)
	12. リ ッ ア ニ ヤ	コ プ ノ		レ ッ ト 族 (リッアニア人)
	13. アルバニヤ	ツラツオ		アルバニヤ族
	14. ラ ト ビ ヤ	リ ガ	公 使	レ ッ ト 族 (ラット人)
	15. ア ン ド ラ	ア ン ド ラ		ス ラ ブ 族
	16. サ ン マ リ ノ	サンマリノ		ラ テ ン 族
	~~~~~	~~~~~	~~~~~	
	~~~~~	~~~~~	~~~~~	
17. 土 耳 古	ア ン ゴ ラ	大 使	ト ル コ 族	

●は我が條約國のしるしである。

政體	國名	首府	我公使大館	主要民族
君主	1. 英 吉 利	ロ ン ド ン	大 使	チ ュ ー ト ン 族 ケ ル ト 族
	2. 伊 太 利	ロ ー マ	大 使	ラ テ ン 族
	3. 白 耳 義	ブリュッ セル	大 使	チ ュ ー ト ン 族 ラ テ ン 族
	4. 瑞 典	ストック ホルム	公 使	チ ュ ー ト ン 族
	5. ノ ル ウ エ ー	オ ス ロ	[フィンランド に 併合] 兼 領 事 任	チ ュ ー ト ン 族
	6. デ ン マ ー ク	コペン ハーゲン		チ ュ ー ト ン 族
	7. ル ー マ ニ ヤ	ブカレスト	公 使	ラ テ ン 族 (ルーマニア)
	8. 西 班 牙	マドリード	公 使	ラ テ ン 族
	9. 和 蘭	ハ ー グ	公 使	チ ュ ー ト ン 族
	10. 洪 牙 利	ブタペスト	地 理 領 事 任	マ ジ ヤ ー ル 族
	11. ユ ー ゴ ー スラビヤ	ベルグ ラード		南 方 ス ラ ブ 族
	12. ブ ル ガ リ ヤ	ソフイヤ		南 方 ス ラ ブ 族
	13. ア イ ス ラ ン ド	ファイキヤ ピツク		ア イ ス ラ ン ド 族
	14. ル ク セ ン ブ ル グ	ルクセン ブルグ	公 使	チ ュ ー ト ン 族
	15. モ ナ コ	モ ナ コ		ラ テ ン 族
	16. リ ヒ テ ン スタイン	バ ダ ツ		チ ュ ー ト ン 族

●は我が條約國のしるしである。

2 世界大戦後の新興國

- ① フィンランド (Finland) ————— 舊露西亞領西方の一部。
 - ② エストニア (Estonia) ————— 舊露西亞領西方の一部。
 - ③ ラトヴィヤ (Latvia) ————— 舊露西亞領西方の一部。
 - ④ リツアニア (Lithuania) ————— 舊露、獨、奥洪國の各一部分。
 - ⑤ ポーランド (Poland) ————— 舊露、獨、奥洪國の各一部分。
 - ⑥ チェコスロバキヤ (Czecho-Slovakia) ————— 舊奥洪國の一部及び舊セルビヤ、モンテネグロ全部。
 - ⑦ ユーゴスラヴィヤ (Yugo-Slavia) ————— 舊奥洪國の一部及び舊セルビヤ、モンテネグロ全部。
 - ⑧ 奥地 (Austria) ————— 舊奥洪國。
 - ⑨ 洪牙利 (Hungary) ————— 舊奥洪國。
- ⑩ 準新興國
- (1) アイランド王國……………丁抹より自立……………丁抹王を君主に奉戴す。
 - (2) アイルランド自由國……………英吉利本國から分離して自治を行ふ。
 - (3) ダンチツヒ自由市……………舊獨逸領……………國際聯盟の管理に屬す。
- ⑪ 世界大戦後の消滅國
- (1) 奥地利洪牙利……………瓦解。

七 産業

4 世界大戦後國體變更の諸國

- ① セルビヤ……………ユーゴスラヴィヤに併合。
 - ② モンテネグロ……………ユーゴスラヴィヤに併合。
 - ③ ロシヤ……………ソヴィエト聯邦(これはロシヤ全體の國號である)……………
 - ④ 獨逸……………獨逸共和國……………
 - ⑤ トルコ……………トルコ共和國(首府を小亞細亞に遷す)……………
- 戦前は何れも君主國であつたから帝國と稱してゐた。

1 農業 各平野は土地肥沃で農業がよく發達してゐる。併乍地中海沿岸の地方と、それより以北の地方とでは主産物に相當の差異がある。今便宜上前者を南部地方、後者を北部地方として説明せん。

- 南部地方
 - オリーブ……………西班牙、伊太利が最も著るしい。
 - 葡萄……………佛蘭西は世界第一の産額を有する。
 - 烟草……………バルカンの諸國最も著名。
 - 麦……………特に佛、伊の兩國が著名。
- 北部地方
 - 麥……………類……………東方平原(世界大穀倉の一)に多い。
 - 馬鈴薯……………西方平原に多い。
 - 甜菜……………
 - 麻……………

2 牧畜業 ロシヤ、洪牙利、獨逸等の平原には馬、牛、羊等の飼育が盛んである。又バルチック海沿岸の諸國及び奥地利、瑞西の山間に於ては乳牛を飼つて盛んに牛酪、乾酪を製造してゐる。

- 3 林業……中部以北の諸國、即ち瑞西、埃地利、獨逸、露西亞、瑞典、諾威は主要なる林業國で木材、パルプ等を多く出す。
- 4 鑛業……諸種の鑛産に富んでゐるが就中、中部及び西部に於ける石炭と鐵の産額が著名である。
○石炭の主産地……英吉利、獨逸、佛蘭西、チエツコスロベキヤ、白耳義。
○鐵鑛の主産地……英吉利、獨逸、佛蘭西、西班牙、ロシア。
- 5 水産業……諾威の近海は世界三大漁場の一で、鯨、鯨、鱈、鰹の魚獲が多い。
- 6 工業……英國を主とし、獨逸、白耳義、佛蘭西が之に次ぐ。製鐵業を主とし、製機、紡績、造船化學工業が盛んである。
- 7 商業……英國を主とする。其の貿易額は世界第一。佛蘭西、獨逸が之に次ぐ。

八 我が歐洲航路

〔日本郵船會社〕

- 1 歐洲航路ハンブルグ線 横濱……神戸……大連……青島……上海……香港……マカツサル……バタヴィヤ……シンガポール……ヒナン……コロンボ……ポルトサイド……ロツテルダム……ハンブルグ。
- 2 歐洲航路リヴァプール線 横濱……神戸……大連……青島……上海……香港……シンガポール……ヒナン……コロンボ……ポルトサイド……ジエノア……マルセイユ……リヴァプール。

〔大阪商船會社〕

- 横濱……神戸……大連……上海……香港……シンガポール……コロンボ……アデン……ポルトサイド……ロンドン……アントワープ……ハンブルグ。

第二章 露 西 亞 (ソヴィエト聯邦)

Russia.

U. S. S. R.

現今露西亞の國號をソヴィエト社會主義共和國聯邦 (Union of Soviet Socialist Republics) と稱し、略してソヴィエト聯邦 (U. S. S. R.) とす。

一 境 域

歐洲の東部を占め、面積四百十萬方呎、實に全洲の半ばに近い。(アツカロシヤを合すと二千百萬方呎)

東……ウラル山脈でシベリヤに、ウラル河で中央亞細亞に接す。

西……フィンランド、バルチック海沿岸諸國、波蘭、ルーマニヤに隣接。

南……黒海及び裏海。

北……北氷洋。

二 地 勢

1 山系と平野 ロシヤは全域に亘つて大平原で所々に丘陵が起伏するだけである。

①ウラル山脈 (Ural Mts)……東境を南北に連互し、著しく侵蝕を受け、低平で丘陵の觀がある。

②バルダイ丘 (Valdai H.)……國の中央より稍々西北に偏し、東西に連る一大丘陵。海拔約三百米、諸川の分

水界をなす。

③裏海沿岸の低窪帯……裏海沿岸地方には地中海面以下の廣大なる窪地があつて、氣候乾燥し、草原をなす。

④黒土帯……ボルガ河以西の南ロシヤは豊沃なる黒土層 (Black Soil) より成り肥沃なる農産地である。

⑤森林帯……國の中央に大森林があつて良材を出す。

⑥凍土帯……北氷洋岸地方は年中の大部分凍結し、蘚苔類を生ずるのみ。

2 水系主なる河川はバルダイ丘 (Valdai Hill) を水源地として諸方に流れる。併乍分水界が低いため上流に至るまで水緩かで船運の便がよく、且つ運河を以て諸河の上流を連絡してゐるから、黒海及び裏海よりバルチック海及び白海に出ることが出来る。冬季河川結氷の際は良好の鐵道となつて交通便利。

①河 川

イ北 氷洋斜 面……ペチョラ河 (Pechora R.) ヌビナ河 (Dvina R.)

ロバルチック海斜 面……ネバ 河 (Neva R.)

ハ黒 海 斜 面……ド ン 河 (Don R.) ヌニホフナ河 (Dniepr R.)

ニ内 陸 斜 面……ボルガ河 (Volga R.) ウラル 河 (Ural R.)

②湖 沼 湖沼は西北部に多く、ラドガ (Ladoga) オネガ (Onega) の二湖は歐洲著名の大湖。

③海 岸 面積の廣大なるに比し海岸線は頗る短かく、主要港灣は多く冬季氷結するが故に不便。

④白 海 (White Sea)……年中大部分が氷結。

主なる海灣
フィンランド灣 (Finland G.)……冬季氷結。
黒海 (Black Sea) クリミア半島 (Crimea P.) アゾフ海 (Azov Sea)
カスピ海 (Caspian Sea)

三 氣候 土地廣大、地勢極めて單調であるから北風、南風自由に往來し、且つ海岸が遠いから寒暑の差が甚だしく、雨量一般に少く、大陸性の氣候を帯びてゐる。殊に北氷洋は冬寒酷烈で凍土帯 (Tundra) をなす。又東南部カスピ海岸は乾燥の結果草原をなす。

四 産業

1 農業 農を以て國家根本の生業とし、國民の約八割は之に従事する。ボルガ河以西の地方に横はる大平野は、一帯が黒土層から成り(黒土帯と呼ぶ)土地肥沃で數十年も肥料を施さず多量の穀物を收穫し得る天恵がある。之を要するにロシアは世界大穀倉の一であることを記憶せよ。

小麥、燕麥…北米と首位を競ぶ。
主要 黒麥、大麥…世界第一位。
農産 亞麻、大麻…世界需要の大部を出す。
甜菜、罌草、馬鈴薯の産額も著しい。

大麥年産額比較	小麥年産額比較
ロシア：世界の三十一%	ロシア：世界の十七%
北米合衆國：世界の十二%	北米合衆國：世界の十八%

2 牧畜業 南部地方を主とし、其の他の地方にも馬、牛、羊の飼育が盛んで、羊毛、生皮の輸出が多い。

3 林業 中部以北には針葉樹の密林があつて盛んに材木を出す。森林は全土の三分の一を占む。主要林産物…松、樅、檜。

4 鑛業
①金、白金等貴金屬寶石類…ウラル山中。
②石炭、鐵鐵…ウラル山地、中部及び南部地方。
③岩鹽…南部地方。

5 工業 工業は中部及び西北部に發達してゐるが石炭、水力が十分でないから他國に比して遜色が著しい。
①製鐵工業。 ②紡績工業。 ③染色工業。 ④製粉工業。 ⑤製革工業。
6 商業 商業は主として定期市(年市)にて行はれ歐亞大陸の商人來集し商業頗る盛大。ボルガ河の上流ニジニノハラフ (Nijninogorod) を首位とす。外國貿易は穀物、麻、木材、皮革を輸出し、機械、綿、茶を輸入する。

五 交通

1 陸上 河川、運河の船運がよく、水路國內を縦横、冬期氷結すれば橋道となる。橋道はモスコー及びレニングラードを中心とする。シベリヤ鐵道はチエリヤピンスクを、中央アジア鐵道はオレンブルグをそれぞれ起點として亞細亞に通じ、歐亞交通の大幹線をなす。

2 海上 冬期氷結するを以て海上交通は頗る不振。黒海方面にはオデッサ、バルチック海方面にはレニングラ

六 住民

1 ドがあつてそれ／＼海上交通の中心をなしてゐる。

1 人口 一億餘、面積廣大なるが故に密度は少なく我が國の五分の一（一方軒二十五人位）である。

（アジアロシアを合すると一億五千萬人、平均一方軒三人）

2 種族 住民の大部はスラブ族で、東部及び北部には亞細亞から移住した土著民族、猶太族が住居する。爾來ロシアのスラブ族は左の如く三つに分れてゐる。

○大ロシア人……中部北部に住し最も優勢。現今露西亞社會主義ソグイエト聯邦共和國（ロシア本國）を建つ。

○小ロシア人……主として西南部に住し現今ウクライナ國を建つ。

○白ロシア人……主として西部に住し現今白ロシア國を建つ。（白ロシア人は白衣を着るを以てかくいふ）住民の數養足らず、無智の羣衆が多い。特に農民に於て然り。國家の中堅をなす農民斯如くなりとせばいかでかロシア國運の發展を期し得べきぞ。

3 宗教 國民の大部（スラブ族）はギリシヤ教を奉じ、モスコは其の靈都。又回教（トルコ族）猶太教（ユダヤ人）も行はれる。

七 政治

1 國號……ソグイエト社會主義共和國聯邦（Union of Soviet Socialist Republics）之を略してソグイエト聯邦

又は D.S.S.R. とす。

2 ソグイエト聯邦を組織する諸國。

○（之を聯邦ロシア又はロシア本國といふ）ロシア社會主義ソグイエト聯邦共和國……多數の自治州、共和國を含む。首府モスコ。

○ウクライナ社會主義ソグイエト共和國……首府ハルコフ。

○白ロシア社會主義ソグイエト共和國……首府ミンスク。

○（外）コーカサ聯邦……首府チフリス（アゼルバイジャン、ジョルジヤ、アルメニヤ各共和國）

○ウズベク社會主義ソグイエト共和國。トルコマン社會主義ソグイエト共和國……中央アジア。

但し内コーカサ、中央アジアのキルギス共和國及びシベリヤはロシア社會主義ソグイエト聯邦共和國に直屬してゐる。

3 ソグイエト聯邦の政治組織 各共和國は各自獨立に統治機關を有し地方的問題を處置してゐるが、重要政權は聯邦の中央機關に統一されてゐる。左に中央機關に就き大略を説明せん。

○ソグイエト聯邦大會……聯邦最高機關、毎年一回開催され、聯邦内より選出された委員より成り、主なる職掌は聯邦中央執行委員會委員を選出。

○聯邦中央執行委員會……年四回開催、國會に相當する。

○聯邦會議（下院に當る）……六共和國比例代表四百十四名。

○民族會議（上院に當る）……各獨立共和國から均等に五名、各自治州から一名の代表で總じて百名。

八 處 誌

(9) 聯邦人民委員會……中央執行委員會が任命する行政機關で内閣に相當する。政務を各省に分けて處理する。

- 1 レニングラード(Leningrad) フィンランド灣頭ネバ河に跨る。約二百年前ペートル大帝の創建に係り、壯麗なる冬宮、大學、圖書館、舊皇居がある。此の國第一の貿易港。世界大戰前までは首府であつたが、目下衰微す。然れども猶人口二百萬を越える。
- 2 クロンスタット(Kronstadt) フィンランド灣の一小島上に位し、バルチック海艦隊の根據地。
- 3 モスコイ(Moscow) 首府。國の中央に位し、帝政時代には即位式も行はれてゐた。交通の中心をなし、商業が盛んである。市の一部なるクレムリン(Kremlin)は城郭で圍まれて一區劃をなし、堂塔寺院の壯大なるものが多い。
- 4 ニジネゴロド(Nishegorod) 舊名ニジニノゴロド(Nizhni Novgorod) ボルガ河の上流に位し毎年夏季盛大なる定期市が開かれ、歐亞の商人が來集し、取引高は時に二億圓に達す。
- 5 ベルム(Perm) ウラル鑛産地方の中心地。鐵の取引が多い。
- 6 スウエルドロフスタ(Sverdlovsk) 舊名エカテリンブルといふた所、ウラル鑛産地方の一中心地。
- 7 カザン(Kagan) ニジネゴロドの東方にあつて皮革の名産地。
- 8 アストラハン(Astrakhan) ボルガ河口に在つて裏海貿易の最要地で、畜産物、水産物、石油の集散が盛んである。

- 9 チェリヤビンスク(Chejyabinsk) 東境に近くシベリヤ鐵道の起點である。
- 10 オレンブルグ(Orenburg) 中央アシヤに近く、國の東南に位し、中央亞細亞鐵道の起點。
- 11 サマラ(Samara) ボルガ河の中流に臨み、オレンブルグ及びチェリヤビンスクに至る鐵道の分岐點に當り亞細亞との貿易が盛である。
- 12 アレクサンドロフスク(Alexandrovsk) コラ半島の北岸にある不凍港。大戰以來發達して外國航路の衝に當る。
- 13 アルハンゲルスク(Archangelsk) 白海に臨み、ドビナ河口に位し木材の輸出が多い。
- 14 キエフ(Kiev) ドニエプル河の中流に臨み、古來宗教、文藝を以て著はれ聖市(Holy city)の稱がある。製革業、製糖業が盛である。
- 15 ハルコフ(Khar'kov) ウクライナ共和國の首府。附近に有名なる炭田(ドネツ炭田)がある。商工業盛大。
- 16 オデツサ(Odessa) ウクライナに於ける大開港場。背後なる黒土帯の門戸に當り、穀物の大輸出をなす。
- 17 ニコライエフ(Nikolayev) オデツサの東方、黒海岸に近い。ブク河口に臨み穀物の輸出港。
- 18 アヒアル(Achiar) 舊名セベストポール。クリミア半島南端に位し軍港。黒海艦隊根據地。クリミア戦争の古戰場として著名。
- 19 ミンスク(Minsk) 波蘭の國境に近く、白露西亞共和國の首府。

世界地理

- | | | |
|---|---------------|-----------|
| 1 | 歐羅巴露西亞の境域を問ふ。 | (陸士) |
| 2 | ロシアの氣候を記せ。 | (陸士) |
| 3 | ロシアの住民に就て記せ。 | (東高師) |
| 4 | 白ロシア人に就て記せ。 | (東高師) |
| 5 | ソグイェト聯邦に就て記せ。 | (東高師) |
| 6 | 左の地に就て知る所を記せ。 | |
| | バルダイ丘(海兵) | 白海(海經) |
| | バルチック海(神高商) | クリミヤ半島(高) |
| | ネバ河 | レニングラード |
-
- | | | |
|---|----------------|--------------|
| 7 | ロシアの商港を問ふ。 | (郵電) |
| 8 | ロシアの産業に就て記せ。 | (東高師) |
| | モスコ(日大) | クロンスタット(海經) |
| | セバストポール(高) | オデッサ(廣高師外教校) |
| | キエフ(東高師) | ニコライエフ(水産) |
| | アレクサンドロフスク(陸士) | |
| | アルハンゲルスク(廣高師) | |
| | ニシエゴロド(陸士) | |

第三章 バルチック海沿岸新興國

第一節 フィンランド (Finland)

- 一 地文 ロシアとスカンヂナヴィヤ半島との間に位し、地勢一般に低平で、濕地、荒原が多く、殊に南部には氷河の作用に因つて出来た大小無數の湖沼が散在し、"Lake-country"の稱がある。氣候は冬長く、寒氣が強い。氷河湖にはサイマ湖 (Saima L.) 最も著名。面積三三萬方呎。
- 二 氣候 北緯約六七十度の中間に在つて温寒二帯の境界線は北部を通過する。一般に大陸性氣候。冬季長く、夏季短し。
- 三 産業 牧畜業が盛んで、副業としての牛酪、皮革の産が多い。農産には麥類、馬鈴薯、麻等が名高く、林業の結果、材木、製紙用バルブ、紙等の輸出も盛況。
- 四 住民 人口約三百六十萬。七、八世紀頃東方亞細亞から侵入したといはれるフィン族 (Finns) が大部を占め(約九割)てゐる。此の種族は言語上アジア人種であるが、體質や習俗は四歐風を帯び、新教を奉じ、文化程度の進歩に於てはスラブ族の比ではない。唯北部に住するラップ族 (Lapps) のみは文化なほ幼稚。僅かに遊牧を事としてゐるに過ぎない。

五 政治 世界大戰前ロシアに屬してゐた。併し其の頃から既に憲法、議會を有して自治を許され、露帝を戴いて大公としてゐたが、露人の迫害を蒙るのに不平の念を抱いてゐた。依つて今時の露國大革命を好機とし、一九一九年五月、獨立して共和制を布くに至つたのである。

六 處誌

- 1 ヘルシンクフオールス(Helsingfors) 首府。フィンランド灣に臨む。港内に砲臺がある。商業、軍事の要港。市街整然、良材の輸出盛大。
- 2 オーボ(Abo) 舊都で木材の輸出に富む。

第二節 バルチック諸國(Baltic States)

一 エストニア(Estonia)

- 一 地 文 北はフィンランド灣を距ててフィンランドに對し、南はラトヴィヤ(Latvia)に接し、西はバルチック海、東はロシアに隣接。土地低平で山岳と稱すべきものがない。面積四萬七千方料。
- 二 人 文 一九二一年初めて獨立を承認された共和國。人口百十二萬。大部分は亞細亞人種の血統をうけてゐるエストニア人。多く新教を奉じ、亞麻・木材・肉類を輸出し、大いに新興國の努力をなしてゐる。

三 處誌

- 1 ハルジウ(Helsinki) 舊名レゲアルはフィンランド灣頭に臨み、首府、貿易港。

二 ラトヴィヤ(Latvia)

- 一 地 文 土地極めて低平。最高二百米。西部にリガ灣(Riga)があつて、國を貫流するヂウナ河(Duna)が之に注ぎ、土地肥沃、農産に富む。特に建築用材が著名。レッドウッドは世に定評がある。次いで亞麻・泥炭を産する。面積約六萬六千方料。
- 二 人 文 人口百八十七萬。歐羅巴北方種族に屬するレット人(Lets)が八割を占む。一九二一年初めて承認せられた共和國で、水陸の交通至便。

三 處誌

- 1 リガ(Riga) 首府。リガ灣に臨み、良港で、麥類、木材、亞麻、獸脂を盛に輸出する。

三 リスアニア(Lithuania)

- 一 地 文 北はラトヴィヤ、南及び東は波蘭、西はバルチック海。土地低平、ニーメン河が南部を流れ土地肥沃、農産に適し、域内は殆んど耕地である。主に麥類・馬鈴薯・亞麻を産する。また副業として蜜蜂の飼育が盛である。面積五萬六千方料。

二 人文 一九一八年獨立宣言、共和國を建て承認された。住民は歐羅巴北方種族に屬するリスマニヤ人が大部を占む。國民性沈着にして快活、主として新教を奉ずる。人口二百八十五萬。

三 處誌

1 ヴィルナ(Vilna) 舊名コヅノ、首府。古城、堂院の見るべきものが多い。

四 波蘭 (Poland)

一 地文 露・獨兩國の間に位し、南境にカーパシヤ山脈が連互するけれど、大部分は北歐大平原の一部に屬し、ウイストラ河(Vistula R.)が國內を貫流。土地肥沃。面積三十八萬八千方杆。

北……リスマニヤ、獨領東プロシヤ、バルチック海。 南……チエツコスロバキヤ。
東……ソグイェト聯邦。 西……獨逸。

二 氣候 大陸的で、平均温度六度乃至八度。我が北海道と大差なし。

三 産業 平野廣く、而て肥沃、故に農業が最も發達してゐる。

1 農産……麥類(黑麥、大麥、燕麥、小麥)、馬鈴薯、甜菜、麻。 2 畜産……羊、馬。

3 林産……材木 歐洲有数の林産國、材木の輸出多し)

4 礦産……石炭(オーデル河上流) 石油(カーパシヤ山麓) 岩鹽。

5 工業……製鐵、亞鉛の製鍊(炭田地方) ロツの綿工業。

四 住民 大部分はスラブ族に屬するポール人(Poles)であるが露・獨人や猶太人も少なくない。多く舊教を信するが、他の教徒も混じてゐるから、兎角國民思想、感情が融和しない。人口約二九五〇萬。

五 政治 我が足利時代の頃は東方の強國と稱せられたが、今から百二十年程前、露西亞・墺地利・普魯西の三國に分割され、爾來久しく強國の壓制に苦んでゐた。然るに世界大戰の結果再び復活して共和制を布いた。

六 處誌

1 ワルソー(Warsaw) 首府。ウイストラ河の左岸にあつて商工業盛に行はれ、製鐵、機械、皮革等の産多し。市街の外観は西歐都市に似た所があるので『波蘭の巴里』と稱せられる。舊王宮、我が公使館等がある。

2 ロツ(Lodz) ワルソーの西に位し綿工業が盛に行はれ、『Manchester of Poland』(波蘭のマンチエスター)と稱せられる。

3 ポーゼン(Posen) 國の西境に位し農産物の集散地。

4 クラカウ(Krakau) 國の南部、ウイストラ河畔に臨む要港市として著名。

5 ウィーリツカ(Wieliczka) クラカウの東南山地にあつて岩鹽の産が多い。

五 ダンチツヒ自由市 (Danzig Free City)

- 一 地文 パルチツク海のダンチツヒ灣に臨みウイストラ河の下流に在り、面積一九五〇方軒。
- 二 人文 人口約四十萬(ダンチツヒ市約二十萬、其の附近約二十萬)ダンチツヒ市及び其の附近を合してダンチツヒ自由市となし、國際聯盟が之を管理してゐる。一小獨立國。古來此の地方は琥珀海岸の名を以て知られ、波蘭の保護の下に自由市を建て、來たが、第十八世紀末、波蘭の滅亡と共に獨領となつたが、今時の世界大戰に依つて再び自由市となつたものである。波蘭國唯一の門戸をなす。
- 三 産業 域内には甜菜が多く栽培せられ、穀物石炭材木の産が多し。

(自習問題)

- 1 パルチツク海沿岸の新興國をあげよ。
- 2 左の地につき知る所を記せ。
 ダンチツヒ(廣高師外敷校) ポーランド(廣高師)
 リガ ポーランド
 ロツ
- 3 ダンチツヒ自由市につきて記せ。(東高師外敷校)

第四章 スカンヂナヴィヤ (Scandinavia)

- 一 境域 フィンランドの西北隅から突出してゐる一大半島。半島を縦貫するスカンヂナヴィヤ山脈に依つて瑞典と諾威の兩國を分つ。(瑞典四一〇〇〇〇方軒、諾威三一〇〇〇〇方軒)。

二 地勢

- 1 山系 スカンヂナヴィヤ山脈は西に走り、諾威の西南部に最高峰ガルヘビタ山(Galdhøpig Mt.)をつくる。雪は四時絶えず氷河懸る。
- 2 水系 東側は小流が並走、緩流してボスニヤ灣(Bothnia G.)に注ぐが、所々に急流瀑布がある。東南方面は平野開け、湖沼が多い。西側は高原性で海岸に急斜してゐるので、瀑布の如き奔流の河川が多く、また絶壁に懸る飛瀑の絶景も多い。
- 3 海岸 ボスニヤ灣及びバルチツク海沿岸は單調であるが、諾威の海岸は出入多く、所謂峽灣(Fjord)をなす最も大なるものはハルダンゲル峽灣(Hardanger F.)、ソーネ峽灣(Sogne F.)。

峽灣(Fjord)……水河の活動時代に水河のために浸蝕されて出來た深谷が、後世土地の沈降に因つて海中に没し、海水の浸入に依つて河川の如き細長い灣入となつた。これを峽灣(フイヨルド)といふ。幅は狭いが水深く、兩岸は絶壁をなす。諾威の海岸に最も著しく、カナダの西岸、スコットランド(英吉利の北)

三 氣候

- 1 西岸……諾威の海岸はメキシコ湾流の影響をうけて温暖、雨量多し、北部海岸も結水を見ず。
- 2 東岸……スカンヂナヴィヤ山脈に依つて、西岸の濕氣を遮られ、またロシア大陸の影響をうけるので寒氣厳しく、ために河川、海灣の結水を見る。雨量は西岸に比して著しく少い。
- 3 北部……スカンヂナヴィヤ半島はロシアの北部、フィンランドと共に相當高緯度の地であるから冬、夏によつて晝夜の長短の差が甚だしい。殊に北部に於ては最も著るしく所謂『夜半の太陽 (Midnight Sun)』『極光 (Aurora)』を見せ。

にも之を見る。

夜半の太陽……晝夜の長短は高緯度に至に従つて太きい。そして極の附近では半年が晝で半年が夜の世界となるのだ。所が世界最北の都會ハンメルファスト(諾威)に於ては夏三ヶ月(五月―七月)が晝で冬三ヶ月(十一月―一月)が夜である。だから夏三ヶ月に於ては、吾人の夜半にも太陽は燦然として輝く。之を世人は夜半の太陽と名附けたのである。

極光……地球兩極上の空氣稀薄なる所に太陽から射出された電子(デンシ)が眞空放電をなすために起る奇異の彩光である。永夜の時に現はれ頗る美觀を呈す。

四 産業

- 1 諾威の水産……諾威近海は世界三大漁場の一。ロフォーデン諸島附近の鱈。ベルゲン附近の鱈が最も著名。肝油(鱈より製す)鱈油の産が多い。
- 2 水力利用の工業……水力が豊富であるから、之を利用して製鐵、製紙、製材等の工業が勃興しつゝある。
- 3 海運業……諾威は汽船の数が甚だ多く、世界屈指の海運國である。

五 住民 住民の大部はチュートン族で新教を奉ずる。嘗て大西洋上に雄飛したノルマン族(Norman)の子孫である。北部に小數のラップ族(Lapps)が住む。

瑞典……六一〇萬
諾威……二八〇萬

イ一般に勤儉の美風がある。
ノル國人 口諾威人は海事に長じ、多く船員を出す。
の特性 ハ體育を重んじ『瑞典式體操』世に著る。

ニ冒險の氣象に富み、多くの探検家を出す 西蔵探検のスウェン・ヘヂン(Sven Hedin)……瑞典人。
南極探検のアムンゼン Amundsen……諾威人)

六 政治 もと丁抹と共に三國が合同して一王國を成してゐた。然るに百年以前、丁抹が分離したので、兩國は丁抹王子を戴いてゐた。然るに近年に至つて兩國もまた分離し、各々立憲王國となつたのである。

七處誌

瑞典の部

- 1 **ストックホルム**(Stockholm) 瑞典の首府。バルチック海に面し数個の島上に跨る。風光明媚市街清麗『北方のベニス』と稱せられる。観客多く、商工業盛大。我が公使館の所在地。
- 2 **ウプサラ**(Uppsala) ストックホルムの北方にあつて古來有名なる大學がある。
- 3 **ゲーテボルグ**(Göteborg) カテガット海峡に臨む開港場。木綿工業が盛で、木材、燐寸、バルブ等の輸出が多い。

諾威の部

- 4 **オスロ**(Oslo) 諾威の首府。舊名クリスチヤニヤ。風光明媚、木材の輸出が多い。
- 5 **ベルゲン**(Bergen) 世界第一の漁港。西海岸に位し、漁期には漁船輻輳す。漁類の輸出が多い。
- 6 **トロニエム**(Trondheim) 舊都。戴冠式の舉行地。水産物の取引が行はれる。
- 7 **ナルvik**(Narvik) 前面にロンオデン諸島が横はる所にあつて、瑞典の鐵礦輸出港。
- 8 **ロフォデン諸島**(Loföjen) 附近は世界屈指の漁場で鱈の産多し。
- 9 **ハンメルフェスト**(Hammerfest) 世界最北の都會。漁港で捕鯨船が多く輻輳する。五月より七月までは永夜十一月より一月までは永晝。夜半の太陽、極光を以て世界に著る。

10 **北緯**(North Cape) 歐洲の最北端。夜半の太陽を見るために來る者が多い。

自習問題

- 1 **バルチック海**に面する商港を問ふ。(廣高師)
〔解答〕 ストックホルム。ヘルシングフォールス(ヘルシンキ) レニングラード。リガ。ケーニスベルグ。ダンチツヒ。ステチン。リニウベック。コペンハーゲン。
- 2 諾威人が古來海事に堪能なる所以を問ふ(小樽高師)
〔解答〕 (一) 土地山地多く、陸上の生業に乏しいから海上發展を餘儀なくされること。
(二) 祖先たるノルマン人は古來海上に發展したので其の影響を受けてゐること。
- 3 **峡灣**(Fjord) (東高師)
- 4 **スカンディナヴィヤ半島**の東西兩斜面の地勢上の相違。

東斜面	西斜面
① 緩傾斜。東南に小平野あり	山脈海に迫り急傾斜
② 河流緩。所々に瀑布あるに過ぎず	河流急。瀑布をなし直ちに海に入る。
③ 海岸線短し	海岸線長し、フィヨルド式海岸
④ 海岸に島嶼少し	海岸に島嶼羅列す。

- 5 瑞典、諾威の政治及び住民に就て記せ。(高)
- 6 左の地に就て知る所を記せ。
ゲーテボルグ(陸士) オスロ(東高師)
ハンメルフェスト(専檢) ベルゲン(東高師)
ストックホルム(海機) ロフォデン諸島(水産)

第五章 丁 抹 (Denmark)

アイスランド (Iceland)

(一) 丁 抹

一 地 文 ユトランド半島の大部と附近の島嶼とから成り、面積約四萬三千方呎、我が九州よりも大。東及び北はズンド (Sund) カテガット (Kattegat) スカゲラク (Sjæger Rak) の三海峡に依つて瑞典及び諸國に相對し、南は獨逸に隣る。

地帯は甚だ低平。海岸線は著るしく長い。半島の西岸は砂丘及び沼澤が連るので良港はない。國の北方にリーム峽灣 (Limfjorden) があつて半島を横斷する。氣候は温和、夏季には霧が多い。

二 人 文

1 産 業 氣候温和、土地低平なるが故に土地肥沃、農牧を生業とする。殊に牧畜は甚だ盛んで、牛酪、乾酪、煉乳、皮革の産が多く、輸出は莫大、概ね英吉利に送らる。また陶器も此の國の名産。

2 住 民 人口三百五十萬。多くはチユートン族。言語、風俗多くスカンデナヴィヤ人と酷似し、新教を奉ずる勤儉力行の美風がある。

三 處 誌

3 政 治 百年程前、瑞典、諸國、丁抹の合同國から分離して立憲王國を建てた。我が條約國である。

1 コペンハーゲン (Copenhagen) 首府。シエルランド島の東岸、ズンド海峡を扼し、自由貿易港。又磁器の製造が盛んである。

(二) アイスランド

一 地 文 面積は丁抹の二倍。北大西洋中の一大火山島で大ブリテン島 (英吉利) に次ぐ大島。(一〇二〇〇〇方呎) 域内に火山が多く二百五十座を算し、中でもヘクラ火山 (Hekla 一五五八米) が名高い。また温泉に富み、大間歇泉の活動も目覺しい。就中ストロクルが最も著名。島の内部には氷河が多い。海岸には絶壁が多く良港少し。

二 人 文

1 産 業 冬季は氷結するが、メキシコ灣流の結果海岸は稍々温和。土地は瘦せ、農産としては牧草、馬鈴薯。輸出品には家畜、肉類、皮革等である。

2 住 民 人口約十萬。多くはチユートン族で丁抹の移住者から成り、牧畜及び漁業に従事してゐる。

3 政 治 此の地は丁抹の領土であつたが一九一八年獨立して丁抹王を君主に戴くことになつた。

三處誌

1 ライキヤ坪タ(Rykyavik) 首府。

不凍港。商業の中心地。大學の設備がある。

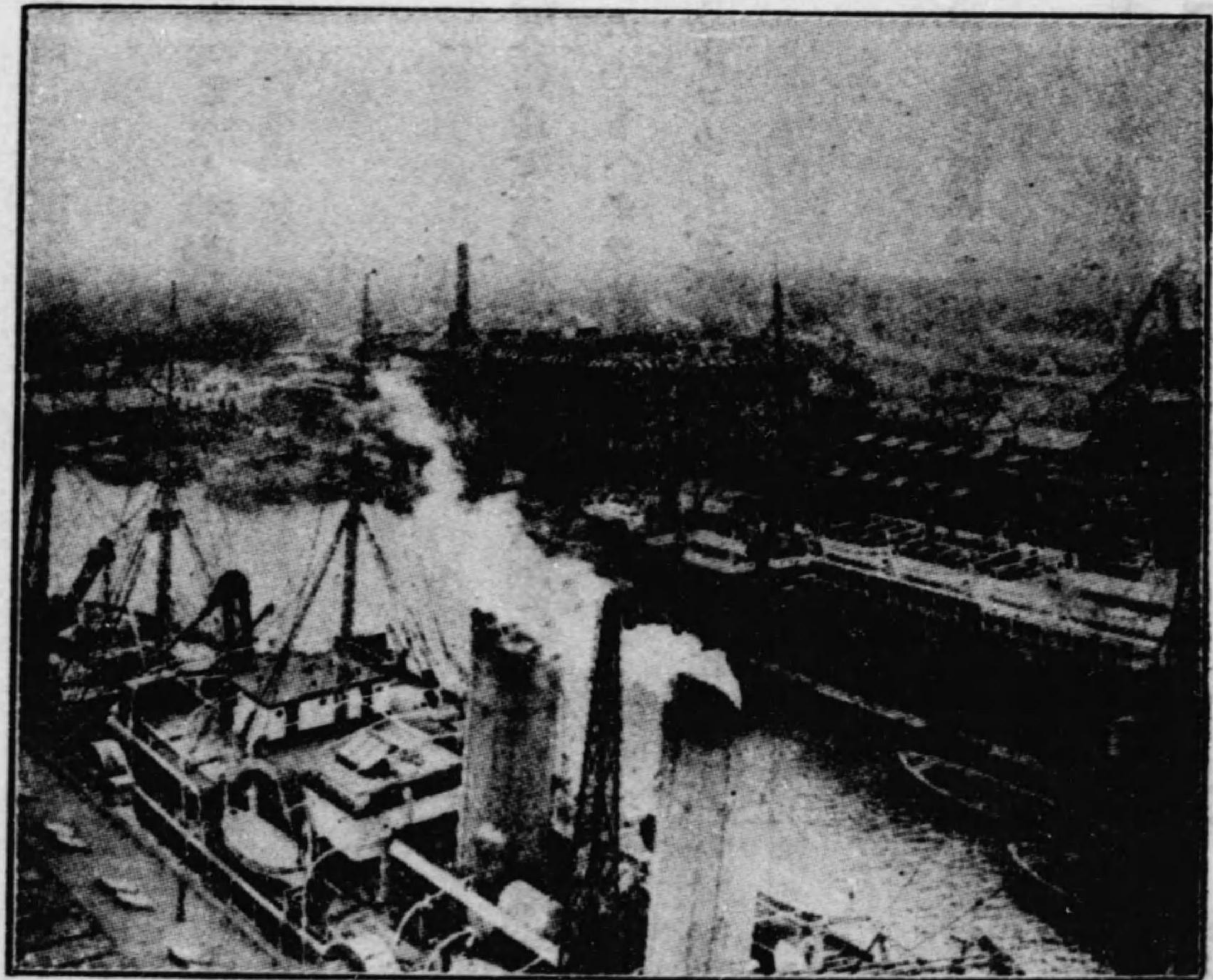
(自習問題)

1 アイスランドの政體と首府を問ふ。(高檢)

2 左の地に就て知る所を記せ。

コペンハーゲン。(海機) アイスランド。(高檢)
リーム峽灣。ズント海峽。

(シゲーハンバコ)



第六章 獨逸

逸 (Deutschland or Germany)

一 境域 歐洲の中原に在つて丁抹・和蘭・白耳義・ルクセンブルグ・佛蘭西・瑞西・奧地利・チェツコスロバキヤ・波蘭・ダンチツヒ自由市等十箇國に境し、北海とバルチック海に臨む。面積四十七萬方軒。

二 地勢

1 山系

(北獨逸平原)

●ハルツ山(Harz Mt) チウリンゲン森(Thuringian Forest) 以北の低き平野。
●往昔氷河の作用を受けた地であるから、氷河の齧らした砂礫が堆積し、氷河湖が散在してゐる。かゝる地であるから地味は肥沃でない。

●北海沿岸は沼澤性、バルチック海岸北東部は長い砂嘴があつて潟を擁してゐる。

●ハルツ山、チウリンゲン森以南の山地。

(南獨逸高地)

●黒森、ノルドチロールアルプス山脈(Nord Tirol Alps) バウリア高地(Bavarian Upland)
●ボヘミア森(Bohemian Forest) ヘルツ山脈(Erz) リーセン山脈(Rieser) スターテン山脈(Sudeten) が連互してゐる。ヘルツ山脈以東は唯國境が山地であるといふにとゞまるが、西部は一帶の高地で所々に小盆地があるに過ぎない。

③ ライン地溝帯(黒森及びボージュ山脈(Vosges)の間のライン河畔は肥沃なる沖積土である。

2 水系 ダニューブ河は東流するが、他は悉く南部の高地に發源し北海又はバルチック海に注ぐ。

① 北海 斜 面(ライン河(Rhine R.)) ウエザ河(Weser R.) ヘルネ河(Elbe R.)

② バルチック海斜面(オーデル河(Oder R.)) ニーメン河(Nemen R.)

③ 黒海 斜 面(ダニューブ河(Donau))

④ ライン河……アルプス山中の氷河に發源し、西南部を北流して和蘭に出で、北海に注ぐ。上流は肥沃なるライン河溝帯を貫流し、中流は臺地の峽流となり、兩崖の材木、葡萄園の間に古城の隠見があつて風光絶佳を極む。バーゼルから下流は數多の支流(モーゼル河・マイン河)を併せ、水運の便よく、各都市其の河畔に連り、農工業盛大を極め此の國の主要部をなす。故に國人之を稱して、父ライン(Father Rhine)と稱して讚美するは宜なる哉。

⑤ エルベ河……源をチエツコスロバキヤ國のボヘミヤ山地に發し、國の中部を貫流して北海に注ぐ。舟運の便がよく、下流にハンブルグの良港がある。父ラインに對して、母ライン(Mother Rhine)の稱がある。

獨逸の國際河川及運河……ダニューブ河。ライン河。エルベ河。オーデル河。ニーメン河。キール運河。

三 氣候 北部は低地、南部は高地なるが故に氣温に大差はない。併し西部より東部は大陸性を帯

び、雨量も少い。バルチック沿岸地方には嚴冬の候凍結する沁がある。

四 産業

1 農業 地味も氣候も良好でないが、國民の研究努力に依つて世界有数の農産國となつてゐる。全土の半數は耕地。住民の三分の一は農業に従事する。

黒麥、燕麥、馬鈴薯……全國一般。

ホップ(Hop) 葡萄……ライン地方。

甜菜……中部地方(甜菜は産額世界第一、甜菜糖を製す)

2 牧畜業 主とし北部の平原に行はれ、牛、馬、羊、豚を養ふ。

3 林業 南獨逸に盛んで、造林の整つてゐることは世界の模範。木材、バルブ等を出す。

4 礦業

① 石 炭 { ライン河下流地方(ルール炭田)サクソニヤ地方(サクソニヤ炭田)シレシヤ地方シレシヤ炭田等の諸炭田があつて其の産額は英、米に次いで世界第三位である。

② 鐵 礦 { ライン河下流地方……世界大戰の結果ザール炭田、上シレシヤの炭田、ローレン鐵礦地を失つたのは一大打撃。

③ 岩 鹽……ハルツ山附近を主とす

④ 加里鹽……同

上) スタツフルトを中心産地とする。

5 工業 有用礦物の豊富なること、科學の進歩、國民の努力とは工業の大進歩を來し、製鐵、機械、造船、染織、紡績、化學工業、製糖、出版業等が大いに振興し、大戰前には世界の大工業國として英米に對峙し、製鐵に於ては先進國たる英吉利を凌駕し、化學工業に於ては世界獨特の稱があつた。戦後一時衰へた之等の諸工業は今や着々と新運を開きつゝ、復興の曉に進んでゐる。

【主要工業と主産地】

①製鐵、機械……………ライン下流のユツセン附近。

②染色織物……………サクソニヤ地方。

③製糖……………マクデブルグ附近。

④鹽 造……………バグリアのミュンヘン附近。

⑤商 業 農工業の發達は強いて商業の發達を促し、外國貿易に於て商品の低廉と堅固は世界に比類なく、大戰前は英吉利に亞ぐ大貿易國であつた。

⑥輸出品……………化學製品、機械、鐵、砂糖、織物等。

⑦輸入品……………穀物、肉類、棉花、羊毛等。

⑧取引國……………歐洲の諸國。

⑨貿易港……………ハンブルグ。フックスハーフェン。ブレイメン。ブレイメルハーフェン。エムデン。リユーベック。ステチン。

⑩造 船……………ハンブルグ。ステチン。

⑪化學工業……………ライン河流域。

⑫時計、樂器、木具類……………バグリア及チューリンゲン森地方。

⑬地方……………ハンブルグ。ステチン。

⑩日獨貿易

獨逸より日本へ……………約一億三千四百萬圓……………鋼、硫酸アンモニア、染料等を輸出。
日本より獨逸へ……………一千三百萬圓。

五 交 通

鐵道の延長五萬六千軒、河道・運河總長一萬二千軒、兩々相俟て交通至便。但し商船噸數は英米に次いで世界第三位であつたが、世界大戰の結果大部分を失つて海運界に一大打撃を受けたが、最近回復の域に向ひ四百萬噸に近い船舶を所有してゐる。(世界第四位)また航空路の開發に努め、最近世界一周航路の試航としてツエツペリン伯號飛行船の世界一周は、列國の驚嘆するところである。

キール運河(Kiel C.)……………バルチック海岸のキールから、ユトランド半島の頸部を横斷して、北海岸エルベ河口のブルンスビウツタル(Brunsbüttel)に至る全長約九十五軒の運河である。之は獨逸が軍事上用ゆる目的を以て一八九五年開通させたのであつた。然るに世界大戰の結果、之を列國の爲めに解放することになつたのである。(國際運河 International Canal)

六 住 民

- 1 人口は六千四百萬。主としてチュートン族に屬す。大部分は新教徒であるが、南獨逸には舊教徒がある。
- 2 大戰前に於ける年々の自然増加は約八十萬(我が國と同じ)であつたが戦後は著るしく減小。
- 3 移民は南北亞米利加に最も多く、其の數約二百五十萬。

七 政治

4 國民の教育制度完備し、大戦前は世界學術の淵源地として、各國より多くの留學生が集つた。我が國の軍事、學術等の進歩も此の國に負ふ所が頗る多い。

5 國民は一般に勤儉、尙武の念が強い。

6 南北國民特性比較

- | | |
|----|---------------------------|
| 北方 | (一) 活動的進歩的で氣象荒し。 |
| | (二) 新教を奉じ、信仰至つて薄し。 |
| 南方 | (一) 人情に富むが、保守的で、進取の氣象に乏し。 |
| | (二) 舊教を奉じ、信仰頗る篤し。 |

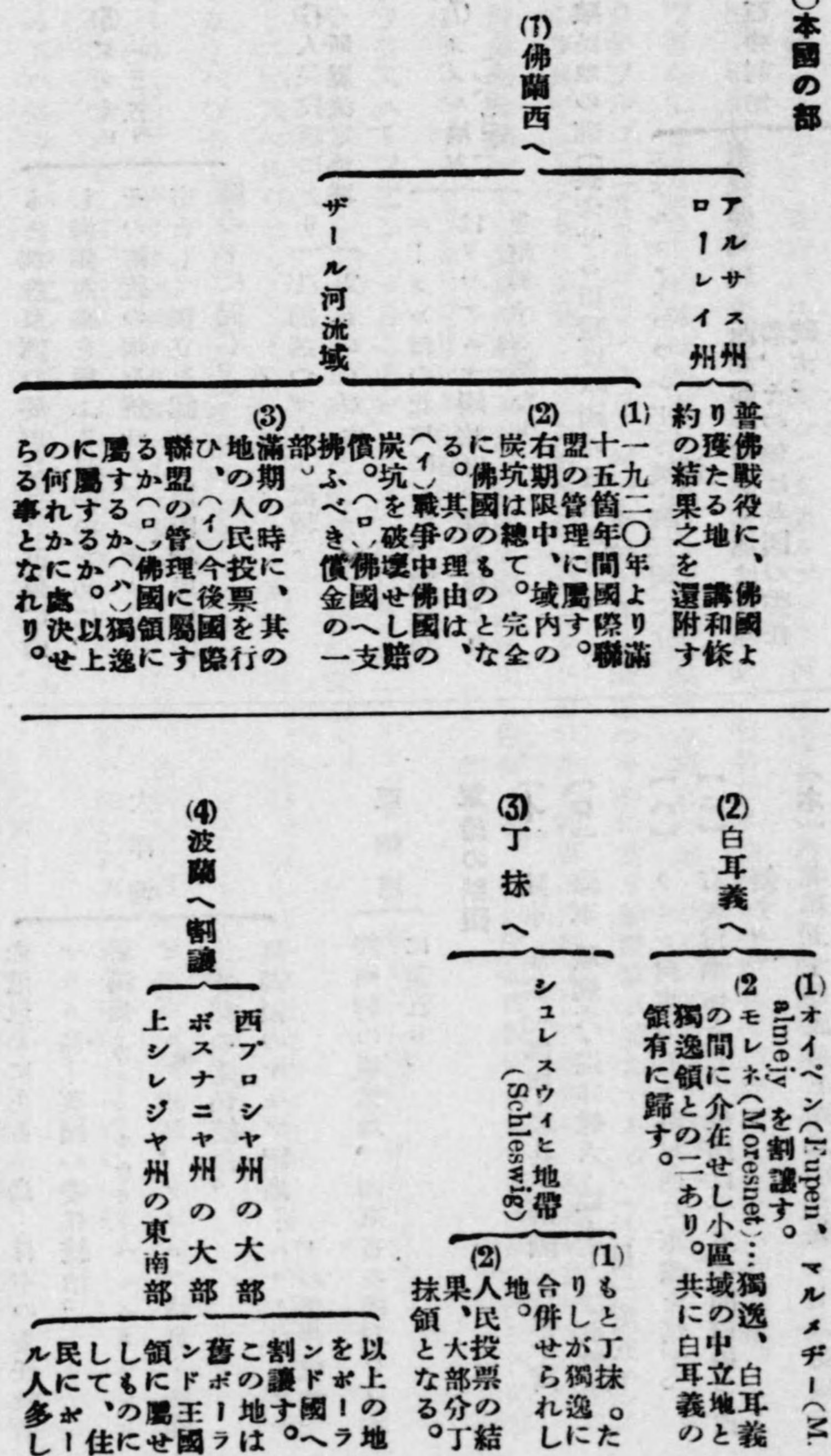
1 大戦前の國勢……以前は數多の小國に分れてゐたが、一八七一年(明治四年)佛蘭西を破り、普魯西、ベヅリヤ、サクソニヤ、ウエルテンベルヒ等二十五國が聯合して獨逸帝國を建設し、普魯西王を皇帝に戴き、又更に佛領であつたアルサス、ローレン(Alsace Lorraine)を皇帝領とし、國勢次第に隆盛に赴き、亞弗利加、大洋洲に大なる植民地を得、強大なる陸海軍を整へて世界に雄飛してゐた。

2 大戦後の統治……世界大戦に一敗地にまみれてから國運は頓に傾き、一九一八年(大正七年)俄に帝政を廢して共和政體を布いた。然るに翌年の講和條約によつて本國に於ては丁抹の面積の約二倍程の面積、人口七百五十萬の地を削減せられ、又悉く海外の領土を失ひ、軍備は制限され、交通産業上にも各種の束縛を受けた。之に仍つて國威は失墜して再び起つことが困難と見られたのであるが、驚くべし!!近時國民の奮闘努力に依つて

目覺しい復興をなしつゝあるとは。

今左に參考のため本國及海外領土に於て割讓したものを列舉せん。

○本國の部



⑤ダンチヒ (Danzig)
もと獨逸東部の要市なり。波蘭に對し海洋通路を與ふる目的のために、その附近の地を併せてダンチヒ自由市として獨立を認め、國際聯盟の保障の下に置く。

⑥人民投票により (1)前述のザール流域。所屬決定地域 (2)上シレジャ。

⑦メメル地方 (Memel)
ニーメン河の北地にして、聯合國はリツアニヤ國政府の確立後これを附與する筈なり。

⑧殖民地の部(喪失せる面積は本國の五倍あり)。

カメルン・トゴランド：英・佛二國に分領。
東亞弗利加：西北部の僅少の地は白耳義、その他は英國の委任統治。
西南阿弗利加：南亞弗利加聯邦の委任統治。

大洋洲

赤道以北にある小島：日本の委任統治ナウル島：英國の委任統治。舊獨領カイゼルウイヘルムスランド、ビスマルク諸島、ソロモン諸島：濠洲聯邦の委任統治。

舊獨領のサモア諸島：ニュージーランドの委任統治。

亞細亞 膠州灣の租借地、山東省の權利を日本に譲れり。

軍備の制限

〔イ〕陸軍 歩兵七師團・騎兵三師團(兵員十萬)

〔ロ〕海軍 戦艦六・巡洋艦六・驅逐十二・水雷十二(兵員一萬五千)

〔ハ〕ライン河東方五十軒以西に軍備を禁ず。

〔ニ〕右履行準備として佛國は十五年間同線を占領す。

〔ホ〕北緯五十四度同五度東經九度一十六度線にも軍備を禁止す。

〔ヘ〕キール運河を開放す。

八處誌

1 柏林(Berlin) 首府。エルベ河の支流スプレー河(Spre)に跨り、舊獨逸帝國、普魯西王國の首都であつた所。市街壯麗を極め、交通、商業、學術の大中心地。有名なる柏林大學があり、我が大使館の所在地。

2 ポツダム(Potsdam) 柏林の西南方に位し、舊獨逸皇帝の離宮の地。林泉の勝を以て聞ゆ。

3 マクデブルグ(Magdeburg) エルベ河の中流、甜菜栽培の中心に當り製糖業が盛んである。

4 ハンブルグ(Hamburg 漢堡) 三自由市の一、エルベ河口から約百二十軒上流の開港場。築港の設備がよく、内外航路を集中し、貿易の盛なること歐洲大陸諸港中に傑出する。我が總領事館がある。漢堡亞米利加汽船會社(Hamburg-American Line)の根據地。

5 クツクスハーフェン(Cuxhaven) エルベ河口にあつてハンブルグの外港をなし商況が盛んである。

6 ステツチン(Stetin) オーデル河口の商港で、造船業盛大。

7 ケーニヒスベルグ(Königsberg) 東プロシヤ重要な港で、穀物、材木其の他の物産の輸出が多い。

8 リューベツク(Lubeck) もと獨逸聯邦帝國三自由市の一。バルチック海岸の主要貿易港。

9 キール(Kiel) キール運河の起點、もと軍港であつた所。造船業が盛んである。

10 ヘリゴランド島(Heligoland) もと要塞のあつた所、大戰の結果軍事的施設撤廢して面目一新。

11 ウィルヘルムスハーフェン(Wilhelmshafen) 北海岸の軍港。

12 ドレスデン(Dresden) エルベ河の上流に臨む。美術と工藝を以て著はれ、世界の名畫を蔵する畫堂がある。

13 附近のマイssen (Meissen) からは美しい陶器を産する。
 14 ゲムニッツ (Chemnitz) フレメンランの西南に位し綿織物、毛織物の機業が盛んである。
 ライプツヒ (Leipzig) フレメンランの西北に當り、學術、工業の盛んなる所。有名なるライプツヒ大學のある所
 また出版業は世界第一と稱せられる。

15 ワイマル (Weimar) チューリンゲン地方の主邑。獨逸共和國憲法の制定地として知らる。
 16 プレスラウ (Breslau) オーデル河上流、シレシヤ地方の中心市場で、農産物の集散が多く、工業亦盛大。
 17 プレーメン (Bremen) 三自由市の一、ウエーセル河下流の商港で貿易盛大。北獨逸ロイド會社 (North German Lloyd) の在る所。

18 プレーメルハーフェン (Bremerhaven) ウエーセル河口に位す。プレーメンの外港。
 19 ハンノーバー (Hanover) ウエーセル河の上流にあつて甜菜製糖業の盛んなる所。
 20 エムデン (Emden) エムス河口に位する軍港で各地交通の要衝に當る。
 21 マインツ (Mainz) マイン河とライン河の合流點に位し形勝の地を含む。

22 フランクフルト (Frankfurt) マイン河に臨み水陸交通の要地。商業盛大。大商店櫛比す。
 23 スツトガルト (Stuttgart) もとウエルテンベルヒ王國の首都たりし所。工藝品を出す。附近には數多の葡萄園がある。
 24 ラインラント (Rhinland) ライン河下流にある普魯西^{プロシヤ}の一地方で、和蘭、白耳義、ルクセンブルグに境する

25 此の地方は人口最も稠密でルール炭田を控へ、多くの工業市を含む。エツセン、クレーフエルド、アーヘン、ケルン等は、みな著しい工業市である。

26 ルール地方 (Ruhr) ライン河の支流ルール河流域を稱する。ルール炭田があつて工業盛大。エツセン及びデユツセルドルフ等は名高い工業市である。
 27 エツセン (Essen) 附近にルール炭田があり、また鐵礦の産地を控へてゐるので製鐵工業が盛大。世に名高いクルップ製鐵所があつて兵器を製出する。

28 クレーフエルド (Crefeld) ライン河の左岸にあつて、絹織物の盛んなること佛蘭西のリヨンに次ぐ。
 29 デユツセルドルフ (Dusseldorf) ライン河の右岸に位し羊毛工業が盛んである。
 30 ケルン (Köln, Cologne) ライン河畔中最も繁盛なる河港で、鐵道亦四方に通ずる。市に壯大なる大寺 (ゴシック式建築) がある。其の高さ約百二十五米。

31 ニュールンベルヒ (Nürnberg) 鉛筆、玩具、樂器等の工藝品を以て著はる。
 32 ウルム (Ulm) ダニューブ河畔に位し、水陸交通の要地。ダニューブ河はウルム以下を國際河川とする。
 33 ミュンヘン (München) もとバヴリヤ王國の首都。ミュンヘン麥酒の製造を以て名高く、又有名なるミュンヘン大學、畫堂がある。商業の繁盛なる所である。

(自習問題)

1 獨逸と境を接する列國及び其の首府を問ふ。(海棧) 一 2 ライン河に就て記せ。(高)

- 3 ライン河に沿ふ重要市三つ以上をあげ、各々其の特徴を記すべし。(海 機)
- 4 エルベ河畔の大都會及び其の概況。(名古屋高女)
- 5 獨逸の略圖を描いて境を接する國を示せ。(海經)
- 6 獨逸の地勢を説明せよ。
- 7 獨逸に於ける國際河川及び運河を問ふ。
- 8 獨逸に於ける工業地帯と工業市を記せ。(東商船)
- 9 獨逸の氣候について記せ。(海 機)
- 10 舊獨逸の政治組織を問ふ。(海 機)
- 11 獨逸の主要商港を列舉せよ。(東商船)
- 12 ザール地方に就て記せ。(專 檢)

- 13 甜菜。(廣高師)
- 14 左の地に就て知る所を記せ。
ベルリン(海機) ハンブルク(高專檢外數校)
ケルン(東高師大外語) プレーメン(早稲田高)
キール(高、東外語) エッセン(大外語、陸士外數校)
キール運河(海經) シレシヤ(早稲田高)
ドレスデン(陸士) アルサスローレン(東高師)
ライプチヒ(長高商) クレーフェルト(文檢)
ミュンヘン(高) フランクフルト(郵電)
- 15 獨逸の三自由市をあげて各々につき知る所を記せ。

第七章 チェッコスロバキヤ (Czechoslovakia)

- 一 境 域 歐洲の中央に位し内陸國として十四萬方籽、獨逸・波蘭・ルーマニヤ・奧地利・洪牙利の諸國に包まる。
- 二 地 勢 西北部にボヘミヤ山地がある。其の山地の中央は盆地をなし、土地肥沃、エルベ河貫流して獨逸に出で交通至便。またボヘミヤ山地に對して東南にカルパチヤ山脈が多くの支脈と共に連互する。其の兩高地の間をマルフ河(March R.)が流れ肥沃なる盆地を作つてゐる。
- 三 氣 候 大陸性で寒氣が強い。
- 四 産 業 山地は森林帯をなし、材木・紙を産し、平野は麥類・馬鈴薯・甜菜・ホップを出す。又鐵・石炭・ラヂウム鑛等の鑛産が豊富であるから工業が盛んで、製鐵・製紙・綿絲紡績・毛織物及び麥酒・硝子器・ボヘミヤ硝子・陶器の製産が著名。
- 五 住 民 國民の多數は舊教を信奉する。教育は普及して國民資性勤勉・産業文化に努め、ために産業の發展を促しつゝある。人口約一千四百五十萬。

種 族
 スラヴ族 チェツク人……ボヘミヤ地方。
 スロバツク人……中部のモラビヤ地方。
 ルテーン人……東部カルパチヤ山地に小數住す。

一 チュートン族…ドイツ人…ボヘミア地方に小數住す。

六 政治 久しい間、洪國の治下に屬してゐたが、世界大戰に依つて國家の互解した機に乗じ、民族自決の宿志を遂げ獨立共和國となつた。

七 交通 内陸國であるから海洋を有さない。併乍エルベ河・オーデル河・ダニユープ河の三國際河川に依つて海と連絡し、又ハンブルグ(漢堡)ステツチン兩港に自由港區を租借してゐる。

八 處誌

- 1 **ブラーグ**(Prague) 首府。エルベの河支流モルダウ河に跨り、毛織物、硝子器、陶器の産名高し。市街は古雅で王宮、ブラーグ大學(歐洲最古の大學)我が公使館がある。
- 2 **ピルゼン**(Pilsen) ブラーグの西南に位し、ピルゼン麥酒の産を以て聞ゆ。
- 3 **カルルスバード**(Karlsbad) ボヘミアの西部に位する世界第一の温泉地で歐米諸國の來遊客が多く、温泉は瓶詰にして薬用として世界に輸出す。
- 4 **ブリュン**(Brunn) ボヘミアの東南モラヴィヤ州の主邑。絹、毛織物に名高い。

(自習問題)

- 1 チェッコスロバキヤ國とは何ぞや。(外務)
- 2 チェッコスロバキヤの住民政治に就て語れ。(高資)
- 3 チェッコスロバキヤの租借自由港區所在地を問ふ。
- 4 左の地に就て知る所を記せ。
ブラーグ。(東高師) カルルスバード。

第八章 奧地利 (Austria)

[附] リーヒテンシュタイン (Liechtenstein)

一 境域 獨逸・チェッコスロバキヤ・洪牙利・ユーゴスラビヤ・伊太利・瑞西の諸國に包まれた内陸國で面積約八萬四千方呎。

二 地勢 アルプス山脈の東部に位し、地勢峻峻にして連峰連る。高山には氷河を懸く。東北部にダニユープ河が流れ、此の方面は低地狀をなしてゐる。

三 産業

- 1 農林業…耕地が少なく、山麓地方から穀物、葡萄を産する。森林廣く良材多し。
- 2 牧畜業…山間到處、牧牛が行はれ牛酪、乾酪の産が多い。
- 3 鑛業…山地に鐵、鉛、岩鹽等が出る。
- 4 工業…葡萄酒。製鐵。

四 住民政治 人口約六百七十萬。多くはチュートン族で獨逸語を用ゆ。もとチェツク・スロバツク、ポーランド人、ユーゴスラフ等の諸民族を糾合して洪牙利と共に奧洪國を組織し、獨逸と同盟して覇を中歐に唱へてゐたが世界大戰に敗れて、一九一八年には皇帝が退位し、王朝(ハプスブルグ家)

は廢絶した。然るに奥匈國は數多民族を糾合してゐたから、是等の諸民族は民族自決の目的を以て分裂し、チエツコスロバキヤ國・洪牙利國を生じた。依つて奥地利は共和國として今日の弱小國を營むことになつたのである。

(世界大戰の結果奥匈帝國は如何に處分されたか)

- ① 奥地利共和國の成立……………舊奥匈國の西部。
- ② 洪牙利王國の成立……………舊奥匈國の大部。
- ③ チエツコスロバキヤ成立……………舊奥匈國の北部より東部への一帯。
- ④ ポーランドへ割讓……………ガリシヤの一部。
- ⑤ ルーマニヤへ割讓……………東南の一部。
- ⑥ ユーゴスラビヤへ割讓……………南部一帯。
- ⑦ 伊太利へ割讓……………(南チロール。キュスチンランド。ダルマチヤの一小部。

五處誌

- 1 **ウィーン**(Vienna, Wien) 首都。ダニューブ河に沿ひ、美術工藝品の製作に名高く、市街清麗、風俗華美は佛蘭西の巴里に追従し、ウィーン大學、宮殿、博物館が有名。我公使館の所在地。
- 2 **チロル**(Tirol) 此の國の南部より、伊太利の北部に亘る山地。

瑞西・奥地利兩國間に介在する一小侯國。住民は主としてゲルマニー族でカトリック教を信ず。人口約一萬二千。面積百六十軒農業を事とする。獨立の君主政體である。

(自習問題)

- 1 舊奥匈國の住民に就て記せ。(東高師)
- 2 チエツコスロバキヤ國とは何ぞや。(外務)
- 3 リヒテンスタインに就て記せ。(海經)
- 4 舊奥匈國の地域は世界大戰後何々の國の領土に分れたるか。(長高商)
- 5 左の地に就て知る所を記せ。
ウィーン。(海機) インスブルグ。

第九章 匈牙利 (Hungary)

一 地文 アルプス及びカルパチヤ兩山脈に抱擁された盆地を全域とし、ダニユープ河及びタイス河(Tisza)が貫流し、面積約九萬三千方杆。氣候は大陸性で寒暑共に烈しく雨量は少い。中部にはプスタ(Pusta)と稱する草原がある。

二 産業 國內は平野が廣く地味肥沃であるから、水利の便ある地には農業がよく開け、麥類・玉蜀黍・甜菜・葡萄等の産が多い。牧畜には牛羊豚の飼育が盛んで、プスタの草原は牧畜の中心である。故に輸出品としては穀物・家畜・肉類・卵・皮革を主なるものとする。

三 住民 人口八百五十萬。主として亞細亞人種に屬するマジヤール族(Magyar)で二千年前ウラル山地から移住して土着したものである。舊教を信ず。言語風俗は東洋風であるが、永年の雜婚の結果、體格、容貌等は頗る白人種に類似してゐる。

四 政治 久しく墺地利と合同して帝國を形成してゐたが、一九一八年(大正七年)分離して共和政治を布き近時王政に革めた。世界大戰の結果北部をチエツコスロバキヤに、西南の大部をユーゴースラビヤ國に割譲し、東南部なるトランスシルバニヤ地方をルーマニヤ國に割いたので、其の境域は頗

る狭いものとなつた。

五 處誌

1 ブダペスト(Budapest) 首府。ダニユープ河に跨る清麗なる都會。商業、交通の大中心地。製粉業が盛んである。

(自習問題)

1 洪牙利(匈牙利)の首府及び之を貫流する河を問ふ。
(海 經)

2 マジヤール族に就て記せ。(東高師、東外語)
〔解答〕 匈牙利國を形成する主要住民で、人口約八百萬。此の種族の故郷は中央亞細亞で土耳其族に屬するものであるが移動を起し、一時ウラル河、ボルガ河の下流域に止まつて遊牧をしてゐたが、其の後、西南方面に移動して、遂に今より一千年前此の地方に入つて土着したものである。



第十章 瑞

西 (Switzerland or Suisse)

一 地文 佛蘭西・獨逸・埃地利・伊太利の四國の間に介在する山國で、面積約四萬一千餘方籽、我が九州と殆んど相等し。南部はアルプス山脈、東西に走り、高峰山脈の上に聳え四時雪を戴き、壯景極りなく、併も大小無數の氷河懸り、佳景を扶け真に天下の大公園。

1 山系

①アルプス山地(The Alps) アルプス山脈は南午を領し、山勢最も峻峻。ユングフラウ(Jungfrau)ローザ(Rosa)マッテルホルン(Matterhorn)等の高峰、四時白雪を戴いて連立し、至る所氷河懸る。

②中央高原 (The Central Plateau) 國の中部は一帯の高臺地で、都邑多く發達し、此の國の主要部をなす。

③ジュラ山地(The Juras) 西北境にジュラ山脈連り、佛蘭西、瑞西の國境をなす此の山脈は石灰岩より成り、カルスト(Karst)の地形を呈する所が多い。

2 水系 此の國は歐洲河川の源をなす所で、サンゴタルド峠を分水界として東西に流通する。

①ライン河(Rhine R.) 東北なるボードン湖(Boden See)に出で、再び流れ出てアール河(Aar R.)と合して獨逸に入り、北海に注ぐ。

②ローヌ河(Rhone R.) 此の河は西流してジュネーブ湖(L. of Geneva)に入り、佛蘭西に出で、地中海に注

ぐ。

③湖沼……ジュネーブ湖、ボードン湖、チューリッヒ湖(Zurich)ルツホルン湖(Luzern)ニューシヤメル湖(Neuchatel R.)等があつて山容の美と相和し風光絶佳。

二 産業 耕地は少なく牧畜業のみ盛んで食料品の主なるものは外國に仰ぐ。牛酪・乾酪・煉乳の産が多い。鑛業は地勢上不振であるが、水力を利用して活動する諸工業は夙に發達し、精巧なる時計・絹布・化學製品を出す。(我國へも時計、モスリン、煉乳を輸出する)

三 交通 山脈四圍を繞るが、鐵道は其の間を縫ふて發達し、交通至便。特にアルプス山脈中の長隧道シンプロン(Simplon)は全長二十籽、世界第一と稱せられる。第二をサンゴタルド(St Gotthard)と稱し全長十六籽ある。その他大小の隧道を以て交通を便利にしてゐる。

四 住民 人口約四百萬。多種多様の種族を包有してゐるが就中獨逸人、佛蘭西人、伊太利人が最も多い。故に公用文には獨・佛・伊の三國語を用ひてゐる。宗教は新・舊二教が行はれ、國民性は一般に尙武勤勉である。

五 政治 二十二州から成る聯邦共和國で、大統領の任期は一年、常備軍の設備なく、永世局外中立國である。各州は皆憲法を有し、内政を異にする。我が條約國。

六 處 誌

- 1 ベルン(Bern) 首府。アール河に跨り、我が公使館及び萬國郵便電信事務局がある。
 - 2 ジュネーブ(Geneve) 國の西南隅、ジュネーブ湖口にあつて風光明媚、觀光客が多い。有名なる時計の産地。萬國赤十字社本部、國際聯盟本部の所在地。我が領事館がある。
 - 3 チューリッヒ(Zurich) 同名の湖面に沿ひ風光絶佳。絹、綿織物及び化學工業が盛んである。
 - 4 バーゼル(Basler) 北部に在つてライン河に臨み、絹織、化學製品の産地。
 - 5 ルツェルン(Lucer) 國の中央にあつて風光好く、對岸のリギ山(Mt. Rigi)は登山者が多い。
 - 6 ロカルノ(Locarno) マジョーレ湖畔に在つて觀客の集合地として名高い。また一九二五年にはロカルノ會議(歐洲安全保障會議)が開かれた所。
 - 7 シンプロン(Simplon) 瑞西と伊太利との國境なるシンプロン峠を通ずる世界最長の隧道で全長約二十軒。
 - 8 サンゴタルド(Saint Gothard) 瑞西の南部、サンゴタルド峠にある世界第二の大隧道で全長約十六軒。
 - 9 ローザンヌ(Lausanne) ジュネーブ湖の北岸に位し時計を産す。ローザンヌ條約(一九二三)締結地として有名。
- (自習問題)
- 1 瑞西の住民に就て記せ。(郵電)
 - 2 鐵、石炭に乏しい瑞西に發達せる工業について説明せよ。(高檢)
 - 3 瑞西の政治に就て記せ。
 - 4 左の地に就て知れる所を記せ。
 ジュネーブ(海機外數校) ベルン(廣高師・海機)
 ロカルノ(彦根商) サンゴタルド
 シンプロン(名高工) ローザンヌ(名高商)
 チューリッヒ

第十一章 和

蘭 (Holland or Nederland)

- 一 境 域 ライン河下流一帯を占め、東は獨逸、南は白耳義に界し、北及び南部は北海に面す。面積約三萬二千方軒。我が臺灣に等し。
- 二 地 勢 土地低平、海面以下の地積全土の四分の一。一二八二年、海水氾濫のために今日のゾイデル海(Zeider Zee)を作りフリシヤ諸島を残した。此の諸島は舊海岸線の遺跡である。海岸には天然の砂丘、人口の堤防(Dykes)を以て海水の侵入を防ぎ、また濕地には縦横に溝を掘り、風車又は蒸氣ポンプを以て排水をなし、更に海面を埋立て、ポルダー(新開地 Polders)を作ること努力されつゝある。
- 三 氣 候 西風が強く海洋の影響を受けること甚大。氣候概ね溫和濕潤、濃霧多し。
- 四 産 業 耕地は殆んど全國に亘るので農業が發達し、また園藝に名高い。牧畜も盛んで、牛酪・乾酪・煉乳は良質を以て著はる。近年製糖・醸造の工業が勃興した。特に名高い工業としては造船業及びアムステルダムに於ける金剛石の琢磨がある。此の國は本國こそ小さけれ、廣大なる殖民地を有し自由貿易主義に依つて貿易を行ひ、中繼貿易が殊に盛んである。
- 五 交 通 河川の利用が多く特に運河は世界第一と稱せられ、鐵道と有俟つて交通の便頗る好し。

ロッテルダム及びアムステルダムは各航路の要地として海運界亦盛大を極める。

六 住民

人口約七百六十萬、其の密度の大きさは白耳義に次いで世界第二、一方籽の密度二三五。(日本は一六〇)住民の多くはナユートン族で新教を奉じ資性勤勉・進取の氣象に富む。航海に長じ、我が鎖國主義の時代にも往來して常に西洋文明を傳へ、我が文化開發の上に盡力したことは感謝に堪へぬ。

七 政治

立憲王國である。權勢は昔日の如くではないが、それでも本國に六十倍する領土を海外に有する。我が條約國で、親密の度は昔に異らぬ。

海外領土

- 關領東印度
 - スマトラ島、ジャバ島、ボルネオ島(南半)、セレベス島、モルツカ島、
 - ニューギネヤ(西半)
- 關領ギヤナ……南米の東北部。
- 西印度諸島……リワード諸島。

八 處誌

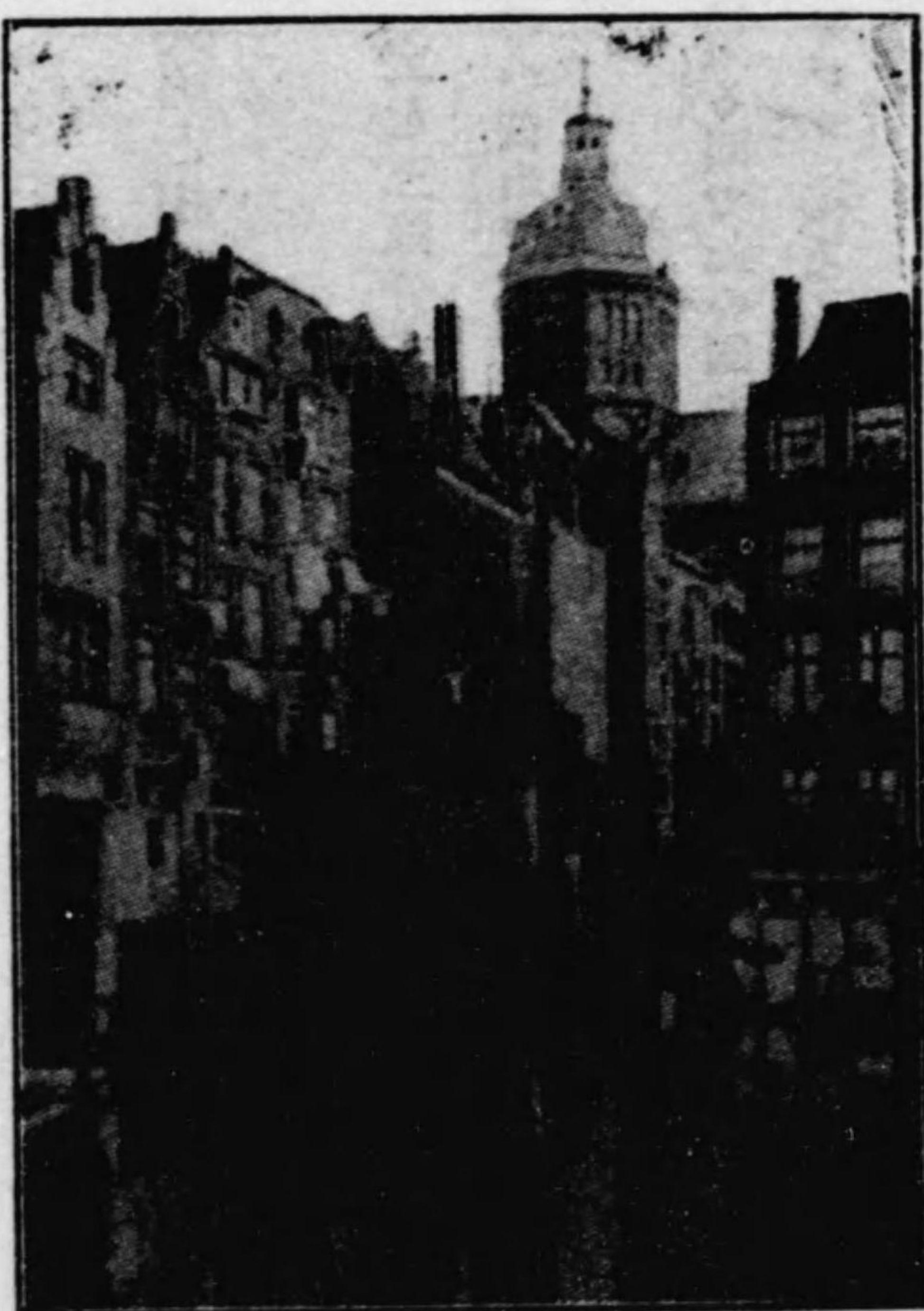
- 1 **ハーグ**(The Hague) 首府。國の西部に在つて富豪の別荘多く、市街閑雅、我が公使館及び萬國仲裁裁判の開かる、平和殿のある所。
- 2 **ライデン**(Leyden) 舊ライデン河口に跨り、三百餘年前西班牙軍の包圍を退けた名譽の古戰場で、記念の大學がある。(一五七四年創立)
- 3 **ロッテルダム**(Rotterdam) ライン河の下流に臨み舟運を集め、商業活潑たることはアムステルダムを凌ぐ。

- 4 **フリツシンゲン**(Vlissingen or Flushing) 國の西南隅に在つて英吉利に渡る要津。
- 5 **アムステルダム**(Amsterdam) ソイデルセーの西南岸にあつて國內第一の都會。古來貿易の殷盛と金剛石の琢磨とを以て名高く、北海運河に依つて海洋に通じ、また大造船所がある。
- 6 **ユトレヒト**(Utrecht) アムステルダムの東南にあつて毛織物を産する。

(自習問題)

- 1 和蘭の住民に就きて記せ。(郵便)
- 2 和蘭の海外領土を問ふ。(郵便)
- 3 和蘭の地勢の特色を記せ。(陸士)
- 4 瑞西と和蘭の地勢を比較せよ。(陸士)
- 5 左の地に就て知る所を記せ。
 ロッテルダム。(海機外數校)
 アムステルダム。(長高商)
 ハーグ。(海經外數校)

アムステルダム



第十二章 白 耳 義 (Belgium)

〔附〕ルクセンブルグ (Luxemburg)

一 境 域 面積約三萬方杆。西北は北海を隔て、英國と相對し、他は和蘭・獨逸・佛蘭西・ルクセンブルグの中間に介在する。

二 地 勢 東南部から漸次西北に低地帯狀をなし、之を三區分すれば山地・丘陵・平野となる。

1 海岸の低地……シエルト河 (Soheloto R.) から海岸一帯の低地で、海面以下の地が所々にあつて砂丘が發達してゐる。此の地方を下白耳義といふ。

2 中央平原……シエルト河からマス河 (Maas R.) に至る間此の國の主要部。此の地方を中白耳義といふ。

3 東南の山地……マス河以東の地域で、其の中にアルマンヌ (Ardennes) の丘陵性山地がある。此の地方を上白耳義といふ。

三 氣 候 降雨多く氣候温暖。東南の山地のみは稍々寒暑の差大。

四 産 業

1 農 業 平原地方に發達し、麥類、亞麻、甜菜等を産す。

2 鑛 業 マース河及び其の支流の流域地方は豊富なる石炭産地である。

3 工 業 工業は此の國の大本である。製鐵、機械、硝子製造、製紙等の大工業が盛んで、ガン (Ghent) を其の中心とする。またレース (Lace) の製造は此の國民特別の技術に基く。

4 商 業 商業は中古以來から繁盛を極めてゐる。

輸出品……鐵、機械、板ガラス、毛織物。

輸入品……羊毛、綿、小麥、木材。

(我が國へは板ガラス、機械等を輸出する)

五 住 民 人口約七百九十萬。其の密度世界第一位、一方杆平均二百六十三人 (我が國は百六十人)

種族は南部にラテン族のワルーン人が住し佛語を用ひ、北部のチュートン族たるフレミング人はフレミッシュ語を用ふ。故に公文書は兩國語を併用す。主として舊教を奉じ、高等教育が進歩してゐる。

六 政 治 立憲王政。世界大戰までは永世局外中立國であつたが、講和會議の結果永世局外中立の條約を廢棄した。我が條約國である。

七 交 通 鐵道網の發達は世界第一、河川・運河の交通も甚だ便利。アントワープは内外の航路を集めて發達する。

八 處 誌

- 1 アントワープ(Antwerp) シェルト河下流に位し、西歐の大門戸に當る。貿易盛大を極め、我が郵船・商船の歐洲航路の寄港地で領事館がある。即位式をあげた白耳義王は必ず公式に此の市を訪問するを慣例とす。
- 2 マリーヌ(Malines) アントワープの南方に位し、レースの産出が多い。
- 3 ブリュッセル(Brussels) 首府。國の中央に在つて市街華麗『小巴里』の稱がある。工藝品に富み、殊に精巧なるレースを名産とす。我が大使館がある。
- 4 ワーテルロー(Waterloo) ブリュッセルの南方にあつて、有名なる古戰場(ワーテルローの戦のあつたところ)大記念碑が立つてゐる。
- 5 ガン(Gant) シェルト河畔、航洋汽船出入繁し。麻布、絹布の産出多し。
- 6 オスタンデ(Ostende) 北海に臨み、英國に渡る要津。また海水浴場として知らる。
- 7 リエージュ(Liege) マース河に臨み、國中第一の工業地。製鐵、機械製造、硝子製造に名高く、世界大激戦地。
- 8 ベルギー(Verriers) 製鐵、機械製造で著はる。
- 9 ナミュール(Namur) 製鐵、機械製造で著はる。
- 10 モンス(Mons) 製鐵、機械製造で著はる。
- 11 シャルロイ(Charleroi) 硝子工業の中心地。

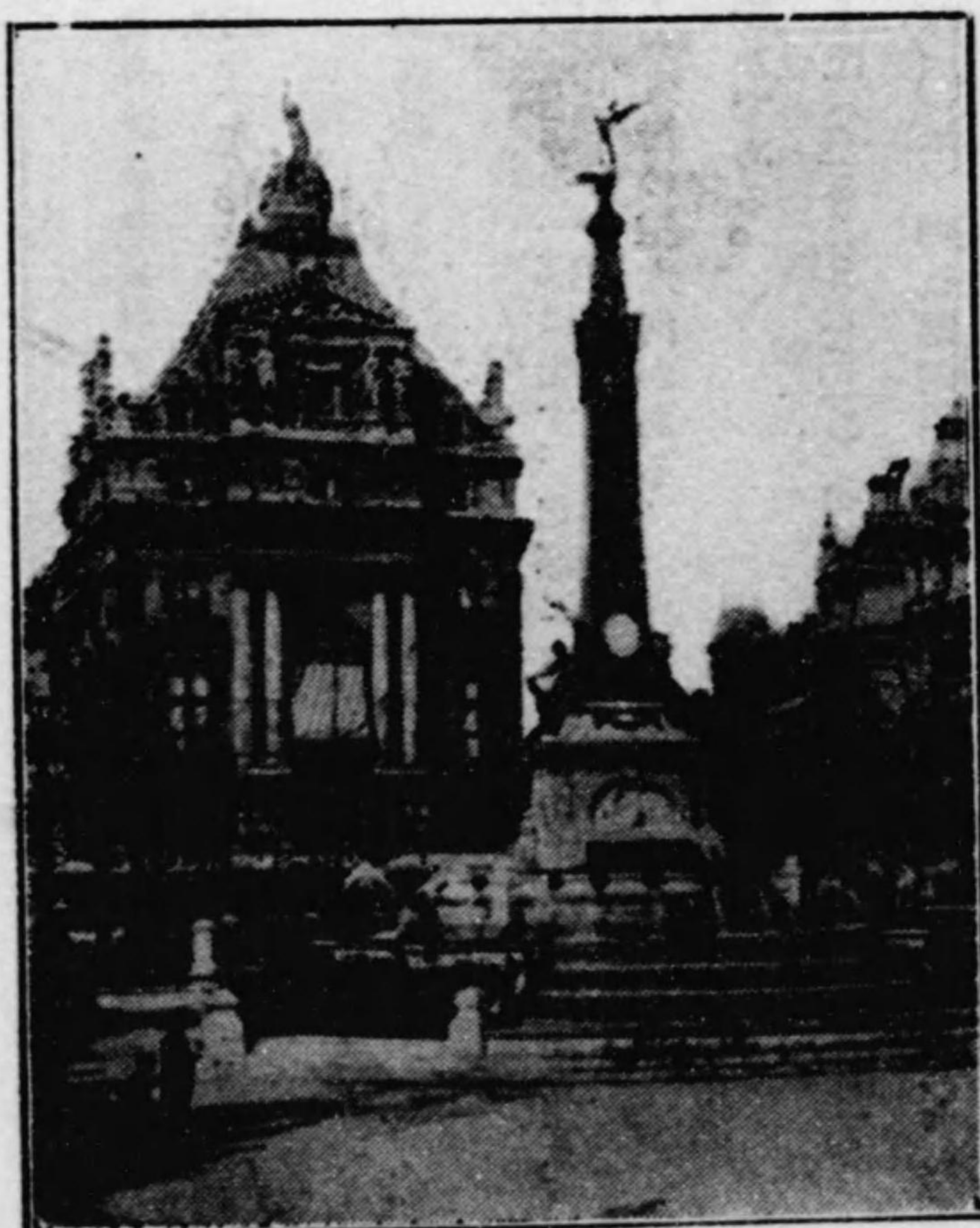
〔附〕 ルクセンブルグ(Luxembourg)

獨・白・佛の三國間に介在する大公國。面積二千六百軒。もと獨逸と經濟同盟(Economic Union)を結んでゐたが、世界大戰の結果佛國と密接の關係を結ぶに至つた。また此の國は永世局外中立國であつたが、一九一八年之を廢棄した。住民は獨逸人を主とし約二十八萬。城内鐵鑛の産が多い。同名の首府がある。

(自習問題)

- 1 白耳義の地勢を述べよ。(陸士)
- 2 和蘭と白耳義の産業を比較せよ。
- 3 白耳義の産業、住民に就て記せ。(郵電)
- 4 白耳義の工業に就て記せ。
- 5 左の地に就て知る所を記せ。
アントワープ(高、郵電) リエージュ(東高師)
ガン(專檢) オスタンデ
- 6 白耳義の商港を問ふ(東商船)
〔解答〕 アントワープ。オスタンデ。

(ルセツユリフ)



第十三章 英吉利 (大ブリタン Great Britain and)

(附) 愛蘭 (Ireland)

一 境 域 歐洲の西部に位し、大ブリテン・愛蘭アイランドの二大島及び數多の小島より成り、面積二十四萬方軒。

二 地 勢 地形上左の四部分に分たる。

- 1 イングランド (England) 東南部に平原があつて北歐大平原の一部に屬す。北部にペンナイン山脈が連互す。ハンバー河 (Haver R.)、セブーン河 (Severn R.)、テームス河の三大河がある。
- 2 ウェールズ (Wales) イングランドの西方で一般に山勝ちである。
- 3 スコットランド (Scotland) 山地多く南部にチェビット丘 (Cheviot Hills) 北部にグランプ山脈 (Grampian Mts) があつて最高峰はベンネビス山 (Ben Nevis 一三〇〇米) 到る處湖沼があつて (氷河湖) 山水に富む。海岸はフィヨルド式。カレドニヤ運河は東岸のモレー湾 (Moray Firth) と西岸のロム湾 (Lorne, G) を連ねるもので其の間の氷河湖を利用して作られたものである。
- 4 アイルランド (Ireland) 周邊に低い山地を繞らし、内部に平野がある。併しそこは沼澤性。シャノン河 (Shannon R) が内陸の水を集めて大西洋に注ぐ。

三 氣 候 北緯五十度乃至六十度に位するが、墨西哥灣流と西風との影響を受け、夏涼冬暖、氣候極めて良好、雨量は西岸に多い。國內は殆んど濃霧に閉ざされ快晴の日は少ない。倫敦市民の如きは秋冬の頃霧を避けて海外に旅行する程である。毎年十一月、二月の兩月は甚だしく、市街の通行には警戒を要する。

四 産 業

- 1 農 業 商工業の旺盛なる結果農業振はず。農民は全人口の約三割。唯アイルランドに馬鈴薯、亞麻の産が僅かあるに過ぎぬ。牧畜は羊、牛、馬を飼ふ。頭數少し。
- 2 水産業 北海方面に盛んでドッガバンク (Dogger-Bank) は鱈、鯨等の産に著名。
- 3 鑛 業 石炭の産額世界第二位、鐵の産額第四位 (米、獨、佛に次ぐ) 而かも産地と工業地帯は相接近して利益此の上なし。特に大ブリテンの南部及び中部を以て主産地とする。
石炭産地の主要部……グラスゴー。ニューカッスル。マンチエスター。シユフィールド。バーミンガム。
カチーフ。
- 4 工 業 國民の七割強は商工に従ふ。工業品は良質、耐久力あるを以て著る。綿麻紡績、毛織物、機械、造船等は世界第一位。
◎製 鐵……ミッドルズベラ。シエフィールド。
◎造 船……グラスゴー。ニューカッスル。倫敦。